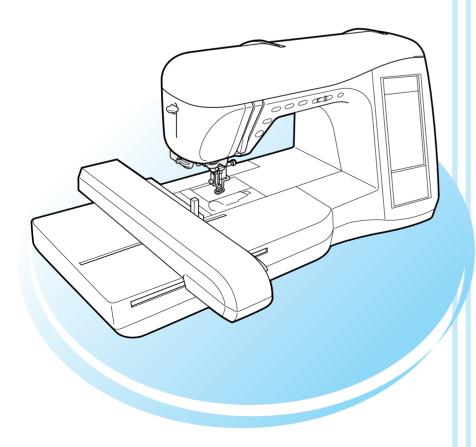
刺しゅう機付きコンピュータミシン

取扱説明書

EMS80シリーズ



brother

第1章ぬう前の準備

ぬう前に必要な準備を説明しま す。



第2章 基本操作

基本のぬい方と上手にぬうコツ などを説明します。



第3章 **実用ぬい**

実用ぬいの手順を説明します。



第4章 文字・模様ぬい

文字・模様ぬいの手順を説明します。



ー第5章 **刺しゅう**

刺しゅうの手順を説明します。



第6章編集刺しゅう

編集刺しゅうの手順を説明しま す。



第7章

ミシンのお手入れと困ったとき の対処方法などを紹介します。



- お使いになる前に必ず取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
- 取扱説明書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、この取扱説明書で機能や使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。

また、お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保証書とともに保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書およびミシン本体および刺しゅう機に使われている表示や絵文字は、製品を安全に 正しくお使いいただき、お使いになられる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。 その表示や意味は次のとおりです。



この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が 想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。



特定しない 禁止事項



特定しない 義務行為



感電の危険が あります



分解しては いけません



電源プラグを 抜いてください



火災の危険が あります



水に濡らしては いけません



特定しない 危険通告



やけどの危険が あります

この製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

● 告 - 般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障のおそれがあります。 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 火災・感電・故障のおそれがあります。 ・ ミシンのそばを離れるとき ・ ミシンを使用したあと ・ 運転中に停電したとき ・ 接触不良、断線などで正常に動作しないとき ・ 雷が鳴りはじめたとき

| | ▲ 注意 | |
|------------------------|---|-------|
| $\bigcirc \mathbb{A}$ | 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。 火災・感電の原因となります。 | |
| | 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。 | O. C. |
| Â | 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・ 感電の原因となります。 | |
| \bigcirc \triangle | 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめてお近くの販売店または「ミシン 119 番」フリーダイヤル 0120- 340- 233 にご連絡ください。 | |
| | 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてく ださい。 火災の原因となります。 | |
| | 直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は 0 ~ 40 ℃です。ミシン内部の温度が上がったり、ミシン本体や電源コードの皮膜が溶けて火災・感電の原因となります。 | |
| | スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。スプレーへの 引火によるやけどや火災の原因となります。 | |
| \bigcirc \triangle | ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下などしてケガをする原因となります。 | |
| \bigcirc \triangle | ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、必ず壁から 30cm 以上離してお使いください。また、換気口やフットコントローラーに糸くず やほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。 | |
| | ミシン本体の上に花びんや水の入った容器を置くなどして、ミシン本体に水をこぼさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または「ミシン 119番」フリーダイヤル 0120-340-233 にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 | |
| | 換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。万一、異物が入った場合は、使用をやめてお近くの販売店または「ミシン 119 番」フリーダイヤル 0120- 340- 233 にご連絡ください。 | |

| | ▲ 注意 | |
|------------|---|--|
| \bigcirc | ミシン本体の重さは約 11.2kg あります。ミシン本体を持ち運びする際は急激または、不用意な動作をしないでください。腰や膝を痛める原因となります。 | |
| 0 | ミシン本体は必ずハンドルを持って、持ち運びをしてください。他の部分を 持つとこわれたりすべって落としたりして、ケガの原因となります。 | |
| 0 | ミシン本体には取扱説明書に記載されている正規の部品を使用してください。 他の部品を使用するとケガ・故障の原因となります。 | |
| | お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびケガの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お近くの販売店または「ミシン 119番」フリーダイヤル 0120-340-233にご依頼ください。 | |
| 6 | 取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜い て行ってください。ケガまたは、感電の原因となります。 | |
| \Diamond | ミシン操作中は、針の動きに十分ご注意ください。また、針、プーリー、天 びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。ケガの原因 となります。 | |
| \Diamond | 経製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。針折れの 原因となります。 | |
| \Diamond | 針の下などに指を入れないでください。ケガをするおそれがあります。 | Was a second |
| 0 | 上糸、下糸等に関する操作については、取扱説明書の指示にしたがって正しく行ってください。取り扱いを誤りますと、縫製中、糸がらみ等が発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。 | |
| \Diamond | 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。 | E CONTRACTOR OF THE PROPERTY O |
| A | 万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお近くの販売店または「ミシン 1 1 9 番」フリーダイヤル0120-340-233 にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 | |
| A C | 万一、煙が出ている、異臭がする、異常音がするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いてお近くの販売店または「ミシン 119 番」フリーダイヤル 0120- 340- 233 にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。 | |

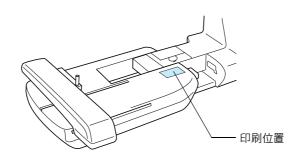
- このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
 This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
- 職業用としてご使用になられた場合の保証はいたしかねますのでご了承ください。
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容を許可なく無断で複製することは、禁じられておりますのでご了承ください。
- 本書の内容を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容について万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

警告表示について

刺しゅう機には下記の警告が表示されています。 警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。

▲ 注意

刺しゅう機を取り外してからミシンを移動してください。刺しゅう機が落下してケガをします。



本書の構成と読み方

第1章、第2章はこのミシンを初めて使われる方を対象に、ミシンの基本的な操作方法を説明しています。

実用ぬいをしたい方は

続けて第3章へ進んでください。模様の選び方やいろいろなぬい方を学びます。



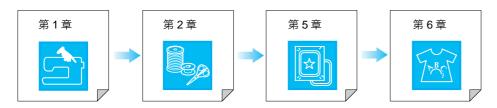
文字・模様ぬいをしたい方は

第4章へ進んでください。模様を選んでからぬうまでの基本操作と、模様の反転や大きさ変更などの模様の編集やいろいろな模様を組み合わせてぬう方法、組み合わせた模様の記憶のしかたなどを学びます。



刺しゅうをしたい方は

第 5 章へ進んでください。模様を選んでからぬうまでの刺しゅうの基本操作について学習し、その後、 模様の回転、サイズ変更などの模様の編集やさらに便利な機能やテクニックについて学びます。第6章 の編集刺しゅうではさらに高度な模様の編集と模様の組み合わせのしかたを学びます。



- 操作の手順の中では実際に操作する部分を青色で示しています。 実際の画面やミシンを照らし合わせながら操作を進めてください。
- 操作中にわからない点が発生したとき、機能について知りたいときに該当箇所をすぐ参照できるよう索引がついていますので (P.179)、目次と併せてご利用ください。

目次

| 安全にお使いいただくために | 1 | まつりぬい | |
|----------------|----------|----------------------------------|-----|
| 警告表示について | 4 | アップリケ | |
| 目次 | | シェルタック | |
| 各部の名称とはたらき | | スカラップ | |
| 主要部 | | つき合わせ | |
| 土安印 | | スモッキング | |
| 刺しゅう機 | | ファゴティング | |
| 操作スイッチ | | ゴムひもつけ | |
| 付属品 | | ヘアルーム | |
| 別売品 | | ボタン穴かがり | |
| /JJ/CHH | | かんどめ ボタンつけ | |
| 第1章 ぬう前の準備 | 13 | バタフラ() アイレット | |
| | | 横送り (直線・ジグザグ) | 00 |
| 電源の入れ方 | | ファスナーつけ | |
| 液晶画面の見方 | | <i>J</i> , <i>A</i> , <i>J</i> , | 02 |
| 設定キーを使う | | 第4章 文字・模様ぬい | 85 |
| 使い方キーを使う | 20 | | |
| アドバイスキーを使う | | 模様の選び方 | |
| 上糸と下糸の準備 | | 大型飾り模様/ 7mm 飾り模様/大型サテンステ | |
| 下糸を巻く | | / 7mm サテンステッチ/クロスステッチ/実用 | |
| 下糸をセットする | | 模様 | |
| 下糸を引き出す | | アルファベット | |
| 上糸を通す | | ひらがな/カタカナ | |
| 2 本針を使用する | | 文字・模様をぬってみましょう | |
| 押えの交換 | | きれいにぬうために | |
| 押えを取り外す | | 文字・模様のぬい方 | |
| 押えを取り付ける | | 模様の調整をする | |
| 針の交換 | 33 | 模様の編集のしかた | |
| 体。李 女士坦ル | 0.5 | 模様の大きさを変える | 95 |
| 第2章 基本操作 | 35 | 模様の長さを変える (7mm サテンステッチのみ) | OF |
| 基本のぬい方 | 36 | 模様を上下反転する | |
| <u> </u> | | 模様を工「反転する 模様を左右反転する | |
| ほつれ止めをする | | 連続ぬい/単独ぬいを切り替える | |
| カーブをぬう | 38 | 模様の糸密度を変える | 00 |
| ぬい方向を変える | | (大型サテンステッチのみ) | 96 |
| 厚い布地をぬう | | 横書き/縦書きを切り替える | |
| 薄い布地をぬう | | 模様の組み合わせ | 97 |
| ぬい目の調節 | 40 | 模様の組み合わせをする前に | |
| ジグザグの振り幅を調節する | 40 | ちがう模様を組み合わせる | |
| ぬい目の長さを調節する | | 大きさを変えた模様を組み合わせる | |
| 糸調子を調節する | | 反転模様を組み合わせる | |
| 便利な機能 | | 長さを変えた模様を組み合わせる | 100 |
| 自動止めぬいをする | | ステップ模様を作る | |
| 自動糸切りをする | | (7mm サテンステッチのみ) | |
| 画面をロックする | 43 | 模様の記憶 | |
| 佐り寺 中田広い | A = | 模様を記憶する | |
| 第3章 実用ぬい | 45 | 記憶した模様を呼び出す | 104 |
| 実用模様の選び方 | 46 | 客に書 制しゅう | 10E |
| 模様を選ぶ | 41 | 第 5 章 刺しゅう | 105 |
| 模様の設定を記憶する | 47 | 刺しゅうの準備 | 106 |
| ぬい方キーを使って模様を選ぶ | | 刺しゅう押えく W >を取り付ける | |
| いろいろなぬい方 | 49 | 刺しゅう機を取り付ける | 108 |
| 直線ぬい | | 刺しゅう模様の選び方 | 110 |
| ダーツ | | ワンポイント/花模様 | 111 |
| ギャザー | | ひらがな/カタカナ/アルファベット | 112 |
| 折り伏せぬい | | 枠模様 | |
| ピンタック | | 刺しゅうカード | |
| ジグザグ | | 縫製画面の見方 | 115 |
| 点線ジグザグ | | 布地を張る | 116 |
| たちめかがり キルト | 5/ 59 | | |
| | | | |

| 刺しゅう枠に布地を張る | |
|--|---|
| 小さい布や布の隅に刺しゅうする | |
| 刺しゅう枠をセットする | |
| 刺しゅう模様の編集 | 121 |
| 刺しゅうの枠表示を変える | |
| ぬう位置を移動する | 121 |
| 模様を回転する | 122 |
| 模様の大きさを変える | 122 |
| 模様を左右反転する | 123 |
| 糸密度を変える(文字・枠模様のみ). | |
| 1 文字ずつ色を変えてぬう | 124 |
| 刺しゅう模様の確認 | 125 |
| ぬう位置を確認する | 125 |
| 刺しゅうイメージを確認する | 126 |
| 刺しゅうしてみましょう | 127 |
| きれいに刺しゅうするために | |
| 刺しゅうする | 128 |
| アップリケ模様をぬう | 129 |
| 下糸が少なくなったら | 130 |
| 途中で糸が切れたときは | 131 |
| 始めからぬい直したいときは | |
| 糸調子を整える | |
| 自動糸切り機能を使う | 133 |
| 渡り糸切り機能を使う | |
| 刺しゅうの速度を変える | |
| 刺しゅうの糸色表示を変える | |
| 刺しゅう模様の記憶 | 136 |
| 刺しゅう模様を記憶する | 137 |
| 刺しゅう模様を呼び出す | |
| パソコンから刺しゅう模様を呼び出す | 139 |
| 応用ぬい | 141 |
| 枠模様を使ってアップリケをする (1) | 141 |
| 枠模様を使ってアップリケをする (2) | 142 |
| | |
| | |
| 第6章 編集刺しゅう | 143 |
| | 143 |
| 編集刺しゅうでできること | 143 144 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 | 143 144 144 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 ワンポイント/花模様/枠模様 | 143 144 145 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 ワンポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット | 143 144 145 145 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 ワンポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集のしかた | 143 144 145 145 |
| 編集刺しゅうでできること刺しゅう模様の選び方 ワンポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集のしかた ぬう位置を移動する | 143 144 145 145 147 |
| 編集刺しゅうでできること刺しゅう模様の選び方 ワンポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集のしかた ぬう位置を移動する 模様を回転する | 143 144 145 145 147 148 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 ワンポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集のしかた ぬう位置を移動する 模様を回転する 模様の大きさを変える | 143 144 145 145 147 148 148 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 ワンポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集のしかた ぬう位置を移動する 模様を回転する 模様の大きさを変える 模様を削除する | 143 144 145 145 147 148 148 149 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 ワンポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集のしかた ぬう位置を移動する 模様を回転する 模様の大きさを変える 文字の配列を変える ママの配列を変える | 143 144 145 145 147 148 149 149 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 ワンポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集のしかた ぬう位置を移動する ぬう位置を移動する 模様を回転する 模様の大きさを変える 文字の配列を変える 文字の間隔を変える | 143 144 145 145 147 148 149 149 150 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 ワンポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集のしかた ぬう位置を移動する ぬう位置を移動する 模様を回転する 模様の大きさを変える 文字の配列を変える 文字の間隔を変える ※書き/横書きを切り替える | 143144145147148149150151 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 ワンポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集のしかた ぬう位置を移動する 模様を回転する 模様の大きさを変える 模様を削除する 文字の間隔を変える ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ がよるがな/カタカナ/アルファベット にのしかた の間である。 で変える。 ですの配列を変える。 ですの間隔を変える。 が書き/横書きを切り替える 1文字ずつ色を変えてぬう | 143144145145147148149150151 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 ワンポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集のしかた ぬう位置を移動する 模様を回転する 模様の大きさを変える 模様ので配列を変える。 文字の間隔を変える。 文字の間隔を変える。 ※書き/横書きを切り替える 1文字ずつ色を変えてぬう 編集が終わったら | 143144145145147148149150151151 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 「カンポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集のしかた ぬう位置を移動する 模様の大きで変える 模様の大きで変える 英字の配列を変える。 文字の間隔を変える。 (文字での間隔を変える。 (文字での間隔を変える。 (文字での間隔を変える。 (文字での間隔を変える。 (本書きを切り替える。 (本書きを切り替える。 (本書きを切り替える。 (本書を切り替える。 (本書をが終わったら。 (本書をの組み合わせ。 | 143144145147148149150151151152 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 切いポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集のしかた ぬう位置を移動する 模様の円きさを変える 模様の削除する。 文字の配列を変える。 文字の間隔を変える。 1 文字の間隔を変えてぬう 編集が終わったら 編集が終われたら 模様の組み合わせ 組み合わせ | 143144145145147148149150151151152153 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 刺しゅう模様の選び方 「ロンポイント/花模様/枠模様 「ひらがな/カタカナ/アルファルファント 編集のしかた 「なきないできるのでできることができる。 「ながながながなができるができるができるができるができるができるができるができるができるができる | 143144145145147148149150151151152153153 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 切いポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集のしかた ぬう位置を移動する 模様の円きさを変える 模様の削除する。 文字の配列を変える。 文字の間隔を変える。 1 文字の間隔を変えてぬう 編集が終わったら 編集が終われたら 模様の組み合わせ 組み合わせ | 143144145145147148149150151151152153153 |
| 編集刺しゅうでできること刺しゅう模様の選び方 刺しゅう模様の選び方 切いポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集の位置を移動する。 模様をの大きでする。 模様をの大きで変える。 文字書きがの間隔を変える。 1 文字が終わった。 編集が終わったの。 編集が終わったら。 横様の組み合わせ 組みみ合わせ 組みみ合わせ 組みみ合わせ 組みみ合わせ 編集刺しゅう模様の記憶 編集刺しゅう模様の記憶 | 143144145145147148149150151151153153153 |
| 編集刺しゅうでできること刺しゅう模様の選び方 刺しゅう模様の選び方 切いポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファベット 編集の位置を移動する。 模様をの大きでする。 模様をの大きで変える。 文字書きがの間隔を変える。 1 文字が終わった。 編集が終わったの。 編集が終わったら。 横様の組み合わせ 組みみ合わせ 組みみ合わせ 組みみ合わせ 組みみ合わせ 編集刺しゅう模様の記憶 編集刺しゅう模様の記憶 | 143144145145147148149150151151152153153 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 刺しゅう模様の選び方 りいポイント/花模様/枠模様 りらがな/カタカナ/アルファルファント 編集の世間を移動する。 「大きなのでできること。 「大きなのが、では、できる。 「大きなのでは、できる。 「大きなのでは、できる。 「大きなのでは、できる。 「大きなのでは、できる。 「大きなのでは、できる。 「は、できるのできる。 「は、できるのできる。 「は、できるのできる。 「は、できるのできる。 「は、できるのできる。 「は、できるのできる。 「は、できるのできる。 「は、できるのできる。 「は、できる。 「は、できる。」 「は、できる。 「は、できる。」 「は、できる。」 「は、できる。 「は、できる。」 「は、できること。」 「は、できる | 143144145145147148149150151151152153153155156 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 刺しゅう模様の選び方 りいポイント/花模様/枠模様 ないかた ないかた ないかた ないの置を移動する でする ないできる でできること がながながながながながなができる 編集がのしかた はないでできること のいますが、ないではないがながながながながなができます。 はないでできること にいまずではないがながながながながながながながながながながながながない。 はないないないないないないないないないないないないないないないないないないな | 143144145145147148149150151151153153153155156156 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 切いポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カカた ぬきのででする。 の間を取する。 様様のの間をできる。 女文字書きがの間をできる。 な文字のの間でできることがは、まれる。 は様様のの間をできる。 な文字のの間をできる。 な文字のできる。 な文字のできる。 は文字のの間をできる。 は文字が終わる。 は文字が終わる。 は、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないのには、ないいのには、ない | 143144145145147148149150151151153153155156156 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 刺しゅう模様の選び方 切いポイント/を模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/アルファルファルのを移動する。 横様のの置をするを変える。 模様をの大きでする。 で変えるが終わった。 「神様の組み合わせ。 組み合わせ、 組み合わせ、 組みみ合わせ、 組みみ合わせ、 組みみ合わせ、 組みみ合わせ、 組みみ合わせ、 組みみ合わせ、 組みみ合わせ、 編集刺しゅう模様の記憶。 「神録ない。 「お手入れのしかた。 本本表面の汚れの掃除 本体表面の汚れの掃除 *** *** *** *** ** ** ** ** | 143144145145147148149150151151153153153155156158 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 刺しゅう模様の選び方 刺しかけたがながながながながながながかた 「ないますででできるが、 ののできるが、 ののでは、 のいまが、 の | 143144145145148149150151151153153153158158 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 切いがなどの選びがたがながながながながながながながながながながながながながながながながながなが | 143144145145147148149150151151153153155156158158158158 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 切りができることが作花が大力のでできることがなりかたがなりでできる。 編集が見かがなりがなりがなりがなりできる。 「ででですが、ないができる。 「でででできることが、ないができる。 「でででできることが、ないできる。 「ででできることが、ないできる。 「ででできることが、ないできる。 「ででできることが、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは | 143 |
| 編集刺しゅうでできること刺しゅう模様の選び方 刺しゅう模様の選び方 切いポント/や神様でででできるが、 カイントクカたがながなりがたがなりでできるが、 のでできるが、 のでできるが、 のでできるが、 を称ででできるが、 のでできるが、 のでできるが、 を称ででできるが、 のでできるが、 のでできるが、 のでできるが、 のでできるが、 のでできるが、 のでできるが、 のでできるが、 のでできるが、 のでできるが、 のでできるできるが、 のでできるでは、 のでできるでは、 のでできるでは、 のでは、 のでは、 のででできること 「ででできること 「でできること 「でできること 「でできること 「では、 のでは、 のでは、 のでは、 ののののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののでは、 のののでは、 ののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののできること 「できること 「できるでは、 「できるには、 「できるでは、 「できるには、 「できるにはないは、 「できるにはないは、 「できるにはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないは | 143 |
| 編集刺しゅうでできること 刺しゅう模様の選び方 切りができることが作花が大力のでできることがなりかたがなりでできる。 編集が見かがなりがなりがなりがなりできる。 「ででですが、ないができる。 「でででできることが、ないができる。 「でででできることが、ないできる。 「ででできることが、ないできる。 「ででできることが、ないできる。 「ででできることが、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは | 143 |

| 仕様 | 170 |
|--------------|-----------------|
| アフターサービスについて | 170 |
| アップグレードの方法 | 17 ² |
| ぬい方早見表 | 172 |
| 索引 | 179 |
| | |













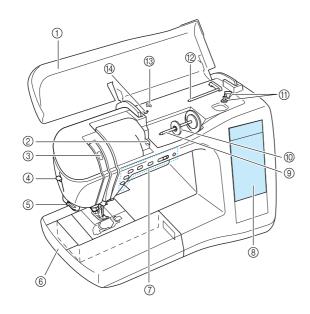






各部の名称とはたらき

主要部





上糸を通すときや下糸を巻くときに開けます。

② 糸案内板

上糸を通すときに糸をかけます。

- ③ **てんびん確認窓** てんびんの位置を確認します。
- ④ 糸通しレバー 自動で針に糸を通すときに使います。
- ⑤ 糸切り糸を引っかけて切ります。
- ⑥ 補助テーブル

中に押えやボビンなどを収納します。袖口などの筒ものをぬうときには外します。

- ⑦ 操作スイッチ(6つ)とスピードコントロールレバー ミシンをスタートするときや針を上げ下げするときなど、 ミシンのさまざまな操作に使います。実用ぬいの模様はスピードコントロールレバーをスライ
- ⑧ 液晶画面

模様の設定や編集、ミシンの使い方を確認します。また、 エラーメッセージが表示されます。

ドすることによってぬう速さを調節することができます。

⑨ 糸たて棒

糸こまを差し込みます。

⑩ 糸こま押え

糸こまが抜けないように押さえます。

⑪ 下糸巻き装置

下糸をボビンに巻くときに使います。

⑫ 補助糸たて棒

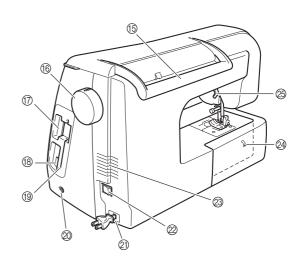
下糸を巻くときや2本針でぬうときに使います。

⑬ 糸案内

下糸を巻くときに糸をかけます。

⑭ 下糸巻き案内

下糸を巻くときに糸をかけます。



⑤ ハンドル

ミシンを持ち運ぶときに持ちます。

⑥ プーリー

ぬい目を1針ずつ送るときや針を上げ下げするときに手前 に回します。

⑰ 刺しゅうカード差し込み口

刺しゅうカード(別売)を差し込みます。

® USB ポートコネクター

USB ケーブルを差し込み、パソコンに接続します。

⑩ タッチペンホルダー

タッチペンを使用していないときに取り付けます。

∅ フットコントローラージャック

フットコントローラー(別売)のプラグを差し込みます。

② 電源プラグ

電源コードを引き出し、コンセントに差し込みます。

② 電源スイッチ

ミシンの電源を「入」や「切」にするスイッチです。

② 換気口

ミシンを使用しているときはふさがないでください。

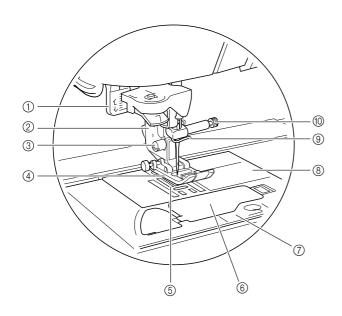
② ドロップレバー

送り歯を下げるときに使用します。

② 押えレバー

押えを上げ下げします。

針と押え部分

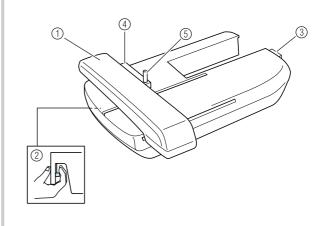


- ① **ボタン穴かがりレバー** ボタン穴かがりやかんどめをするときに使用します。
- ② 押えホルダー 押えを取り付けます。
- ③ **押えホルダーのネジ** 押えホルダーを固定します。
- ④ 押え

布地を押さえます。付属の8種類の押えの中からぬい方に 合った押えを取り付けます。

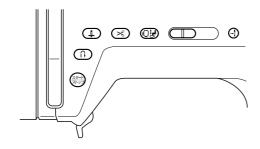
- ⑤ 送り歯 ぬう方向に布地を送ります。
- 動板ふた開けて中のかまにボビンをセットします。
- 割 針板 まっすぐにぬうための目盛りが付いています。
- ⑨ **針棒糸かけ**上糸をかけます。
- ⑩ 針の止めネジ 針を固定します。

刺しゅう機



- ① キャリッジ 刺しゅうをぬうときに自動的に動きます。
- ② **刺しゅう機取り外しレバー (裏側)** 刺しゅう機を取り外すときに押します。
- ③ コネクター 刺しゅう機を取り付けるときに、刺しゅう機差し込み口に差し込みます。
- ④ 刺しゅう枠ホルダー 刺しゅう枠を取り付けます。
- ⑤ **枠固定レバー**押し下げて刺しゅう枠を固定します。

操作スイッチ



① スタート/ストップスイッチ (スタート/ストップスイッチ (スタート/ストップスイッチ)

押すと数針ゆっくりとぬってから、スピードコントロールレバーで設定されている速度でぬい始めます。もう一度押すとストップします。スタート/ストップスイッチはミシンの状態によって色が変わります。

緑: スタートできる状態のときおよび縫製中

赤: スタートできない状態のとき

② 返しぬいスイッチ(1)

ぬい始めやぬい終わりの止めぬいをするときに使います。押すと同じ場所で $3\sim5$ 針ぬって自動停止します。返しぬいの直線またはジグザグ模様を選んだ場合は、押している間だけ低速で返しぬいをします。(逆方向にぬいます。)

③ 針上下スイッチ(1)

ぬい方向を変えるときや細かいところをぬうときに使います。押すと針の位置が上下に切り換わります。繰り返し押すと1針ぬいができます。

④ 糸切りスイッチ(%)

ぬい終わった後に押すと上糸、下糸を自動的に切ります。

⑤ 枠交換スイッチ(□)

刺しゅう枠を交換するときに押します。押すと、刺しゅう枠を交換できる位置まで押えが上がります。もう一度押すと、元の位置に戻ります。

- 刺しゅう機が取り付けられていないときは使えません。
- ⑥ スピードコントロールレバー

左右に動かしてぬう速さを調節します。左に動かすと遅く、 右に動かすと速くなります。

- 初心者の方はミシンに慣れるまで「ゆっくり」にしてぬってください。
- ⑦ 糸通しモードスイッチ(→)

上糸を通す前に押します。スイッチが緑色に点灯し、上糸シャッターが開きます。また、針と押えが自動で上がり、上糸通しができる状態になります。このときスタート/ストップスイッチは赤色に変わり、ぬうことはできません。 上糸を通し終わったら、もう一度糸通しモードスイッチを押します。スイッチが消灯します。



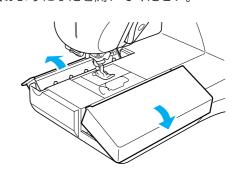
▲注意

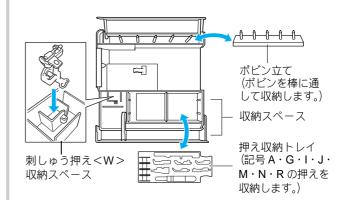
糸を切った後は、糸切り操作をくり返し行わないでください。針が折れたり糸がからんだりするおそれがあります。また、故障の原因となります。

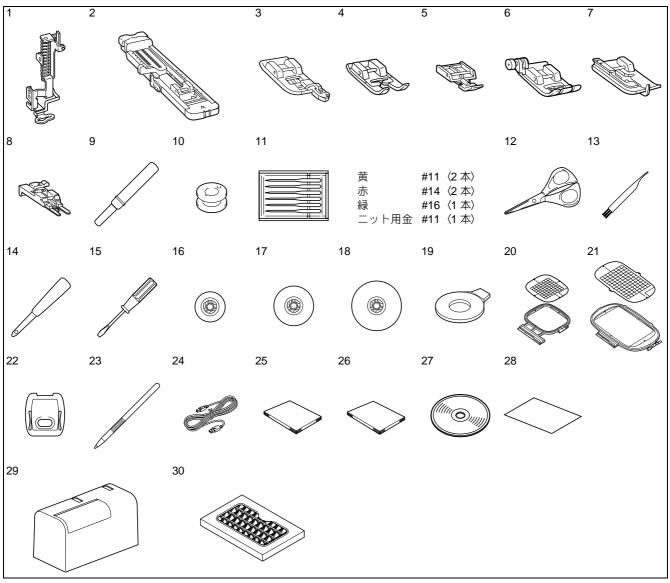
付属品

次ページの付属品が全部そろっているか確認してください。不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。また、必ず本機専用の付属品を使ってください。

補助テーブルの中に付属品を収納することができます。図のようにふたを開いてください。





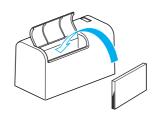


| No. | 部品名 | | |
|-----|------------------------------------|--|--|
| 1 | 刺しゅう押え <w></w> | | |
| 2 | ボタン穴かがり押え <a> | | |
| 3 | たちめかがり押え <g< b="">></g<> | | |
| 4 | 模様ぬい押え <n></n> | | |
| 5 | 片押え <i></i> | | |
| 6 | ジグザグ押え <j> (ミシンに取り付けてあります)</j> | | |
| 7 | まつりぬい押え <r></r> | | |
| 8 | ボタン付け押え <m></m> | | |
| 9 | リッパー | | |
| 10 | ボビン<5個> | | |
| 11 | ミシン針セット | | |
| 12 | はさみ | | |
| 13 | ミシンブラシ | | |
| 14 | はとめ穴パンチ | | |
| 15 | ドライバー | | |
| 16 | 糸こま押え(小) | | |
| 17 | 糸こま押え(中) < 2個> | | |
| 18 | 糸こま押え(大) | | |
| 19 | 針板ドライバー | | |
| 20 | 刺しゅう枠 (M)・刺しゅうシート | | |
| | 縫製範囲 縦 10cm ×横 10cm | | |
| 21 | 刺しゅう枠(LL)・刺しゅうシート | | |
| | 縫製範囲 縦 26cm ×横 16cm | | |

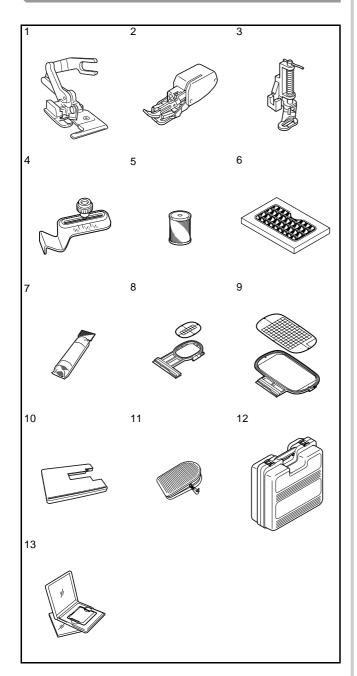
| No. | 部品名 |
|-----|----------------------|
| 22 | 刺しゅう専用針板カバー |
| 23 | タッチペン |
| 24 | USB ケーブル |
| 25 | 取扱説明書 |
| 26 | 操作早見表 |
| 27 | 取扱説明 DVD |
| 28 | 保証書 |
| 29 | ハードケース |
| 30 | 刺しゅう糸(ウルトラポス)39 色セット |



<mark>お知らせ</mark> ハードケースのふたを開けると、本書(取扱説 明書)を収納することができます。



別売品



| No. | 部品名 | 部品コード |
|-----|-------------------------|-----------------------|
| 1 | サイドカッター押え | F054: XC3879-002 |
| 2 | ウォーキングフット | F033: X81125-001 |
| 3 | キルト押え | F005N: XC1948-002 |
| 4 | シームガイド | SG1: XC8483-052 |
| 5 | 刺しゅう専用下糸 500M 巻き | EBT01: X81120-001 |
| | 刺しゅう専用下糸 1300M 巻き | EBT02: X81167-001 |
| 6 | 刺しゅう糸(ウルトラポス) | ETS39: X81112-001 |
| | 39 色セット | |
| | 刺しゅう糸 (ウルトラポス) | ETS22: X81287-001 |
| | 22 色セット | |
| | カントリー糸 | CTS40:X81078-100 |
| | 40 色セット | |
| | カントリー糸 | CTS21:X81269-100 |
| | 21 色セット | |
| 7 | 刺しゅう用接着芯(L) | BM3: X81175-001 |
| | 刺しゅう用水溶性シート(L) | BM4: X81267-001 |
| 8 | 刺しゅう枠 (S)・刺しゅうシート | EF73: XC8479-055 |
| | (ネーム入れ用) | |
| | 縫製範囲 縦 2cm ×横 6cm | |
| 9 | 刺しゅう枠(L)・刺しゅうシート | EF75: XC8481-055 |
| | 縫製範囲 縦 18cm ×横 13cm | |
| 10 | ワイドテーブル | WT6: XC9761-055 |
| 11 | フットコントローラー | FC321-91: XC9762-055 |
| 12 | 刺しゅう機キャリングケース | EMBCASE01: XC9862-055 |
| 13 | 刺しゅうカード | |



お知らせ 外国で売られている刺しゅうカードは使用で きません。ご了承ください。



第 **1** 章 ぬう前の準備

| 電源の入れ方 | |
|-------------------|--|
| 液晶画面の見方 15 | |
| 画面の取り扱いについての注意15 | |
| ■キーのはたらき16 | |
| 設定キーを使う18 | |
| 使い方キーを使う20 | |
| ■各項目の内容20 | |
| アドバイスキーを使う21 | |
| 上糸と下糸の準備22 | |
| 下糸を巻く22 | |
| ■補助糸たて棒で下糸を巻く場合22 | |
| ■糸たて棒で下糸を巻く場合24 | |
| 下糸をセットする25 | |
| 下糸を引き出す26 | |
| 上糸を通す27 | |
| 2 本針を使用する29 | |
| 押えの交換 | |
| 押えを取り外す32 | |
| 押えを取り付ける32 | |
| 針の交換 | |
| ■正しい針 | |
| ■針の種類と使い分け34 | |

電源の入れ方



▲警告

- 一般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。



- ミシンのそばを離れるとき
- ミシンを使用したあと
- 運転中に停電したとき
- 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
- 雷が鳴りはじめたとき



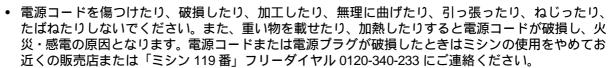
▲注意



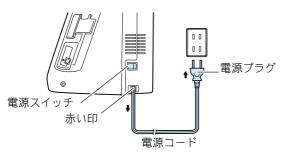
- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



• 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。



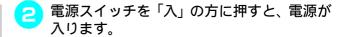
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
- 電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

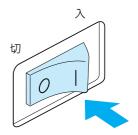




お願い

電源コードは赤い印以上引き出さないでください。





電源を切るときは、電源スイッチを「切」 の方に押します。

電源コードをしまうときは、少し $(1 \sim 5 \text{ cm})$ 引っ張って手を離します。自動的に収納されます。

液晶画面の見方

■ 画面の取り扱いについての注意

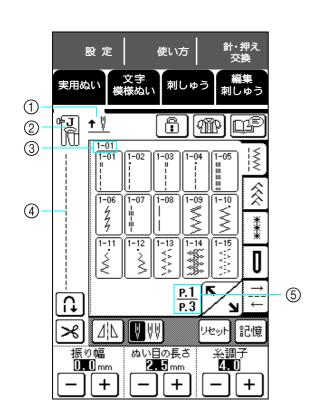
- 画面は必ず指または付属のタッチペンで押してください。シャープペンシル、ドライバーなど先のとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因になります。
- 画面は周囲の温度や環境の変化によって、画面全体または画面の一部が濃くなったり、淡くなったり しますが、故障ではありません。画面が見づらいときは、画面の調整を行ってください。(P.19 参照)
- 電源スイッチを入れた直後、画面が暗い場合がありますが、これは画面を照らすライトの特性による もので、故障ではありません。約 10 分で通常の明るさになります。
- 画面をミシンの正面以外から見ると、色が変化したり、画面が見づらくなることがあります。これは使用している液晶の特性上のものであり、故障ではありません。画面は正面から操作してください。

電源スイッチを入れるとオープニング画面が表示されます。オープニング画面は設定により OFF にすることができます。 (P.19 参照)

画面を指で軽く押すと、実用ぬいの画面が表示され、「1-01 直線 (左基線)」が選ばれます。

お知らせ

オープニング画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますが、故障ではありません。



- ① 1 本針/2 本針の設定状態とミシンが停止したときの針位置を示します。針位置はお好みに合わせて選択できます。(P.18 参照)
 - 1本針のとき



針下で止まります。針上で止まります。

2本針のとき



針下で止まります。針上で止まります。

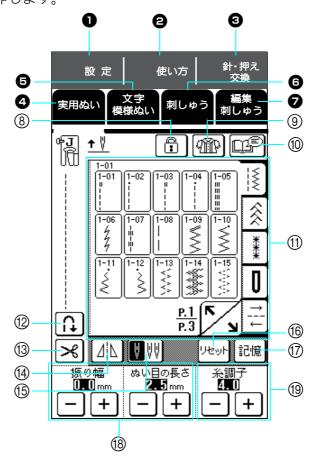
- ② 押え記号 表示される押えを取り付けてからぬいます。
- ③ 選択した模様の番号が表示されます。(実用ぬいのみ)
- ④ 選択した模様が表示されます。
- ⑤ 各模様選択画面の総ページ数と現在のページ数が表示されます。

■ キーのはたらき

• 液晶画面は上の表示パネルにある タッチペンで押して操作します。



で表示を切り換えて、液晶画面を直接指、または



表示パネル

| 番号 | 表示 | 名称 | はたらき | 参照ページ |
|----|-------------|-----------|---|-------|
| 0 | 設 定 | 設定キー | 針の停止位置切り替え、ブザーの ON / OFF、模様の調整や画面の調整などミシンの設定を変更するときに押します。 | 18 |
| 9 | 使い方 | ミシンの使い方キー | 上糸通し、下糸巻き、押え交換など、ミシンの使い方を知りたいときに 押します。 | 20 |
| 6 | 針• 押え 交換 | 針・押え交換キー | 針や押えを交換するときに押します。すべてのキーと操作スイッチが ロックされ、部品を安全に交換できます。もう一度押すと解除します。 使い方が表示されているときは、針・押え交換モードの画面は表示され ません。 | |
| 4 | 実用ぬい | 実用ぬいキー | 直線ぬい、ジグザグ、ボタン穴かがり、まつりぬいなど洋裁によく使う 模様(実用模様)を選ぶときに押します。 | 46 |
| 6 | 文字模様ぬい | 文字模様ぬいキー | ひらがな、カタカナ、アルファベットなど文字や飾りなどの模様を選ぶときに押します。 | 86 |
| 6 | 刺しゅう | 刺しゅうキー | 刺しゅうをするときに押します。 | 110 |
| • | 編集 刺しゅう | 編集刺しゅうキー | 刺しゅうの模様を組み合わせてぬうときに押します。編集刺しゅうではオリジナルのワッペンやネームタグを作ることができます。 | 144 |

画面表示

| 番号 | 画面表示 | 名称 | はたらき | 参照ページ |
|-----|---------------------------------------|----------|---|-------|
| 8 | | 画面ロックキー | 画面をロックするときに押します。振り幅やぬい目の長さなどの各設定 をロック(固定)します。もう一度押すと、解除します。 | 43 |
| 9 | TP. | ぬい方キー | どの模様を選べばいいのか分からないときにこのキーを押します。用途に応じた適切な実用模様が選択できて操作手順が表示されるので、初心者の方にもとても便利です。 | 48 |
| 0 | | アドバイスキー | 選択した模様の用途を知りたいときに押します。 | 21 |
| (1) | C C C C C C C C C C | 模様選択画面 | お好みの模様のキーを押して、模様を選びます。 で模様選択画面を切り替えます。 | 46 |
| 12 | U | 自動止めぬいキー | 自動止めぬい(返しぬい)を設定するときに押します。自動止めぬいをあらかじめ設定しておくと、ぬい始めと返しぬいスイッチを押したときに自動的に止めぬい(模様によっては返しぬい)をします。もう一度押すと、解除します。 | 42 |
| 13 | × | 自動糸切りキー | 自動糸切りを設定するときに押します。 自動糸切りをあらかじめ設定しておくと、返しぬいスイッチを押したと きに自動的に止めぬい(模様によっては返しぬい)をし、糸を切ります。 もう一度押すと、解除します。 | 43 |
| (4) | 4 | 左右反転キー | 押すと、模様が左右に反転します。 • Д の表示のときは、操作できません。 | 96 |
| 15 | W WW | 2 本針キー | 2 本針を使用するときに押して、2 本針の設定をします。押すごとに、1 本針と2 本針の設定の切り替えができます。・ ₩ ₩ の表示のときは、操作できません。 | 29 |
| 16 | りセット | リセットキー | 記憶した設定を標準の設定に戻したいときは りゃか を押してから 記憶 を押します。 | 47 |
| 17 | 記憶 | 記憶キー | 模様の設定(ジグザグの振り幅やぬい目の長さ・糸調子・自動糸切りや 自動止めぬいなどの設定)をお好みの数値に変更して、その内容を記憶 しておくことができます。 | 47 |
| 18 | 振り幅 ぬい目の長さ 2 2 mm - + - + | ぬい目調節キー | 選択した模様のジグザグの振り幅(模様の幅)とぬい目の長さを示します。 + - を押すと、お好みに合わせて、ジグザグの振り幅とぬい目の長さを調節することができます。 • | 40 |
| 19 | ※調子 4.0 一 + | 糸調子キー | 選択した模様の糸調子を示します。通常は自動的に標準の糸調子に設定されています。 + - を押すと、糸調子を調節することができます。 | 41 |

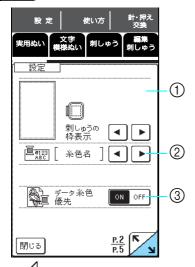


| 設定キーを使う

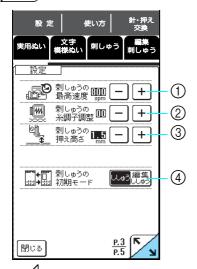
を押すと、針の停止位置切り替え、ブザー・ランプの ON / OFF、模様の調整や画面の調整など、いろいろなミシン本体の基本の設定を変えることができます。



を押すと、次ページが表示されます。



を押すと、次ページが表示されます。



を押すと、次ページが表示されます。

- ① ミシンが停止したときの針位置(下/上)を選ぶことができます。
- ② スピードコントロールレバーをジグザグの振り幅調 節レバーに切り替えることができます。(P.61 参照)
- ③ 文字・模様ぬいの模様を調整することができます。(P.92 参照)
- ④ 1 (弱い) ~ 4 (強い) の範囲で押え圧を調整することができます。
 - 数字が大きいほど押え圧が強くなります。通常は 3に設定してください。

- ① 刺しゅうのときの枠表示を、5 通りの中から選ぶことができます。(P.121 参照)
- ② 刺しゅうの色替の糸色表示を、糸色名や糸番号、ぬい時間に切り替えることができます。 (P.135 参照)
- ③ 刺しゅうプロ Ver.5.0 以降のバージョンで糸色名を 指定して作った模様を刺しゅうする場合に、糸色表 示をその糸色名で表示することができます。

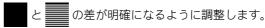
- ① 刺しゅうのときの最高速度を調節することができます。
- ② 刺しゅうのときの糸調子を調整することができます。
- ③ 刺しゅう押え<W>の高さを調節することができます。
- ④ 刺しゅう機を取り付けているときの初期画面 (刺しゅう/編集刺しゅう)を選ぶことができます。



を押すと、次ページが表示されます。



- ① 画面の濃度を調整することができます。
- 淡くするときは ー を押します。
- 濃くするときは + を押します。



- ② ブザーの ON / OFF ができます。
- ③ ライトの ON / OFF ができます。
- ④ 電源投入時のオープニング画面の ON / OFF 切り替えができます。

- ① ミシンにインストールされているプログラムの バージョンを示します。 アップグレード情報に関しては、お近くの販売店 もしくは「ミシン 119番」フリーダイヤル 0120-340-233 にお問い合わせいただくか、ブラザー のホームページ(www.brother.co.jp)で今後掲載される情報をご参照ください。
- ② ミシンのプロダクトナンバーを示します。

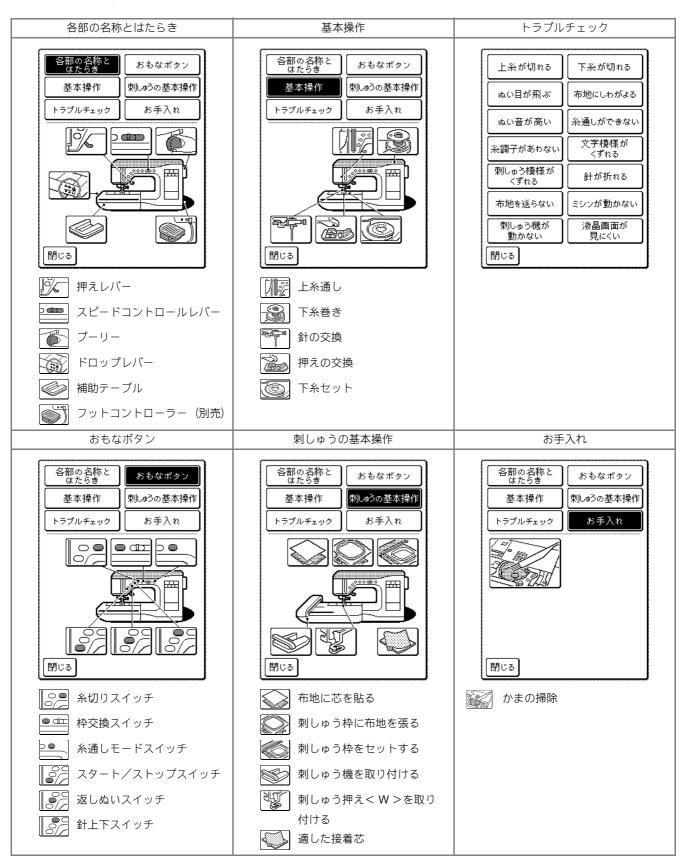


使い方キーを使う

このミシンには、ミシンの基本操作など取扱説明書に準じた内容が記憶されています。

★リカ を押して、画面上段に表示される6つの項目から見たい項目を選びます。

■ 各項目の内容



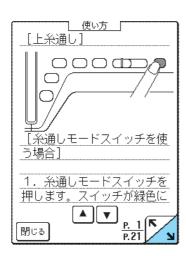
例) 上糸の通し方を見るとき

- (1) (単) を押します。
- 基本操作 を押します。
 - → 下段に基本操作の項目が表示されます。
- (上糸通し)を押します。



→ 上糸通しの手順が表示されます。

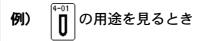
4 を押して次ページへ進みます。

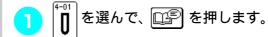


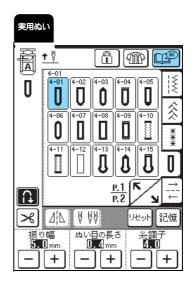
終わったら、閉じるを押します。

☑ アドバイスキーを使う

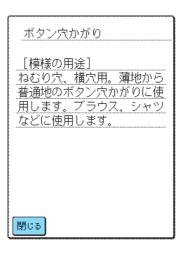
模様を選んでから (工学) を押すと、選んだ模様の用途 説明を見ることができます。







- ightarrow ightharpoonup の用途が表示されます。
- **2** 終わったら、閉じる を押します。



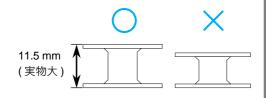
上糸と下糸の準備

下糸を巻く

下糸用の糸をボビンに巻きます。このミシンは、縫製 中で糸たて棒を使っているときでも補助糸たて棒を 使って下糸巻きができます。

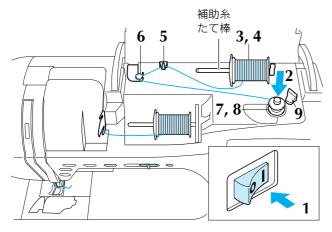
▲ 注意

必ず付属品または専用ボビン(部品コード: X80309-002) を使用してください。 他のボビンを使用すると、ケガや故障の原因 となります。

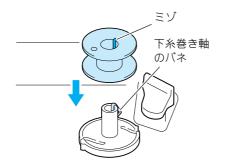


■ 補助糸たて棒で下糸を巻く場合

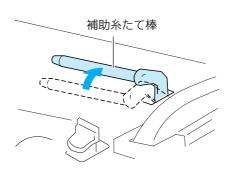
刺しゅうをぬっている途中で刺しゅう下糸を巻く のに便利です。



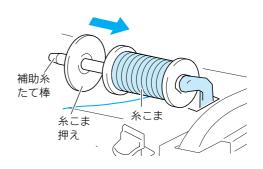
- 電源を入れ、上ふたを開けます。
- ボビンのミゾと下糸巻き軸のバネを合わせ て、ボビンを軸にセットします。



補助糸たて棒を上におこします。



糸こまを糸が手前から出るように補助糸た て棒に差し込み、糸こま押えを奥までしっか り差し込みます。



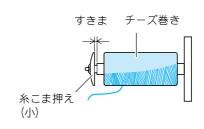
▲注意

- 糸こまの向きや糸こま押えが正しくセッ トされていないと、糸たて棒に糸がから まり、針折れの原因となります。
- 糸こま押え (大) (中) (小) は糸こまの 大きさに合わせて使用してください。糸 こまより小さい糸こま押えを使用する と、糸こまの切り欠きなどに糸が引っか かり、針折れの原因となります。

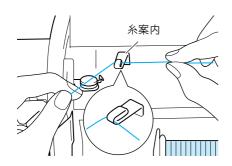


くお願い

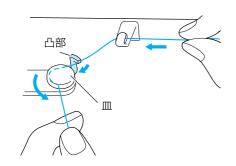
チーズ巻きの細い糸こまを使用するときは、 糸こま押え(小)を使い、糸こまとの間に少し すきまを作ってください。



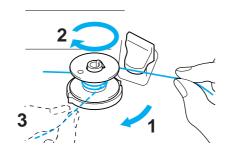
5 糸こまからの糸を右手で保持しながら、左手 で糸端を持って糸案内に糸をかけます。



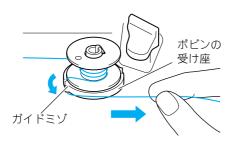
- 「下糸巻き案内の凸部に糸をかけて、皿に糸をかけます。
 - 糸は皿の下に確実に入れてください。



7 図のように糸をボビンに時計まわりに4~5 回巻きつけます。



8 糸端をボビンの受け座のガイドミゾに引っかけて、図のように右へ糸を引き、カッターで糸を切ります。



▲ 注意

0

必ず表記の方法で操作してください。 カッターで糸を切らずに下糸を巻くと、糸量 が少なくなったときにボビンに糸がからま り、針が折れたり曲がったりするおそれがあ ります。

- ボビンホルダーを左へカチッと音がするまで押します。
 - ボビンホルダーを左へ押すと、自動下糸巻きスイッチとして動作します。



- → 巻き終わると自動的にボビンの回転が止まり、 ボビンホルダーが元の位置に戻ります。
- 糸を切り、ボビンを外します。





お願い

ボビンを外すときは、ボビンのみを上に引っ張ってください。ボビンの受け座を引っ張ると、ボビン受け座が外れ、故障の原因となります。

▲注意

下糸は正しく巻かれたものを使用してください。

下糸の巻き方が悪いと針折れや糸調子不良の原因となります。

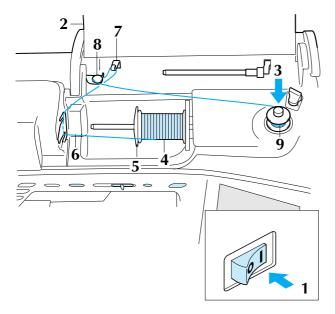




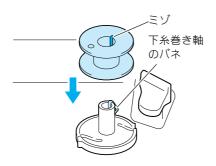


■ 糸たて棒で下糸を巻く場合

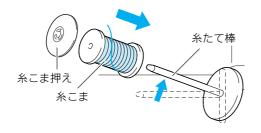
縫製中は糸たて棒を使って下糸を巻くことはできません。P.22「補助糸たて棒で下糸を巻く場合」を参照してください。



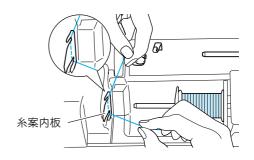
- 電源を入れます。
- ≥ 上ふたを開けます。
- 3 ボビンのミゾと下糸巻き軸のバネを合わせて、ボビンを軸にセットします。



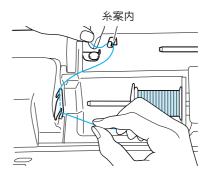
- 4 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸こまを差し込みます。
 - 糸は糸こまの手前から出してください。



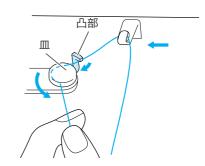
- 5 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸たて棒を元に戻します。
- 6 糸こまからの糸を両手で持ち、糸案内板に下から上へ糸をかけます。



糸案内に糸をかけます。



- **8** 下糸巻き案内の凸部に糸をかけて、皿に糸をかけます。
 - 糸は皿の下に確実に入れてください。



⑤ 以下はP.23の
√ ~ 10 に従って操作します。

下糸をセットする

下糸を巻いたボビンをミシンにセットします。このミシンは下糸を引き出さずにぬうことができます。ギャザーよせをするときなど、下糸の引き出しが必要なときは P.26「下糸を引き出す」を参照してください。

▲ 注意

下糸は正しく巻かれたものを使用してくだ さい。

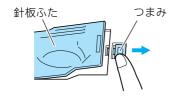
下糸の巻き方が悪いと針折れや糸調子不良 の原因となります。







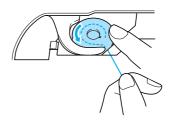
- → 押えレバーを上げます。
- 全 針板ふたの横のつまみを右に押して針板ふたを外します。



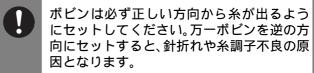
3 ボビンを右手で持ち、左手で糸の端を持ちます。



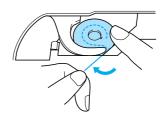
4 矢印の向きから糸が出るように、下糸を巻い たボビンを内かまにセットします。



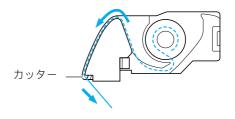
▲ 注意



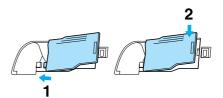
5 右手でボビンを軽く押さえ、左手で糸を少し 引きながらミゾにそって通します。



6 終わりの部分で糸を手前に引き、カッターで 糸を切ります。



針板ふたの左側の凸部を差し込み、右側を上からカチッと音がするまで押して、針板ふたを閉めます。



下糸を引き出す

ギャザーやフリーモーションキルトをぬうときなど、 あらかじめ下糸を引き出しておきたいときは、以下の 手順に従って操作してください。



お知らせ

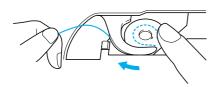
先に上糸を通してから下糸を引き出します。 P.27「上糸を通す」を参照してください。

- P.25の ~ 4 に従ってボビンを内かまに セットします。
- 2 糸を矢印のようにミゾにそって通します。

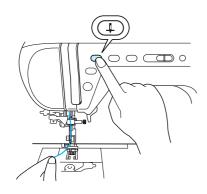


お願い

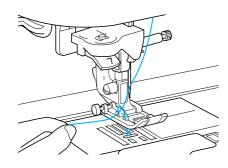
糸をカッターで切らないでください。針板ふたは外したままにしてください。



3 上糸を軽く持ち、針上下スイッチを2回押して針を上げます。

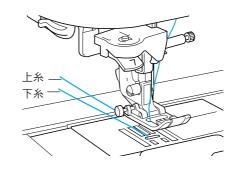


4 上糸を引き上げて、下糸を引っ張り出します。



→ 下糸が針板の穴から輪になって出てきます。

5 そのまま下糸を引き出し、上糸とそろえて押えの下を通し、後ろ側へ 10 cm ほど引き出しておきます。



台板ふたを閉めます。

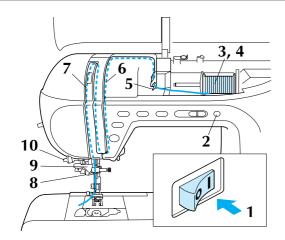
上糸を通す

上糸用の糸をセットし、針に糸を通します。上糸通し の手順はミシン本体にも番号で示されています。

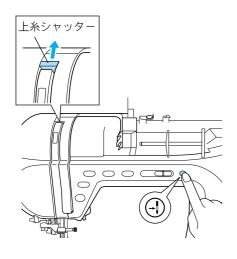
0

▲注意

上糸通しは指示に従って、正しく行ってください。糸が正しく通されていない場合、糸がからんで針が折れたり曲がったりするおそれがあります。



- 🚹 電源を入れます。
- 🤁 糸通しモードスイッチを押します。



→ スイッチが緑色に点灯し、上糸シャッターが開きま す。また、針と押えが上がります。



お知らせ

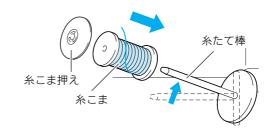
このミシンには上糸通しを確実にするために、 上糸シャッターがついています。



お願い

糸通しモードスイッチが点灯していない状態で自動糸通しを行うと、故障の原因となります。

- 3 糸たて棒をななめ手前に軽くおこし、糸こま を差し込みます。
 - 糸は糸こまの手前から出してください。

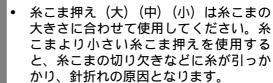


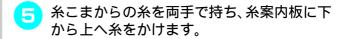
4 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸た て棒を元に戻します。

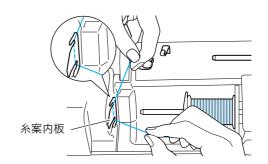
▲ 注意



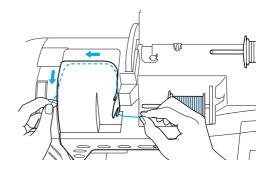
糸こまの向きや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、針折れの原因となります。





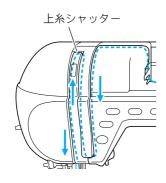


6 糸こまからの糸を右手で保持しながら、左手 で糸端を持って矢印のようにミゾにそって 糸を通します。





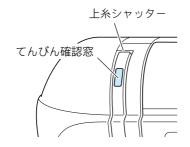
矢印のようにミゾに沿って下→上→下の順に糸を通します。





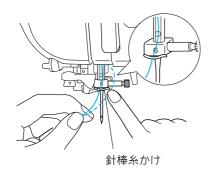
お知らせ

てんびん確認窓からてんびんの位置が確認できます。糸通しモードスイッチが点灯しているときは、てんびんが上がった状態になります。



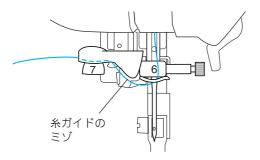
会 針棒糸かけ6に糸をかけます。

• 図のように両手で糸をかけてください。

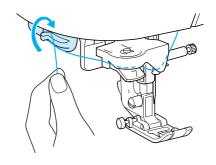


g 糸案内皿7に糸をかけます。

- 糸ガイドのミゾに糸が通っていることを確認してください。
- 糸は、糸案内皿の奥まで確実に入れてください。針 穴に糸が通らないことがあります。



図のように糸を糸切りの下から上へかけて、 糸を切ります。

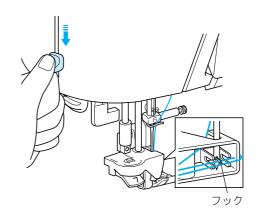


- 本体左側面の糸通しレバーをカチャと音が するまで下げます。
 - フックが回転して、針穴に入ります。



お願い

このとき、布などがフックに接触しないように 注意してください。



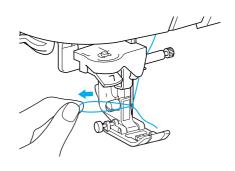
- 12 糸通しレバーから手を離します。
 - → 針穴に糸が通ります。
- 13 通った糸端をゆっくりと引き出します。



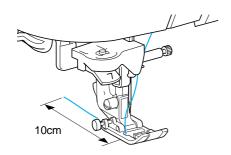
お願い

無理に引っ張って、針を曲げないように注意してください。

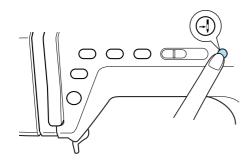
• 通った糸が輪になった場合は、後ろ側へ引っ張り、針穴から糸を引き出します。



14 押えの下から後ろ側へ10cmほど糸を引き出します。



15 糸通しモードスイッチを押します。



→ スイッチが消灯し、上糸シャッターが閉じます。また、押えが下がります。



お知らせ

スタート/ストップスイッチが緑色に変わり、 上糸通しが完了します。これで上糸の準備がで きました。



お願い

- 糸通し装置は家庭用ミシン針(HA × 1)
 11~16番の範囲で使用してください。なお、 針と糸の適正な組み合わせは、P.34「針の種 類と使い分け」を参照してください。
- 自動糸通しが正常に行なわれなかった場合は、6 の針棒糸かけからやり直してください。
- 糸によっては糸通し装置が使用できないものがあります。その場合は6の針棒糸かけをした後、糸通しレバーを使用しないで、手で針の手前から向こう側に針穴に糸を通してください。

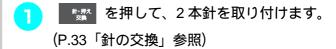
2本針を使用する

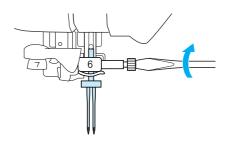
別売りの2本針を使用すると、同じ模様を平行にぬうことができます。下糸は1本ですが、上糸に配色のよい2本の糸を使うと変化のある模様がぬえます。糸は、同質で同じ太さのものを使います。模様を選んだときに が が表示される模様のみ、2本針が使用できます。2本針が使用できる模様は、巻末の「ぬい方早見表」で確認することができます。

🛕 注意

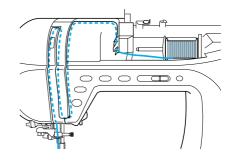


- 2本針は必ずブラザー専用2本針(部品コード X59296-101)を使用してください。その他の針を使用すると針折れや故障の原因となります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
- 2本針を使用するときは、<J>押えを使用してください。糸や布地によってぬい目が詰まる場合は、<N>押えを使用してください。

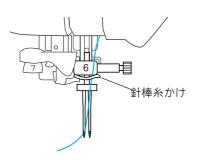




2 1 本針と同じ手順で 1 本目の糸を通します。 (P.27「上糸を通す」参照)

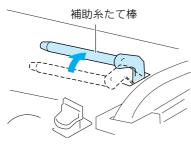


3 糸を針棒糸かけに通し、左側の針に糸を通します。

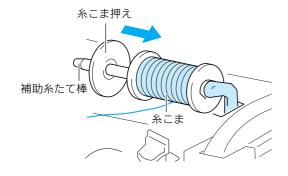




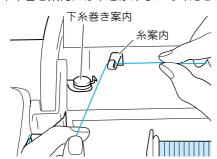
補助糸たて棒を上におこして固定します。



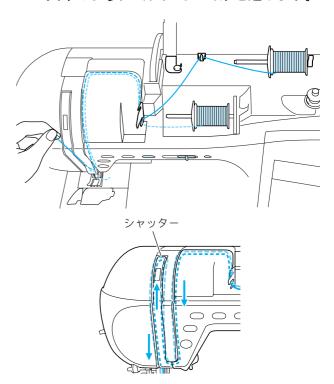
5 もう1つの糸こまを、糸が手前から出るように補助糸たて棒に差し込み、糸こま押えを奥までしっかり差し込みます。



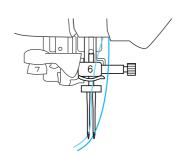
- 6 糸こまからの糸を右手で保持しながら左手 で糸端を持って、糸案内に糸をかけます。
 - 下糸巻き案内には糸をかけないでください。



糸こまからの糸を両手で持ち、糸案内板に下から上へ糸をかけます。左手で糸端を持って矢印のようにミゾにそって糸を通します。



 針棒糸かけには糸をかけずに、右側の針に糸 を通します。



Ö

お願い

自動糸通しは使用できません。針の手前から向こう側に、手で針穴に糸を通してください。自動糸通しを無理に使用すると故障の原因となります。

- 9 を押すか、画面上の 針・押え交換終了 を押します。
- 11 模様を選びます。



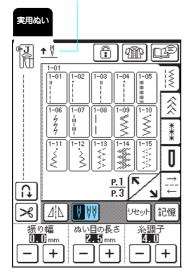
お願い



₩₩ を押して2本針の設定をします。

• 1 本針のときよりも振り幅がせまくなります。

1本針/2本針設定の表示



→ 1本針/2本針設定の表示が ↑♥♥ に変わります。



🛕 注意



2本針を使用するときは必ず2本針の設定にしてください。 万一 2 本針の設定にされていない状態で 2 本針を使用すると、針折れや故障の原因となります。

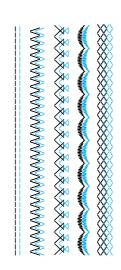


スタート/ストップスイッチを押します。



お知らせ

2本針でぬう方向を変えるときは、針を布地から抜いてから押えレバーを上げ、布地を回します。



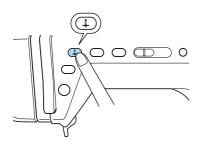
押えの交換

▲注意

- 0
- 模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。(巻末の「ぬい方早見表」参照)
- 必ず正規の押えを使用してください。その他の押えを使用するとケガや故障の原因となります。

押えを取り外す

🕦 針上下スイッチを押して針を上げます。



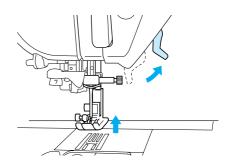
**** を押します。



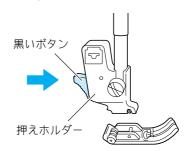
→ 画面が変わり、すべてのキーと操作スイッチがロックされます。



押えレバーを上げます。

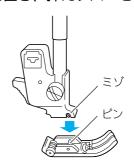


4 押えホルダーの黒いボタンを押して押えを 外します。



押えを取り付ける

#えホルダーのミゾと押えのピンが合うように押えを置き、押えレバーを下げます。



- を押します。 画面上の 針・押え交換終了
 - → すべてのキーと操作スイッチがロック解除され、元 の画面に戻ります。
- 押えレバーを上げます。

針の交換



▲注意



- /ストップスイッチが押されると、ミシンが作動してケガの原因となります。
- 針は必ず家庭用ミシン針 (HA × 1) を使用してください。その他の針を使用すると、針折れや故障 の原因となります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。

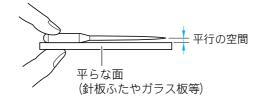
■ 正しい針

平らな物(針板、ガラス板など)に針の平らな面を 合わせ、すきまが平行である針を使用してくださ

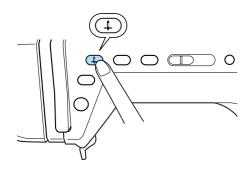


火 お願い

針先が曲がったり、つぶれているものは使用し ないでください。

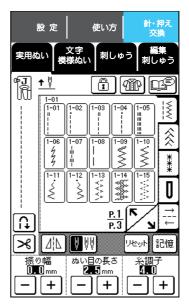


針上下スイッチを押して針を上げます。





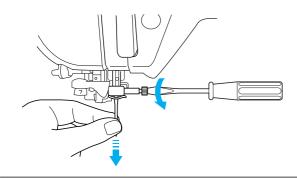
** を押します。



→ 画面が変わり、すべてのキーと操作スイッチがロッ クされます。

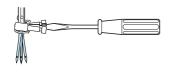


3 付属のドライバーで針の止めネジを手前に 回してゆるめ、針を抜きます。

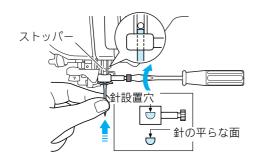


台

止めネジをゆるめたりしめたりするときは、大きな力を加えないでください。故障の原因となります。



4 新しい針の平らな面を後ろ側に向けて、ストッパーに当たるまで差し込み、止めネジをしっかりとしめます。



▲ 注意

0

針は必ずストッパーに当たるまで差し込み、 止めネジを付属のドライバーで確実にしめ てください。針が正しく取り付けられていな いと、針折れや故障の原因となります。

- 5 を押すか、画面上の 針・押え交換終了を押します。
 - → すべてのキーと操作スイッチがロック解除され、元 の画面に戻ります。

■ 針の種類と使い分け

ミシン針は布地や糸の太さによって使い分けます。 次の表を参考にして、布地に合った糸と針を選んで ください。

お知らせ

糸は数字が小さいほど太く、針は数字が大きい ほど太くなります。

| * # | の種類 | ミシン | 針の種類 | |
|----------------|--------------|-------------|--------------|--------------|
| 11346 | の作業規 | 種類 | 太さ | 可 の性状 |
| | ブロード | 綿糸 | 60 ∼ 80 | |
| 普通地 | タフタ | 合繊糸 | 00 00 | 11 ~ 14 |
| | フラノ ギャバシン | 絹糸 | 50 ~ 80 | |
| | ローン | 綿糸 | 60 ~ 80 | |
| 薄地 | ジョーゼット | 合繊糸 | 00 - 00 | 9 ~ 11 |
| | ポーラ | 絹糸 | $50 \sim 80$ | |
| | デニム | 綿糸 | 30 ~ 50 | |
| 厚地 | コーデュロイ | 合繊糸 | 50 | 14 \sim 16 |
| | ツィード | 絹糸 | | |
| のびる布地 | ジャージ | ニット用糸 50 | 50 ~ 60 | ゴールデン針 |
| 070.241126 | トリコット | _ / I / m/k | 00 00 | 11 ~ 14 |
| | | 綿糸 | | |
| ほつれか | っすい布地 | 合繊糸 | $50 \sim 80$ | 9 ~ 14 |
| | | 絹糸 | | |
| フテッチ | F糸の場合 | 合繊糸 | 30 | 14 ~ 16 |
| | ノドリークの口 | 絹糸 | 30 | 14 - 10 |

ゴールデン針 (ニット用金)

伸縮性のある布地や目がとびやすい布地に使用します。

ナイロン透明糸

布地や糸にかかわらず **14** ~ **16** 番の針を使用してください。

▲ 注意 布地と糸と針の組み合わせは



布地と糸と針の組み合わせは、上の表に従ってください。組み合わせが適切でない場合、ぬい目がふぞろいになり、ぬいじわや目とびの原因になります。特に厚い布地(デニム等)を細い針(9~11番)でぬうと、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。



第 **2** 章 基本操作

| 基本のぬい方 | |
|-------------------------|--|
| ぬってみましょう | |
| ほつれ止めをする | |
| カーブをぬう38 | |
| ぬい方向を変える38 | |
| ■0.5cm 以下のぬいしろでぬう場合38 | |
| 厚い布地をぬう39 | |
| ■押えの下に布地が入らない場合39 | |
| ■布地が送らない場合39 | |
| 薄い布地をぬう39 | |
| ぬい目の調節 | |
| ジグザグの振り幅を調節する40 | |
| ぬい目の長さを調節する40 | |
| 糸調子を調節する41 | |
| ■正しい糸調子41 | |
| ■上糸が強すぎる(下糸が表に出る)場合41 | |
| ■上糸が弱すぎる(上糸が裏に出る)場合41 | |
| 便利な機能 | |
| | |
| 自動止めぬいをする42 | |
| 自動止めぬいをする42 自動糸切りをする | |

基本のぬい方

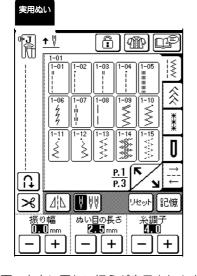


▲ 注意

- ミシン操作中は、針の動きに十分にご注意ください。また、針、プーリー、天びんなど、動いている すべての部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
- 縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。ケガの原因となります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
- ぬう際には、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。
- ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態でぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

ぬってみましょう

- 電源スイッチを入れ、針上下スイッチを押して針を上げます。
- 🥏 模様を選びます。



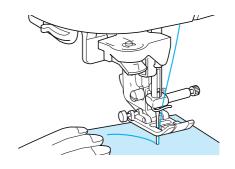
- → 画面の左上に正しい押えが表示されます。
- 3 押えを取り付けます。(P.32「押えの交換」 参照)



⚠ 注意

模様に適した押えを使用してください。 誤った押えを使用すると、針が押えに当た り、折れたり曲がったりするおそれがあり ます。

- 4 布地を押えの下に置き、糸と布地を左手で押さえてプーリーを回し、ぬい始めの位置に針をさします。
 - <J>押えの左側の黒いボタンは、布地が送らないときや布地に段差があるときに使います。通常は 黒いボタンを使わずにぬいます。



5 押えレバーを下げます。



お知らせ

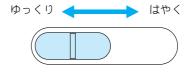
下糸を引き上げなくてもそのままぬうことができます。

るピードコントロールレバーでぬう速さを 調節します。

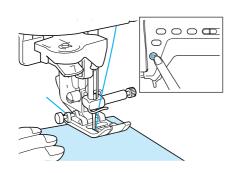


お知らせ

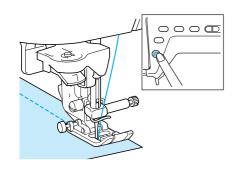
ぬっている途中でもスピードを調節することができ ます。



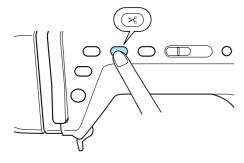
布地に軽く手を添え、スタート/ストップス イッチを押してぬい始めます。



ぬい終わったらもう一度スタート/ストッ プスイッチを押します。



糸切りスイッチを押して糸を切ります。



→ 針が自動で上で止まります。

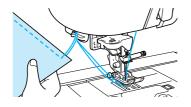
▲ 注意



- 糸を切った後は、糸切りスイッチを押さな いでください。糸がからまったり、針折れ やミシンの損傷の原因となります。
- 布地のない状態およびミシンが動いてい るときは糸切り操作を行わないでくださ い。糸がらみや故障の原因となります。



30番以上の太い糸やナイロン糸など特殊な糸を 切る場合は、本体側面の糸切りを使用してくだ さい。



針が完全に止まったら、押えを上げて生地を 取り出します。



お願い

このミシンには下糸残量装置が付いています。 下糸が少なくなるとミシンが自動的に止まり、 画面にメッセージが表示されます。その場合は 早めに下糸を補充してください。ただし、ス タート/ストップスイッチを押すと数針ぬう ことができます。

■ 別売りのフットコントローラー(MODEL S) を使う

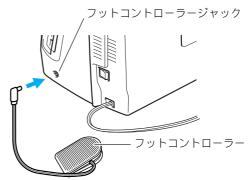




- フットコントローラーを接続するときは、 誤ってミシンがスタートしないよう、必ず 電源を切ってください。
- このミシンに使用できるフットコント ローラーは以下のモデルです。下記以外 のモデル、または他社のものはご使用に ならないでください。

MODEL S(推奨:オプションとしてご購 入される場合) / MODEL P/MODEL T

電源スイッチを切ります。フットコントローラーの コードを引き出し、本体左側面のフットコントロー ラージャックにフットコントローラーのプラグを 差し込みます。

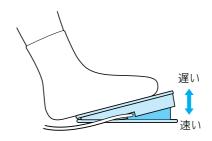




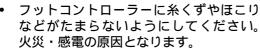
お願い

フットコントローラーのコードは赤い印以上 引き出さないでください。

フットコントローラーを浅く踏んでいるときは、 ゆっくりとぬいます。深く踏み込むほど、ぬう速さ は速くなります。踏み込みをやめると止まります。



▲ 注意





フットコントローラーの上に物を置かな いでください。ケガ・故障の原因となり



長期間使わないときは、フットコント ローラーのプラグをジャックから抜いて ください。火災・感電の原因となりま



② お知らせ

- フットコントローラージャックにフットコン トローラーのプラグが差し込まれているとき は、スタート/ストップスイッチは使用でき ません。
- スピードコントロールレバーで設定した速度 が、フットコントローラーを踏み込んだとき の最高速度になります。
- 刺しゅうまたは編集刺しゅうのときは、フッ トコントローラーは使用できません。スター ト/ストップスイッチを使用してください。

ほつれ止めをする

一般的にぬい始めとぬい終わりにはほつれ止めが必要 です。ほつれ止めをするには、返しぬいスイッチを押 します。

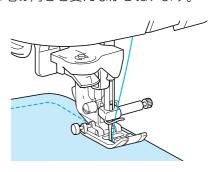
返しぬいスイッチを押している間、模様によって止め ぬいまたは返しぬいをします。止めぬいの場合は同じ 場所で3~5針ぬってから止まります。返しぬいの場 合は逆方向に低速でぬいます。

また、このミシンは自動止めぬい(返しぬい)を設定 することができます。P.42「自動止めぬいをする」を 参照してください。



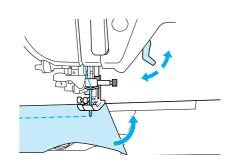
カーブをぬう

ぬい目を布端と平行になるように、ミシンを止めて少 しずつ布地の向きを変えながらぬいます。



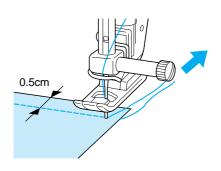
ぬい方向を変える

方向を変える位置でミシンを止め、針を布にさしたま ま押えレバーを上げます。針を軸にして布地を回し、再 び押えレバーを下げてぬい始めます。



■ 0.5cm 以下のぬいしろでぬう場合

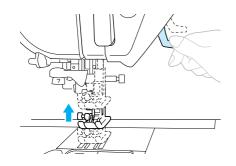
角部にしつけ糸をつけ、方向を変えたらしつけ糸を 後ろに引っ張りながらぬいます。



厚い布地をぬう

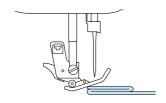
■ 押えの下に布地が入らない場合

押えレバーは2段階に上がります。厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げると、押えがもう一段上がり布地が入れやすくなります。

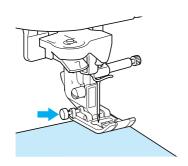


■ 布地が送らない場合

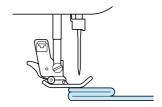
ぬい始めに布地が送らないときや布地に段差があって送らない場合は、<**J**>押えの左側の黒いボタンを使います。



- 押えレバーを上げます。
- <J>押えの左側の黒いボタンを押したまま、 押えレバーを下げます。



• 押えが水平になり、布地が送られます。ぬい進めると押えはもとに戻ります。



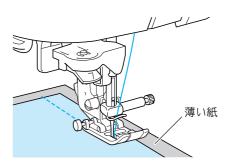
0

▲注意

6mm 以上の厚物をぬったり、無理に布地を押しこんだりすると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

薄い布地をぬう

アイロンスプレーのりを使ってアイロンをかけたり、布地の下にハトロン紙などの薄い紙、または刺しゅう用の芯をしいてぬうと、ぬいやすくなります。紙や芯をしく場合は、ぬい終わった後にていねいに取り除きます。



ぬい目の調節

ジグザグの振り幅やぬい目の長さ、上糸調子は、あらかじめ模様ごとの標準値に設定されています。 お好みにより設定を変えたいときは、以下の説明に従って操作してください。

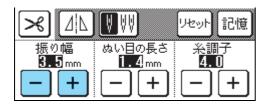


くお願い

- 模様によって、設定を変えられないものがあります。(巻末の「ぬい方早見表」参照)
- 設定を変えたあとに、ミシンの電源スイッチを切ったり設定を保存せずに他の模様を選んだりすると、 標準の設定に戻ります。

ジグザグの振り幅を調節する

ジグザグの振り幅(模様の幅)を広くしたりせまくしたりすることができます。

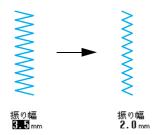




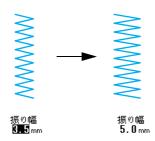
お知らせ

別売りのフットコントローラーを使うと、スピードコントロールレバーでジグザグの振り幅を調節することができます。(P.61 参照)

振り幅の **一**を押すごとに表示の数値が小さくなり、 ジグザグの幅がせまくなります。



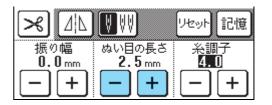
振り幅の + を押すごとに表示の数値が大きくなり、 ジグザグの幅が広くなります。



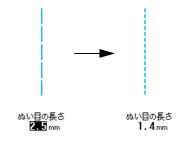
|vセット||を押すと標準の設定に戻ります。

ぬい目の長さを調節する

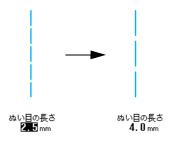
ぬい目の長さをあらくしたり細かくしたりすることが できます。



ぬい目の長さの **一**を押すごとに表示の数値が小さくなり、ぬい目が細かくなります。



ぬい目の長さの+を押すごとに表示の数値が大きくなり、ぬい目があらくなります。



| ツセット| を押すと標準の設定に戻ります。

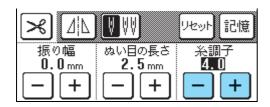


🛕 注 意

ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

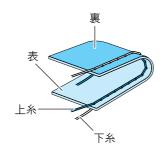
糸調子を調節する

通常は、布地や糸の種類に関係なく、自動的に標準の 糸調子が取れるように設定されています。布や糸の種 類によって、糸調子を調節してください。



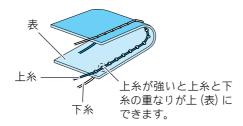
■ 正しい糸調子

上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。糸調子が正しく設定されていないと、ぬい目がきたなくなり、布地にしわがよることがあります。



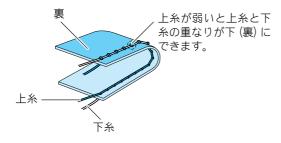
■ 上糸が強すぎる(下糸が表に出る)場合

糸調子の — を押します。押すごとに表示の数値が 小さくなり、上糸が弱くなります。



■ 上糸が弱すぎる(上糸が裏に出る)場合

糸調子の **+**を押します。押すごとに表示の数値が 大きくなり、上糸が強くなります。



リセット を押すと標準の設定に戻ります。

便利な機能

自動止めぬいをする

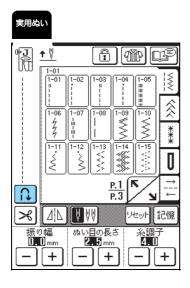
模様を選んだときにあらかじめ自動止めぬいを設定しておくと、ぬい始めと返しぬいスイッチを押したときに自動的に止めぬい(模様によっては返しぬい)をします。

🚺 模様を選びます。

🔁 🔝 を押して、自動止めぬいを設定します。

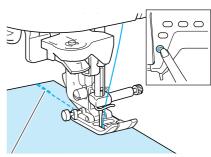
お知らせ

ボタン穴かがりやかんどめなど、自動的に止めぬいが設定されている模様があります。



→ 表示が に変わります。

3 布地をぬい始めの位置に合わせてスタート/ ストップスイッチを押すと、自動的に返しぬ い(または止めぬい)をしてぬい始めます。

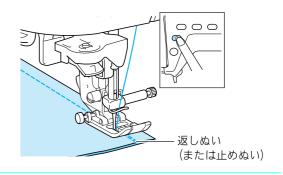


返しぬい (または止めぬい)

🏹 お知らせ

ぬっている途中でスタート/ストップスイッチを押して止めたあと、再びぬい始めた場合は、返しぬい(または止めぬい)をしません。

4 返しぬいスイッチを押すと、自動的に返しぬい (または止めぬい) をして止まります。



刃 お知らせ

自動止めぬいを解除するときは、もう一度

⚠ を押して 🎧 にします。

自動糸切りをする

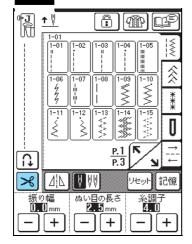
模様を選んだときにあらかじめ自動糸切りを設定しておくと、返しぬいスイッチを押したときに自動的に止めぬい (模様によっては返しぬい) をして糸を切ります。ボタン穴かがりやかんどめをぬうときに便利です。



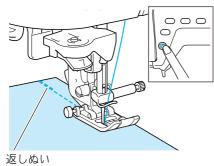
お知らせ

- 自動糸切りは、自動止めぬいを設定しているときに設定できます。
- 刺しゅう模様は自動的に自動糸切りが設定されています。
- 模様を選びます。
- 🔁 🔀 を押して、自動糸切りを設定します。





- → 表示が**ょ**に変わります。
- 3 布地をぬい始めの位置に合わせてスタート/ ストップスイッチを押すと、自動的に返しぬ い (または止めぬい) をしてぬい始めます。

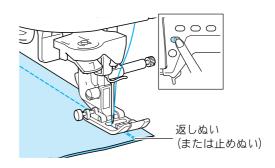


返しぬい (または止めぬい)

お知らせ

ぬっている途中でスタート/ストップスイッチを押して止めたあと、再びぬい始めた場合は返しぬい(または止めぬい)をしません。

4 返しぬいスイッチを押すと、自動的に返しぬい(または止めぬい)をして糸を切ります。





お知らせ

自動糸切りを解除するときは、もう一度

❤️を押して ❤️ にします。

画面をロックする

振り幅やぬい目の長さなどの設定をロック(固定)することができます。大きな布や作品をぬう場合に、布が画面に触れて設定が変わったり、途中でミシンが止まったりすることを防ぎます。実用模様と文字模様ぬいのときに設定できます。

- | 模様を選びます。
- 🥏 振り幅やぬい目の長さなどを設定します。
- (3) (計) を押します。
 - → 表示が に変わります。
- 🕢 ぬい始めます。



お願い

以外のキー操作はできません。模様を選び直したり、設定を変更したりする場合は、 を押して にしてから操作してください。

• 画面ロックを設定した後で



のいずれかのキー操作をすると、画面ロック は解除されます。

• 電源スイッチを切ると、画面ロックは解除されます。



第 3 章 実用ぬい

| 実用模様の選び方 | 46 |
|--|----|
| ■ 模様選択画面 | 46 |
| 模様を選ぶ | 47 |
| ■ 模様を左右反転するには | 47 |
| 模様の設定を記憶する | |
| ぬい方キーを使って模様を選ぶ | 48 |
| いろいろなぬい方 | 49 |
| 直線ぬい | 49 |
| ■ 針位置の変え方(左基線・中基線の模様) | |
| ■ しつけ | |
| ダーツ | |
| ギャザー | _ |
| 折り伏せぬい | 52 |
| ピンタック | 53 |
| ジグザグ | 54 |
| ■ たちめかがり | 54 |
| ■ アップリケ | 54 |
| ■ パッチワーク (クレイジーキルト) | |
| ■ カーブをぬう場合 | 55 |
| 点線ジグザグ | |
| ■ ゴムひもつけ | |
| ■ たちめかがり たちめかがり | |
| 【こらめががり ■ < G >押えを使うたちめかがり | |
| ■ < J >押えを使うたちめかがり | |
| ■ マップー・マップー・マップー・マップー・マップー・マップー・マップー・マップー・ | |
| キルト | |
| ■ ピーシング | |
| ■ アップリケ | |
| ■ サテンぬい | 61 |
| まつりぬい | |
| ■ 折り山にぬい目がかからない場合 | 63 |
| ■ 折り山にぬい目がかかりすぎた場合 | |
| アップリケ | 63 |
| ■ 急な角度をぬう場合 | |
| シェルタック | |
| スカラップ | |
| つき合わせ | |
| スモッキング | 65 |
| ファゴティング | 66 |
| ディカナーは | 00 |

| ヘアルーム | 67 |
|------------------|----|
| ■ デイジーステッチ | 67 |
| ■ ドロンワーク (1) | 68 |
| ■ ドロンワーク (2) | 69 |
| ボタン穴かがり | 70 |
| ■ 伸びる布地をぬう場合 | 73 |
| ■ ボタンが台皿にのらない場合 | |
| ■ ダーニング | 74 |
| かんどめ | |
| ■ 厚地の場合 | 77 |
| ボタンつけ | 78 |
| ■ 4 つ穴ボタンをつけるときは | 79 |
| ■ ボタン足を付けるときは | |
| アイレット | 80 |
| 横送り (直線・ジグザグ) | |
| ファスナーつけ | 82 |
| ■ つき合わせ | 82 |
| ■ 脇あき | 83 |

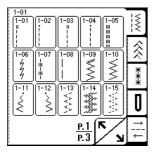
実用模様の選び方

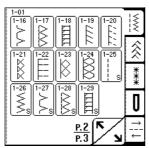
■ 模様選択画面

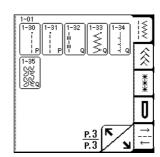


を押すと前または次ページが表示されます。

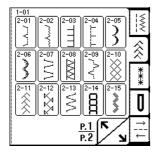
直線・たちめかがり・キルト模様

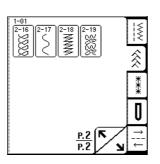


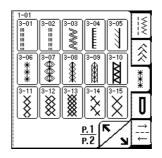


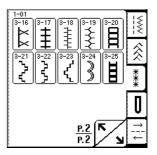


飾り模様

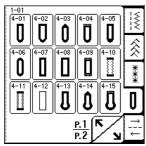




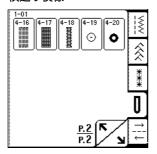


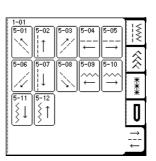


ボタン穴かがり模様など



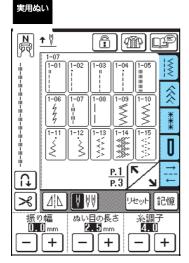
横送り模様





模様を選ぶ

- ■電源スイッチを入れて画面を軽く押します。
 - → 縫製によく使う「1-01 直線(左基線)」が選ばれます。
- - 他の画面が表示されている場合は 実用ぬい を押してください。



→ 選んだ模様が押え記号の下に表示されます。

お知らせ

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見 表」を参照してください。

■ 模様を左右反転するには

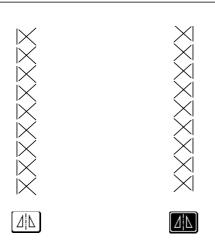
 (41)
 を押して
 (41)
 にします。選んだ模様が左右

 に反転します。

**

お願い

模様を選んだときに、 (Δ|Δ) が薄く (Δ|Δ) 表示されている模様は、左右に反転することはできません。 (ボタン穴かがり、横送り模様など)



模様の設定を記憶する

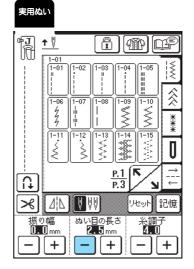
ジグザグの振り幅やぬい目の長さ・糸調子・自動糸切りや自動止めぬいなどは、あらかじめコンピュータにより模様ごとの標準値に設定されています。お好みの数値に設定しておきたいときは、設定した後に記憶を押すと、模様ごとに記憶することができます。

- **例)** 直線のぬい目の長さを、いつも 2.0mm で 使うには
- 直線模様を選びます。

お知らせ

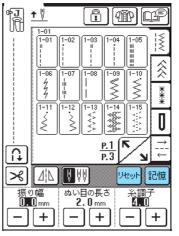
標準のぬい目の長さは 2.5mm です。

2 ぬい目の長さを 2.0mm に設定します。



- 🔁 [記憶]を押します。
 - 元の標準設定に戻したいときは、「リセット」を押した後に「記憶」を押します。







お知らせ

- 次に同じ直線模様を選んだときは、ぬい目の 長さが 2.0mm と表示されます。
- ・ぬい目の長さだけでなく、ジグザグの振り幅・糸調子・自動糸切りや自動止めぬいなど、模様のすべての設定が記憶されます。電源スイッチを切っても、同じ模様を選ぶと記憶された設定が表示されます。記憶された設定は、再度設定を変えて記憶を押すか、「ルシットを押して標準の設定に戻し、もう一度記憶を押さない限り変わりません。

⑩ ぬい方キーを使って模様を 選ぶ

実用ぬいでは、(型で)を押して、ぬい方から模様を選ぶこともできます。 どの模様を選んだらいいのか分からない場合や、どのようにしてぬうのか分からない場合

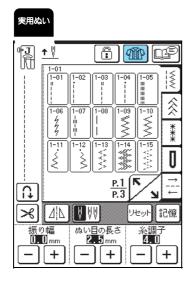
に、(MM) を使うと用途に応じた適切な模様を選ぶことができ、操作手順を確認しながらぬうことができるのでとても便利です。

初心者の方はこの方法で模様を選ぶことをお勧めします。

例) たちめかがりをしたいとき

1

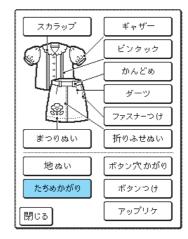
(全)を押します。



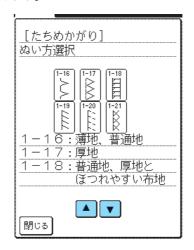
→ ぬい方の一覧が表示されます。



たちめかがりを押します。



- → たちめかがりの模様と各々の用途説明が表示されます。
- 🔁 説明を読んで、用途に合う模様を選びます。
 - ▲または▼を押すと、矢印の方向にスクロールします。



→ 選んだ模様の操作手順が表示されます。

- 🕢 操作手順に従って操作します。
 - を押すと次ページが表示されます。



5 ぬい終わったら、閉じるを押します。

いろいろなぬい方

直線ぬい

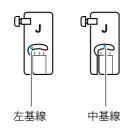
T

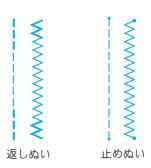
≺ お願い

 $igcolone{1}{2}$ 2本針($egin{array}{c} P.29$ 参照)を使用するときは、必ず< $egin{array}{c} J>$ 押えを取り付けてください。

| 411- | 27.24 | -m- | | ジグザグの振り幅* | | ぬ | い目の長さ* | - 2 本針 ** |
|------------------------------|---------|---------|--|-----------|-----------|------|------------|-------------|
| ぬい方 | 名前 | 押え | 主な用途 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | 2 42 9 1 "" |
| 1-01 | 直線(左基線) | ij | 地ぬい、ギャザー、ピンタック など洋裁に広く使用します。返 しぬいスイッチを押すと返し ぬいをします。 | 0.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 0.2 - 5.0 | 0 |
| 1-02 | 直線(左基線) | #J | 地ぬい、ギャザー、ピンタック など洋裁に広く使用します。返 しぬいスイッチを押すと止め ぬいをします。 | 0.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 0.2 - 5.0 | 0 |
| 1-03 - - - | 直線(中基線) | #J | ファスナーつけ、地ぬい、ギャ ザー、ピンタックなど洋裁に広 く使用します。返しぬいスイッ チを押すと返しぬいをします。 | 3.5 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 0.2 - 5.0 | 0 |
| 1-04 | 直線(中基線) | #J | 地ぬい、ギャザー、ピンタック など洋裁に広く使用します。返 しぬいスイッチを押すと止め ぬいをします。 | 3.5 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 0.2 - 5.0 | 0 |
| 1-05 | 3 重ぬい | #J | 丈夫なぬい目なので、袖つけや 股下をぬうときに便利です。ま た、伸びる布地をぬうときや飾 りぬいとしても使用します。 | 0.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 1.5 - 4.0 | 0 |
| 1-06 4 7 | 伸縮ぬい | ij | 伸縮性のあるぬい目なので、伸 びる布地をぬうときに使用し ます。また、飾りぬいとしても 使用します。 | 1.0 | 1.0 - 3.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 1-07 | 飾りぬい | N PR | 飾りぬいに使用します。 | 0.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 1-08 | しつけぬい | ij | 仮り止めに使用します。 | 0.0 | 0.0 - 7.0 | 20.0 | 5.0 - 30.0 | × |

^{* —:}調節できません。** ○:使用できます。×:使用できません。

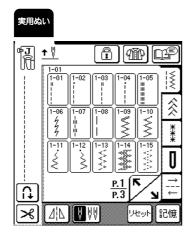




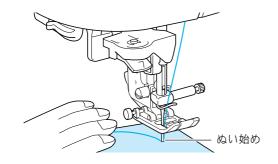


お知らせ

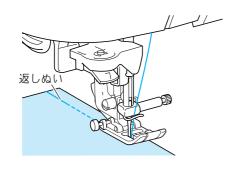
模様の頭に「»」がついている模様は、返しぬいスイッチを押したときに返しぬいを、「·」がついている 模様は止めぬいをします。 模様を選びます。



- 🔁 <J>押えを取り付けます。
- 左手で糸と布地を押さえ、右手でプーリーを 手前に回して、ぬい始めの位置に針をさします。



- 押えレバーを下げます。
- 5 返しぬいスイッチを押しながら返しぬい(止めぬい) をした後、スタート/ストップス イッチを押してゆっくりぬい始めます。

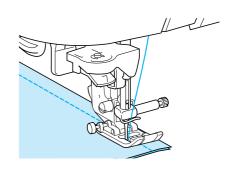




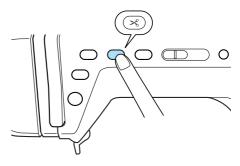
▲ 注意

ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

6 ぬい終わりは、返しぬいスイッチを押しながら返しぬい(止めぬい)をします。

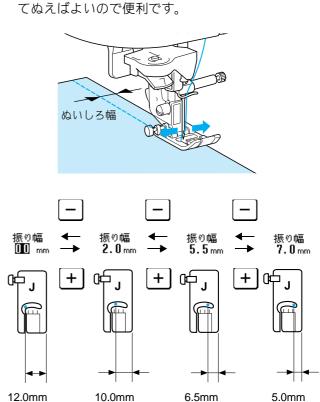


- 糸切りスイッチを押して糸を切ります。
 - 模様を選んだときにあらかじめ自動糸切りを設定しておくと、ぬい始めと返しぬいスイッチを押したときに自動的に返しぬい(止めぬい)をして糸を切ります。



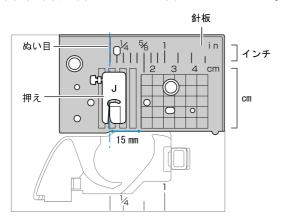
■ 針位置の変え方(左基線・中基線の模様)

左基線と中基線の直線ぬいは、振り幅の - + を押して針位置を左右に移動させることができます。押えの右端から針までの距離をぬいしろ幅に合わせておくと、ぬうときに押えの右端に布端を合わせ



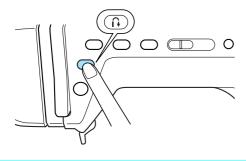
針板を基準にする場合

針板には、直線(左基線)の針位置からの長さが表示 されています。針板に刻まれている目盛りと布端を合 わせてぬいます。上側の目盛りは 1/8 インチ (約 3mm) 単位、下側の目盛りは5mm単位になっています。



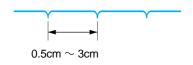
■ しつけ

- を選び、<J>押えを取り付けます。
- ぬい始めは返しぬいスイッチを押して止め ぬいをします。

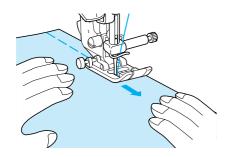


お知らせ

ぬい目の長さは $0.5\sim3$ cm まで変えることが できます。



押えの後ろ側の布地を軽くもちながらぬい ます。



お知らせ

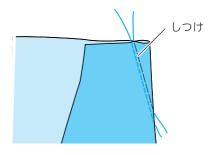
別売りのフットコントローラーを使用すると、 作業がしやすくなります。(P.37 参照)

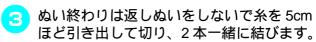
ぬい終わりは止めぬいをします。

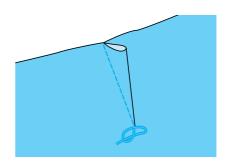
ダーツ



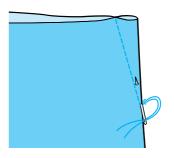
- を選び、<J>押えを取り付けます。
- ぬい始めは返しぬいスイッチを押して返し ぬいをし、幅の広い方から先端に向かって布 地を伸ばさないようにぬいます。
 - あらかじめ自動止めぬいを設定しておくと、ぬい 始めに返しぬいをします。



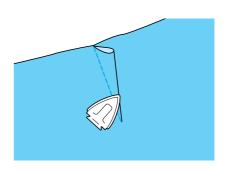




糸端をぬい針でダーツの中に入れます。



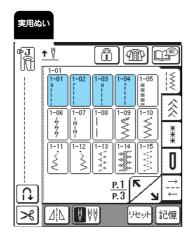
アイロンでダーツを片側に倒します。



ギャザー

ギャザースカートのウェストや袖などに使います。

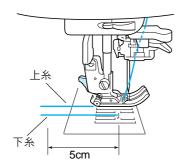
直線ぬいを選び、<J>押えを取り付けます。



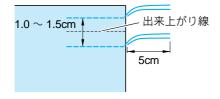
2 ぬい目の長さを 4.0mm に、糸調子を 2.0 (ゆるめ) に設定します。

かわらせ お知らせ

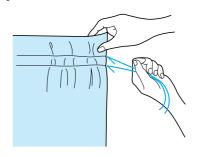
3 上糸と下糸を約 5cm ほど引き出しておきます。(P.26「下糸を引き出す」参照)



4 出来上がり線をはさんで平行に2本ぬい、上 糸と下糸を5cm引き出して切ります。



5 下糸を引いてギャザーをよせ、糸を結びます。



ギャザーをととのえ、ぬい代部分にアイロン をかけます。

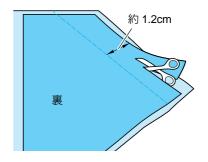


🥜 出来上がり線をぬってしつけを取ります。

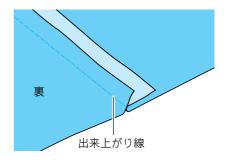
折り伏せぬい

丈夫に仕上げ、きれいに端の始末をしたいときに使います。

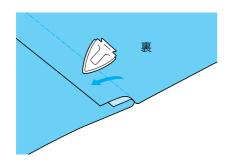
- を中表に合わせて出来上がり線をぬい、 倒したい側のぬいしろを半分に切ります。
 - あらかじめ自動止めぬいと自動糸切りを設定しておくと、自動的にぬい始め・ぬい終わりで返しぬいをして糸を切ります。



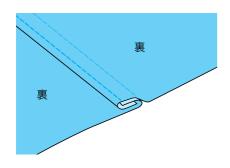
3 出来上がり線を軸に布地を広げます。



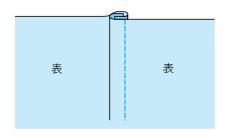
4 切ったぬいしろ側へ2枚一緒に倒してアイロンをかけます。



5 幅の短いぬいしろを長いぬいしろでくるみ、 折り山の端をぬいます。



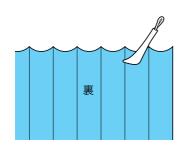
ぬい上がり



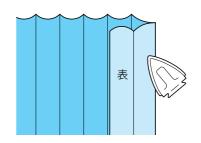
ピンタック

ブラウスなどの装飾に使います。

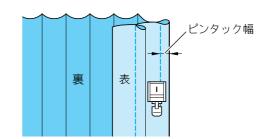
布地の裏からへらで折り山にしるしをつけます。



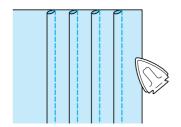
表に返し、アイロンの先で折り山だけを押さ えます。



- <mark>3</mark> │ ॄ │ を選び、<I>押えを取り付けます。
- 4 <1>押えのピンの右側を押えホルダーに取り付け、折り山をぬいます。
 - あらかじめ自動止めぬいと自動糸切りを設定して おくと、自動的にぬい始め・ぬい終わりで返しぬ いをして糸を切ります。



アイロンで片側に倒します。



ジグザグ

ジグザグは、たちめかがりやアップリケ、パッチワークなどいろいろな用途に使います。



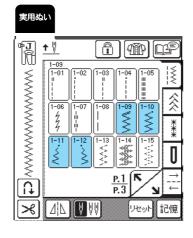
₩ お願い

2本針 (P.29参照) を使用するときは、必ず<J>押えを取り付けてください。

| めい士 | 名前 | +m → | 十 45甲洛 | ジグ | ジグザグの振り幅* | | い目の長さ* | 2 本針 ** |
|------------|------------|------|---|-----|-----------|-----|-----------|---------|
| ぬい方 | 石 則 | 押え | 主な用途 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | 2 4 型 |
| 1-09 | ジグザグ(中基線) | ij | たちめかがりやアップリケなどに使用します。返しぬいスイッチを押すと返しぬいをします。振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。 | 3.5 | 0.0 - 7.0 | 1.4 | 0.0 - 4.0 | 0 |
| 1-10 | ジグザグ(中基線) | ij | たちめかがりやアップリケなどに使用します。返しぬいスイッチを押すと止めぬいをします。振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。 | 3.5 | 0.0 - 7.0 | 1.4 | 0.0 - 4.0 | 0 |
| 1-11 \$ | ジグザグ(右基線) | ij | 右の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると右を基 線にして振り幅が変わります。 | 3.5 | 2.5 - 5.0 | 1.4 | 0.3 - 4.0 | 0 |
| 1-12 | ジグザグ(左基線) | *J | 左の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると左を基 線にして振り幅が変わります。 | 3.5 | 2.5 - 5.0 | 1.4 | 0.3 - 4.0 | 0 |

^{* —:} 調節できません。** ○: 使用できます。×: 使用できません。

↑ 模様を選び、<J>押えを取り付けます。



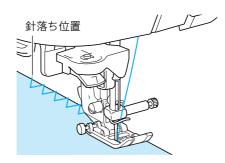


お知らせ

模様の頭に「"」がついている模様は、返しぬいスイッチを押したときに返しぬいを、「・」がついている模様は止めぬいをします。

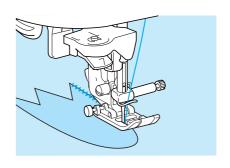
■ たちめかがり

針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいま す。



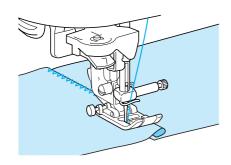
■ アップリケ

アップリケ布を薄くのり付けするかしつけでとめてから、針がアップリケ布の端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



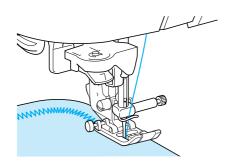
■ パッチワーク(クレイジーキルト)

上側の布地の端を折り、下側の布地に重ねて両方の 布地に模様がまたがるようにぬいます。



■ カーブをぬう場合

カーブの外側に針をさしたまま押えを上げて少しずつ方向を変えながらぬうと、きれいなぬい目ができます。

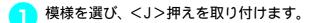


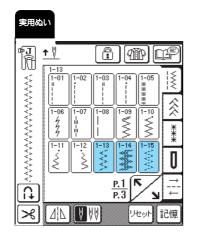
点線ジグザグ

点線ジグザグはたちめかがり、ゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使います。

| ぬい方 | 名前 | 押え | 主な用途 | ジグ | ザグの振り幅* | ぬ | い目の長さ* | 2 本針 ** |
|----------------------------------|---------|------|---|-----|-----------|-----|-----------|----------|
| 020173 | 12180 | 177. | 土は用処 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | Z 47-181 |
| 1-13 > > | 2 点ジグザグ | #J | 普通地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 1.0 | 0.2 - 4.0 | 0 |
| 1-14 | 2 点ジグザグ | #J | 普通地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 1.0 | 0.2 - 4.0 | 0 |
| 1-15 <:* <:* <:* <:* | 3 点ジグザグ | #J | 普通地、厚地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 1.0 | 0.2 - 4.0 | 0 |

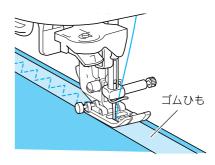
* —: 調節できません。** ○: 使用できます。×:使用できません。





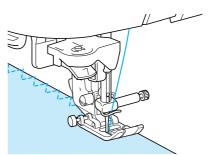
■ ゴムひもつけ

ゴムひもを前後に伸ばしながらぬいます。



■ たちめかがり

伸びる布地をぬうときに使います。針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。



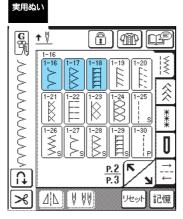
たちめかがり

ズボン、スカートなどのぬいしろの始末、あらゆるたち目の始末に使います。 模様によって<G>押え、<J>押え、サイドカッター押え(別売)を使います。

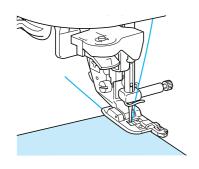
■ <G>押えを使うたちめかがり

| ぬい方 | 名前 押え 主な用途 | | 主な用途 | ジゲ | ザグの振り幅* | ぬ | い目の長さ* | 2 本針 ** |
|--------|------------|----------|---------------------------|-----|-----------|-----|-----------|------------------|
| 041173 | 12180 | 74.7 | | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | Z 小 型 |
| 1-16 | たちめかがり | <u>G</u> | 薄地、普通地のたちめかがりに 使用します。 | 3.5 | 2.5 - 5.0 | 2.0 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-17 | たちめかがり | <u>e</u> | 厚地のたちめかがりに使用します。 | 5.0 | 2.5 - 5.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-18 | たちめかがり | | 厚地のたちめかがりや飾りぬ いに使用します。 | 5.0 | 3.5 - 5.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | × |

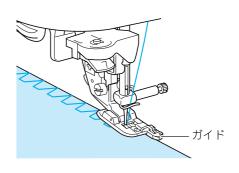
- ─:調節できません。○:使用できます。×:使用できません。
- 模様を選び、<G>押えを取り付けます。



押えのガイドに布端を当てて押えレバーを下げます。

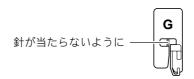


3 布端をガイドに当てながら、ガイドにそって ぬいます。



▲ 注意

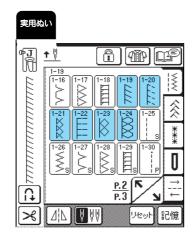
振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。



■ <J>押えを使うたちめかがり

| めい士 | 存前 | 押え | 主 か田冷 | ジグ | ザグの振り幅* | <i>ل</i> ه | ハ目の長さ* | 2 本針 ** |
|------------------------|--------|------|------------------------------|-----|-----------|------------|-----------|---------|
| ぬい方 | 名前 | ታቸ⁄ሌ | 主な用途 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | 2 4 国 |
| 1-19 | たちめかがり | J | 伸びる布地のたちめかがりに 使用します。 | 5.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 0.5 - 4.0 | 0 |
| 1-20 [[| たちめかがり | J | 厚地、伸びる布地のたちめかが りに使用します。 | 5.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 0.5 - 4.0 | 0 |
| 1-21 X X X | たちめかがり | J | 伸びる布地のたちめかがりや 飾りぬいに使用します。 | 4.0 | 0.0 - 7.0 | 4.0 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 1-22 E= E= E= | たちめかがり | J | 伸びる布地のたちめかがりに 使用します。 | 5.0 | 0.0 - 7.0 | 4.0 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-23 | たちめかがり | J | 伸びる布地のたちめかがりに 使用します。 | 6.0 | 1.0 - 7.0 | 3.0 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 1-24 | たちめかがり | J | 伸びる布地のたちめかがりに 使用します。 | 6.0 | 1.0 - 7.0 | 1.8 | 1.0 - 4.0 | 0 |

- * —: 調節できません。** ○: 使用できます。×: 使用できません。
- ↑ 模様を選び、<J>押えを取り付けます。

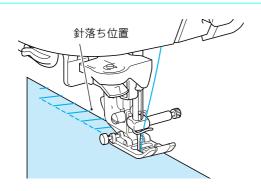


全 針が布端よりわずかに外側に落ちるように ぬいます。



お知らせ

伸びる布地は、押え圧を弱くするときれいに仕上がります。



■ サイドカッター押え(別売)を使うたちめ かがり

キーの右下に「S」と表示されている

ドカッター押えを使ってぬいます。サイドカッター押えを使うと、布地を切りながらたちめかがりをすることができます。



お知らせ

サイドカッター押えを使うときは、必ずキーに「S」と表示されている模様を選んでください。 その他の模様を選ぶと針が押えに当たり、折れ たり曲がったするおそれがあります。またケガ や故障の原因になります。

キルト

美しく実用的なキルトを簡単ですばやく仕上げることができます。

- **お知らせ** ◆ キーの右下に「P」または「Q」と表示されている模様がキルト用です。
 - 別売りのフットコントローラーを使用すると作業がしやすくなります。

| ぬい方 | 名前 | 押え | 主な用途 | ジグ | ザグの振り幅* | ぬし | ハ目の長さ* | 2 本針 ** |
|---|----------------|------|---|-----|-----------|-----|-----------|---------|
| 04117J | 有 _即 | 7t7. | 土は用歴 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | 2 平町 |
| 1-30 ; ; ; P | ピーシング直線(右基線) | j. | ピーシング用の直線です。押えの右端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が 7.0 mm でぬえるように針位置が設定されています。 | 5.0 | 0.0 - 7.0 | 1.6 | 0.2 - 5.0 | × |
| 1-31 ; ; ; ; P | ピーシング直線(左基線) | ij | ピーシング用の直線です。押えの左端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が 7.0 mm でぬえるように針位置が設定されています。 | 2.0 | 0.0 - 7.0 | 1.6 | 0.2 - 5.0 | × |
| 1-32 | 手ぬい風直線 | j. | 上糸にナイロン透明糸、下糸に キルトに合った色の糸を使っ てぬうと手ぬい風のキルト直 線がぬえます。ぬうときは上糸 の調子を強くしてぬいます。 | 0.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-33 × × Q | ジグザグ | Ţ | アップリケキルトやフリー モーションキルト、サテンぬい などに使用します。 | 3.5 | 0.0 - 7.0 | 1.4 | 0.0 - 4.0 | × |
| 1-34 | アップリケ | ÷Ţ | アップリケやバインディング をするときに使用します。 | 1.5 | 0.5 - 5.0 | 1.2 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-35 CSS CSS CSS CSS CSS CSS CSS CSS CSS CS | キルティング模様 | Ţ | キルトで背景をうめるときに使用します。 | 7.0 | 1.0 - 7.0 | 1.6 | 1.0 - 4.0 | × |

^{* —:}調節できません。** ○:使用できます。×:使用できません。

■ ピーシング

ピーシングとは、布と布をぬい合わせることをいいます。 ぬいしろを一定の幅でぬうために、ぬいしろを正確に付けて布を裁断します。

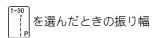
ピース(布)のぬいしろは 7.0mm にします。

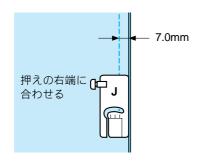


お知らせ

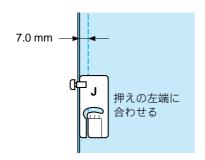
ぬいしろの幅を変える場合は、振り幅の値を変えて針位置を調節してください。

- 1 「歌」または「歌」を選び、<J>押えを取り 付けます。
- 😕 押えの端に布端を合わせてぬいます。





[[-3]] を選んだときの振り幅



A.

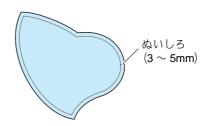
お知らせ

- 振り幅の値は針位置を示します。ぬいしろの 幅ではありません。
- 針位置を変えたいときは、振り幅の
 - **|+||-|**を押して調節してください。
- お好みのぬい目の長さや針位置に変えた場合は、設定を記憶させると便利です。(P.47 参照)

■ アップリケ

上糸にナイロン透明糸を使うとぬい目を目立たなく仕上げることができます。

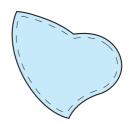
アップリケ布は、ぬいしろを付けて切り取ります。



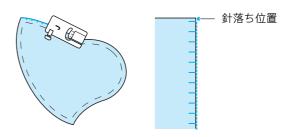
| 厚紙の型紙を当てて、アイロンでぬいしろを | 内側に折ります。



3 アップリケ布を表に返し、土台布にまち針ま たはしつけで固定します。



- 5 針が落ちる位置を確認し、針がアップリケ布 の端よりわずかに外側に落ちるようにまわ りをぬいます。





🛕 注意

ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

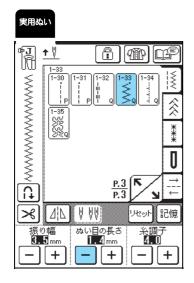
■ サテンぬい

フットコントローラー (別売) を使用してぬいます。 スピードコントロールレバーで振り幅を調節する ことにより、微妙に振り幅を変化させながらサテン 模様をぬうことができます。

- フットコントローラーを取り付けます。 (P.37 参照)
- 「░░ を選び、<J>押えを取り付けます。
- 「ぬい目の長さ」の一を押して、ぬい目を 細かくします。

お知らせ

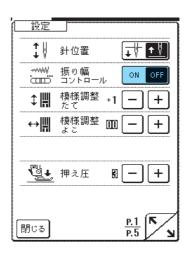
ぬい目の長さを0.3mm ~ 0.5 mmに設定すると きれいなサテン模様になります。(布地の種類 や糸の太さによって異なります。)



№ 定を押します。

• スピードコントロールレバーをジグザグの振り幅 調節レバーに切り替えます。

「振り幅コントロール」の「ON / OFF」を押 5 して「ON」にします。スピードはフットコン トローラーで調節します。



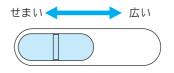


- 閉じるを押します。
- ぬいながらスピードコントロールレバーを 動かして、振り幅を調節します。



お知らせ

- レバーを左に動かすと振り幅がせまくなり、 右に動かすと広くなります。
- 振り幅は中心を基線にして左右均等に変わり ます。





ぬい終わったら、振り幅コントロールを 「OFF」に戻します。

まつりぬい

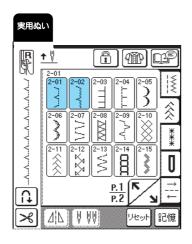
ワンピース、ブラウス、ズボン、スカートのすそやそで口に使います。

| ぬい方 | ぬい方 名前 | 押え | 主か田 達 | ジグ | ザグの振り幅* | ぬ | い目の長さ* | 2 本針 ** |
|--------|--------|------|------------------------|-----|---------|-----|-----------|---------|
| 020173 | 12160 | JT/L | 主な用途 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | Z 71-WI |
| 2-01 | まつりぬい | R | 普通地のまつりぬいに使用し ます。 | 0.0 | +3.03.0 | 2.0 | 1.0 - 3.5 | × |
| 2-02 | まつりぬい | R | 伸びる布地のまつりぬいに使 用します。 | 0.0 | +3.03.0 | 2.0 | 1.0 - 3.5 | × |

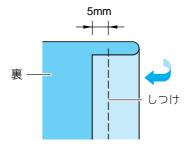
- * —:調節できません。** ○:使用できます。×:使用できません。
- | 模様を選びます。

お知らせ

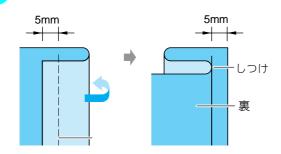
伸びる布地をぬうときは、押え圧を弱くすると きれいに仕上がります。



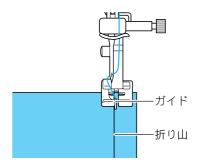
裏側を上にして図のように布地を折って、 しつけをかけます。



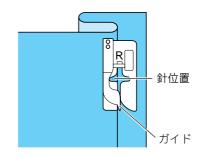
🔁 図のようにもう一度折ります。



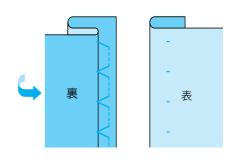
4 <R>押えを取り付け、押えのガイドに布地 の折り山を当てて押えレバーを下げます。



布地の折り山をガイドに当てながらぬいます。



👝 しつけをほどいて表に返します。



お知らせ

左側に落ちる針が折り山にかかっていないと、まつりぬいはできません。また、必要以上にかかりすぎると布が開かず、表に出るぬい目が大きくなり、きれいに仕上がりません。このような場合は次のようにして対処してください。

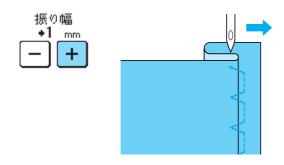
■ 折り山にぬい目がかからない場合

振り幅の - を押して、針が折り山にわずかにかか るように調節します。



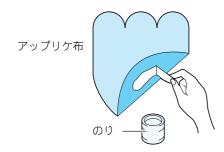
■ 折り山にぬい目がかかりすぎた場合

振り幅の + を押して、針が折り山にわずかにかか るように調節します。



アップリケ

アップリケ布がずれない程度にのり付けす るか、しつけをして固定します。



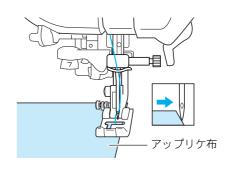
²⁻⁰³ | または S を選びます。

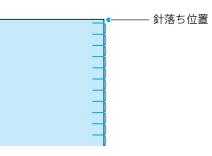


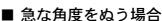
お知らせ

- ジグザグの振り幅やぬい目の長さはアップリ ケの形、大きさ、材質に応じて調節してくだ さい。(P.40 参照)。
- 模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見 表」を参照してください。

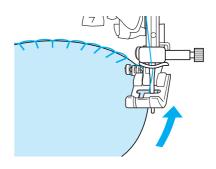
<J>押えを取り付け、針がアップリケ布の 3 端よりわずかに外側に落ちるようにぬいま







アップリケ布の外側に針をさしたまま押えを上げ て少しずつ方向を変えながらぬうと、きれいなぬい 目に仕上がります。



シェルタック

シェルタックは貝殻を直線状にならべたような円弧上のひだを作るものです。ふち取りのほか、ブラウスやワンピースの胸元やそでなどの飾りに使います。



を選びます。



お知らせ

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

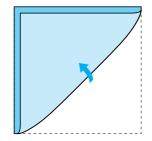
シェルタックの山がきれいにできるように、 糸調子を強めに調節します。



お知らせ

糸調子が弱すぎるとシェルタックの山ができません。

<mark>3</mark> 布地をバイアスに2つ折りにします。

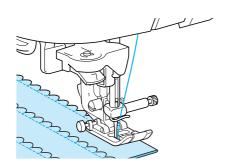


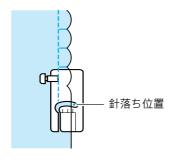


お願い

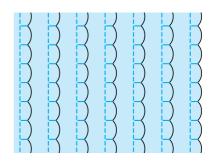
布地は薄地を使用してください。

4 <J>押えを取り付け、針が布端よりわずかに外側に落ちるようにぬいます。





5 布地を開いてアイロンで折り山を片側に倒します。



スカラップ

スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波型の模様です。ブラウスの衿やハンカチなどのふち飾りに使います。





を選び、<N>押えを取り付けます。



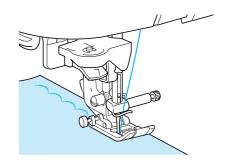
|お知らせ

- 模様を選んだときにあらかじめ自動糸切りを 設定しておくと、ぬい始めと返しぬいスイッ チを押したときに自動的に止めぬいをして糸 を切ります。
- ぬう前に、アイロンスプレーのりを使って布 地にアイロンをかけると、きれいに仕上がり ます。
- 模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見 表」を参照してください。
- **模様が布端にかからないように、端を残してぬいます。**

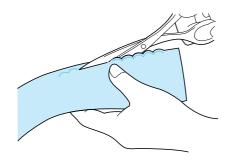


お願い

実際にぬう前にためしぬいをしてください。



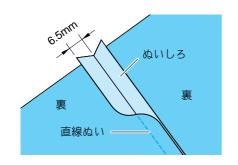
3 糸を切らないように注意しながらぬい目に そって布地を切ります。



つき合わせ

ぬいしろを上から押さえてぬうとクレージーキルトの 飾り模様にもなります。

- ↑ 直線ぬいを選び、<J>押えを取り付けます。
- 2枚の布地を中表にしてぬい合わせた後、ぬいしろを開きます。



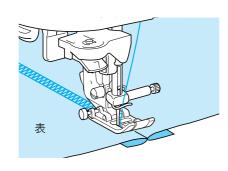
- 布地を表に返し、押えの中心を布と布の中心 に合わせてぬいます。
 - 模様は以下の中から選びます。







4 布地を表に返し、押えの中心を布と布の中心 に合わせてぬいます。



スモッキング

布地を縮めたギャザーの上に模様ぬいや刺しゅうを施 した飾りぬいです。洋服の胸や袖口のひだ飾りに使い ます。

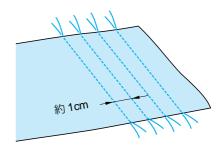
直線を選び、<J>押えを取り付けます。



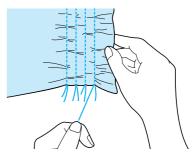
お願い

自動止めぬいや自動糸切りは設定しないでく ださい。

- った はい目の長さを 4.0mm に、糸調子は 2.0 (ゆるめ) に設定します。
- 3 上糸と下糸を約 5cm ほど引き出しておきます。
- 約 1cm の間隔で数本ぬいます。



5 下糸を引いてギャザーをよせ、アイロンで ギャザーをととのえます。

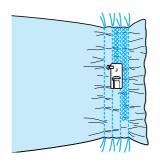


(6) | または | を選びます。

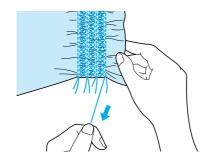


お知らせ

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見 表」を参照してください。 🥏 直線ぬいの間をぬいます。



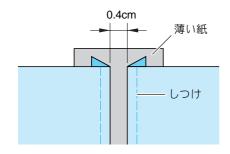
😑 直線ぬいの糸を抜き取ります。



ファゴティング

布地と布地の間を離して糸でかがる方法をファゴティングといいます。ブラウスや子供服などに使います。

布地と布地の間隔を 0.4cm あけて、薄い紙に しつけをします。



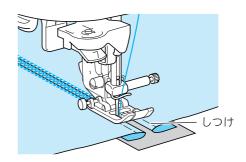
| こ | または | を選び、ジグザグの振り幅を | 最大 (7.0mm) にします。

お知ら

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見 表」を参照してください。 <J>押えを取り付け、押えの中心を布と布の中心に合わせてぬいます。

お知らせ

糸は太番手のものを使用するときれいに仕上がります。



🔼 ぬい終わったら、ていねいに紙をはがします。

ゴムひもつけ

ゴムひもをぬい付ける場合、ゴムが縮んだ状態ができ 上がり寸法になります。

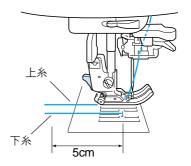
→ 直線を選び、<J>押えを取り付けます。

Ö

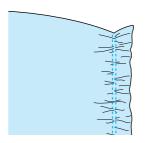
お願い

自動止めぬいや自動糸切りは設定しないでく ださい。

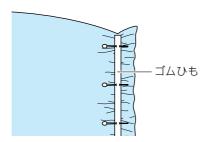
- 2 ぬい目の長さを 4.0mm に、糸調子を 2.0 (ゆるめ) に設定します。
- 3 上糸と下糸を約 5cm ほど引き出しておきます。(P.26「下糸を引き出す」参照)



4 生地の表に直線ぬいを2本ぬい、下糸を引いてギャザーをよせます。



5 布地とゴムひもが均等になじむように、ゴム ひもを布地の裏側にまち針で止めます。



T

お願い

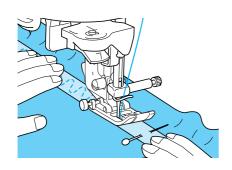
模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見 表」を参照してください。

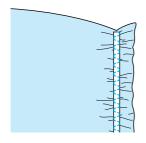
布地とほぼ同じ長さになるようゴムひもを伸ばしながら、左手で押えの後ろへ送り出された布地を、右手で押えから一番近いまち針のところを引っ張って、送りのスピードに合わせてぬいます。



お知らせ

別売りのフットコントローラーを使用すると、 作業がしやすくなります。

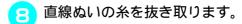


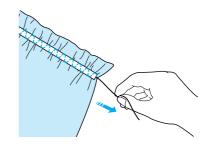




▲ 注意

ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。



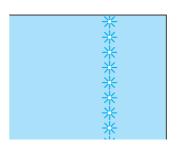


ヘアルーム

ウィングニードルを使ってぬうと、針穴が大きくあいてレース風の飾り模様に仕上がります。 テーブルクロスや洋服のすそ飾り、洋服の前たての飾

テーブルクロスや洋服のすそ飾り、洋服の前たての飾 りなどに使います。

■ デイジーステッチ





お願い

布地は平織りの薄地から普通地で、少し張りの あるものを使ってください。

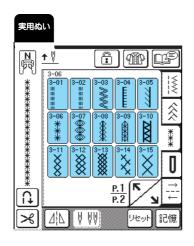
ウイングニードル (130/705 H 100/16) を取り付けます。



お願い

自動糸通しは使用できません。針の手前から向こう側に手で針穴に糸を通してください。自動糸通しを無理に使用すると故障の原因となります。

- 模様を選び、<N>押えを取り付けてぬい始めます。
 - 3-01 から 3-22 の模様を選びます。



▲ 注意



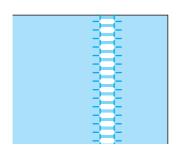
ジグザグの振り幅は、6.0mm以下でご使用ください。ジグザグの振り幅を調節したときはプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。



お知らせ

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見 表」を参照してください。

■ ドロンワーク(1)

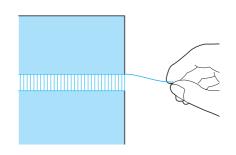


市地の織り糸を数本抜きとり、約 3mm のすき間をあけます。



お知らせ

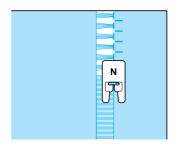
織りのゆるい布を使うときれいに仕上がります。



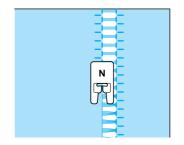


模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見表」を参照してください。

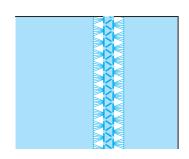
3 布の表を上にして置き、織り糸を抜いた右端 をぬいます。



- 5 模様が対称になるように、織り糸を抜いた左 側をぬいます。



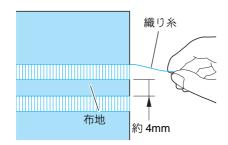
■ ドロンワーク(2)





か知らせ ウィング針 (別売) を使ってぬうこともできま

図のように、間に布地を約4mm残して織り 糸を抜きとります。



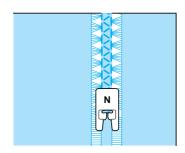
を選びます。



お知らせ

お知りせ 模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見 表」を参照してください。

<N>押えを取り付け、残した布地の中心を ぬいます。

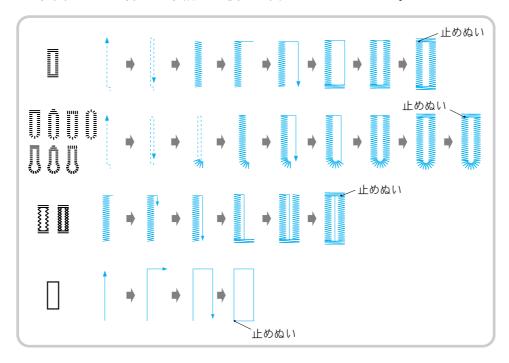


ボタン穴かがり

ボタンや用途に合わせて以下のボタン穴かがりから選んでください。

| ###=- | 27.34 | -m-= | | ジグ | ザグの振り幅 * | ぬし | ハ目の長さ* | - 2本針** |
|----------|---------|------|---|-----|-----------|-----|-----------|-----------|
| 模様表示 | 名前 | 押え | 主な用途 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | - ∠ 本町 "" |
| 1 | ボタン穴かがり | ā | ねむり穴、横穴用。薄地から普通地のボタン穴かがりに使用します。ブラウス、シャツなどに使用します。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × |
| 4-02 | ボタン穴かがり | | 横穴用。厚地の布や厚みのある ボタンを使うときに使用しま す。 | 5.5 | 3.5 - 5.5 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × |
| 4-03 | ボタン穴かがり | ā | 横穴用。ウエストベルトなど力 がかかるところに使用します。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × |
| 4-04 | ボタン穴かがり | | 横穴用。厚地のボタン穴かがり に使用します。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × |
| 4-05 | ボタン穴かがり | | ねむり穴。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × |
| 0 | ボタン穴かがり | | ねむり穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。 ジャケットやブラウスに使用 します。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × |
| 4-07 | ボタン穴かがり | | 両止めボタン穴かがり。麻、木 綿など、ある程度腰のある素材 に適しています。ホームウエア やブラウスなど手軽にぬえる ものに多く利用されます。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × |
| 4-08 | ボタン穴かがり | | 両止めボタン穴かがり。厚地の 布や厚みのあるボタンを使う ときに使用します。 | 5.5 | 3.5 - 5.5 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × |
| 4-09 | ボタン穴かがり | | 横穴用。厚地のボタン穴かがりに使用します。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × |
| 4-10 | ボタン穴かがり | ā | 伸びる布地や編み地のボタン 穴かがりに使用します。 芯ひもを入れてぬいます。 | 6.0 | 3.0 - 6.0 | 1.0 | 0.5 - 2.0 | × |
| 4-11 | ボタン穴かがり | | 伸びる布地のボタン穴かがり に使用します。 芯ひもを入れてぬいます。 | 6.0 | 3.0 - 6.0 | 1.5 | 1.0 - 3.0 | × |
| 4-12 | ボタン穴かがり | | 玉ふち穴かがり(バウンドボタ ンホール)を作るときに使用し ます。 | 5.0 | 0.0 - 6.0 | 2.0 | 0.2 - 4.0 | × |
| 1 | ボタン穴かがり | ā | はとめ穴。厚地や毛の長いもの のボタン穴かがりに使用しま す。ブレザー、スーツ、コート などに使用します。 | 7.0 | 3.0 - 7.0 | 0.5 | 0.3 - 1.0 | × |
| 8 | ボタン穴かがり | ā | はとめ穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。 ジーンズ、ズボンなどに使用します。 | 7.0 | 3.0 - 7.0 | 0.5 | 0.3 - 1.0 | × |
| 4-15 | ボタン穴かがり | | はとめ穴。厚地や毛の長いもの の横穴ボタン穴かがりに使用 します。厚手のコートなどに使 用します。 | 7.0 | 3.0 - 7.0 | 0.5 | 0.3 - 1.0 | × |

^{* —:}調節できません。** ○:使用できます。×:使用できません。



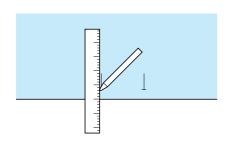


- 模様を選び、<A>押えを取り付けます。
- ボタン穴かがりをしたい位置にしるしをつ けます。



お知らせ

「ボタンの直径 + 厚み」が 28mm までのボタン 穴かがりができます。

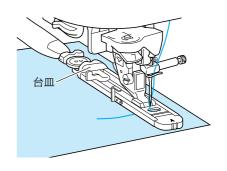


- 押えの台皿を引き出し、ボタンをのせてはさ みます。
 - 台皿にボタンをはさみこむことによって、ボタン 穴かがりの大きさか決まります。

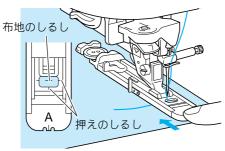


お願い

糸は押えの下を通してください。



4 指で押えを押しながら、布地のしるしに押え のしるしを合わせて押えレバーを下げます。



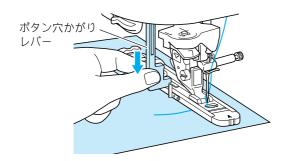
Ö

₩ お願い

- 図のように押えを指で押して、の部分のすきまを残さないでください。ボタン穴かがりの大きさが正確にぬえなくなります。
- 糸は押えの下を通してください。



- ボタン穴かがりレバーを下げます。
 - 図のようにレバーは金具の後ろ側に下げます。

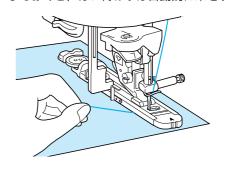




− 上糸

上糸を軽く持ってぬい始めます。

ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。模様を選んだときにあらかじめ自動糸切りを設定しておくと、ぬい終わりは自動的に糸を切ります。



Ö

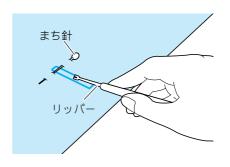
お願い

- 厚地などで布地が進まないときは、「ぬい目の 長さ」の + を押してぬい目をあらくして ぬってください。
- ぬい終わったら、ボタン穴かがりレバーを しっかり押し上げて収納してください。
- かんどめの内側にまち針をさして、ボタン穴を切り開きます。



お願い

リッパーでぬい糸を切らないように注意して ください。



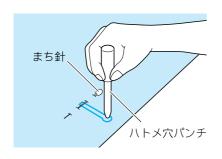


🛕 注意

リッパーで穴を開ける方向に、手や指を置かないでください。すべったときにケガをするおそれがあります。

利息(1)

ハトメ穴の場合は、付属のハトメ穴パンチでハトメ に穴をあけてから、リッパーで切り開いてくださ い。



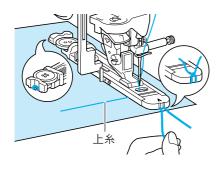
■ 伸びる布地をぬう場合

伸びる布地にボタン穴かがりをするときは、



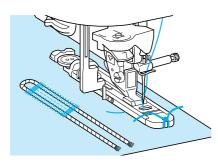
を選び、ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。

- (A)押えの後部のつのに芯ひもをひっかけて、押えの下を手前に向かって平行に張ります。芯ひもの端は、押えの前部のミゾにはさんで仮結びします。
 - 芯ひもには5番の刺しゅう糸やレース糸などを使用します。

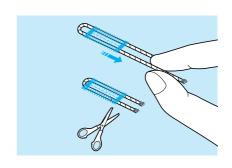


🤁 押えレバーを下げてぬい始めます。

• 振り幅は芯ひもに合わせて設定してください。



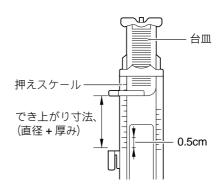
3 ぬい上がったら、芯ひもを引いてたるみをなくし、針穴の大きい手ぬい針を使って布地の 裏側に引き出します。



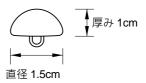
- 🔼 芯ひもを結び、余分な部分を切ります。
 - 中心にぬわれている糸はリッパーで切り開いた後、 切り取ってください。

■ ボタンが台皿にのらない場合

押えスケールの目盛りを使って、ボタン穴かがりの大きさを設定します。押えスケールは 1 目盛り 0.5cm です。押えスケールの目盛りをボタンの直径+厚みの寸法に合わせてください。



例) 直径 1.5cm 厚み 1cm のボタンの場合、スケールを 2.5cm に合わせます。



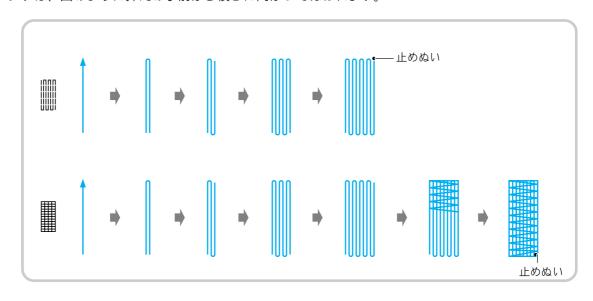
■ ダーニング

つくろいぬいなどに使います。

| 模様表示 | 名前 | 押え | 主な用途 | ジグ | ザグの振り幅* | ぬ | い目の長さ* | 2 本針 ** |
|----------------------------------|-------|-------|-----------------------|-----|-----------|-----|-----------|---------|
| 关键权小 | 12181 | JT /L | 土る用処 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | Z 4\W |
| 4-16 innn iiiiii iiiiii | ダーニング | | 普通地のつくろいぬいに使用 します。 | 7.0 | 2.5 - 7.0 | 2.0 | 0.4 - 2.5 | × |
| 4-17 | ダーニング | | 厚地のつくろいぬいに使用します。 | 7.0 | 2.5 - 7.0 | 2.0 | 0.4 - 2.5 | × |

* —: 調節できません。** ○: 使用できます。×: 使用できません。

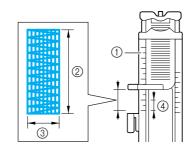
ダーニングは、図のように押えの手前から後ろに向かってぬわれます。



- | 模様を選びます。
- <A>押えの目盛りでぬう長さを設定して、 押えを取り付けます。

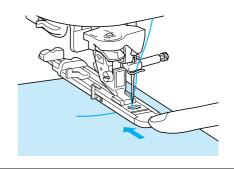
お知らせ

最大 28mm のダーニングができます。



- ① 押えスケール
- ② でき上がり寸法
- ③ 0.7cm 幅
- ④ 0.5cm

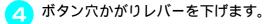
3 指で押えを押しながら、ダーニングする場所 に押えを合わせて押えレバーを下げます。



お願い

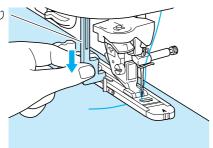
- 左図のように押えを指で押して の部分 のすきまを残さないでください。ダーニング の大きさが正確にぬえなくなります。
- 糸は押えの下を通してください。





• 図のようにレバーは金具の後ろ側に下げます。

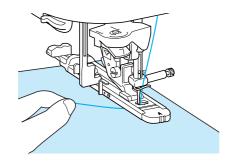






ᇊ 上糸を軽く持ってぬい始めます。

- ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。
- 模様を選んだときにあらかじめ自動糸切りを設定しておくと、ぬい終わりは自動的に糸を切ります。



Ö

お願い

厚地などで布地が進まないときは「ぬい目の長さ」の + を押してぬい目をあらくしてぬってください。

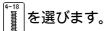
かんどめ

かんどめは止めぬいの一種で、ポケットロやスリットのあき止まりなど、力の加わる部分を補強すると きに使います。

| 模様表示 | 名前 | 押え | 主な用途 | ジグ | ザグの振り幅* | ぬ | い目の長さ* | 2 本針 ** |
|------------|---------|------|--|----|-----------|-----|-----------|---------|
| 快侬衣小 | 121 151 | 7t7. | 土は用歴 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | 2 平型 |
| 4-18 mmmmm | かんどめ | | ぬい目がほどけやすい箇所や ポケットロなどのあき止まり 部分の力の加わる部分を補強 したい場合に用います。 | 20 | 1.0 - 3.0 | 0.4 | 0.3 - 1.0 | × |

* —: 調節できません。** ○: 使用できます。×: 使用できません。



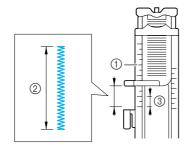




<A>押えの目盛りでぬう長さを設定して、 押えを取り付けます。

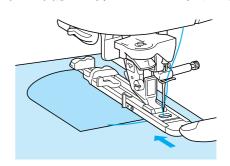


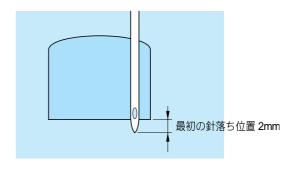
◯ お知らせ かんどめの長さは 5 ~ 28mm に設定すること ができます。通常の長さは $5mm \sim 10mm$ で す。(用途によって異なります。)



- ① 押えスケール
- ② でき上がり寸法
- ③ 5mm

ポケット口が手前にくるように布地を置き ます。指で押えを押しながら、最初の針落ち 位置を確認して押えレバーを下げます。







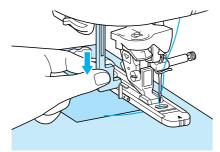
くお願い

- 左図のように押えを指で押して の部分 のすきまを残さないでください。かんどめの 大きさが正確にぬえなくなります。
- 糸は押えの下を通してください。



🔼 ボタン穴かがりレバーを下げます。

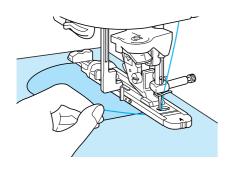
• 図のようにレバーは金具の後ろ側に下げます。





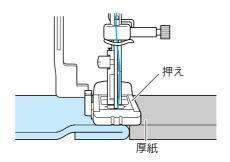
上糸を軽く持ってぬい始めます。

- ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。
- 模様を選んだときにあらかじめ自動糸切りを設定しておくと、ぬい終わりは自動的に糸を切ります。



■ 厚地の場合

押えが水平になるように、厚地または厚紙を置いてぬってください。



Ö

お願い

厚地などで布地が進まないときは、「ぬい目の 長さ」の + を押してぬい目をあらくしてぬっ てください。

ボタンつけ

2つ穴または4つ穴のボタンを付けます。

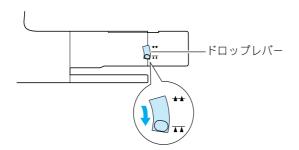


七 お願い

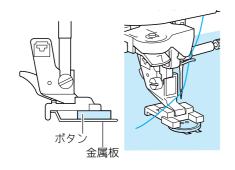
ボタンつけをするときは自動糸切りを使用しないでください。糸の始末ができなくなります。

| 模様表示 | 名前 | 押え | 主な用途 | ジグ | ザグの振り幅* | <i>ل</i> ه | い目の長さ* | 2 本針 ** |
|---------------|---------|-----|--------------|-----|-----------|------------|--------|---------|
| 快你衣小 | 121 151 | 747 | 土は用歴 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | 2 平型 |
| 4-19 ⊙ | ボタンつけ | M | ボタンつけに使用します。 | 3.5 | 2.5 - 4.5 | _ | - | × |

- * —: 調節できません。** ○: 使用できます。×: 使用できません。
- 1 (*-19) ○ を選びます。
- **2** 押えレバーを上げ、補助テーブルを外します。
- 3 ドロップレバーを下**™**に押して、送り歯を 下げます。



4 <M>押えを取り付け、ボタンを押えにはさんで押えレバーを下げます。



5 プーリーを手前に回し、針がボタンに当たらずにボタン穴に交互に入ることを確かめます。



▲注意

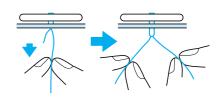
ぬうときには、ボタンに針が当たらないように注意してください。針が折れたり曲 がったりするおそれがあります。

- <mark>🕞</mark> 上糸を軽く持ってぬい始めます。
 - ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。
 - 模様を選んだときにあらかじめ自動糸切りを設定しておくと、ぬい終わりは自動的に糸を切ります。

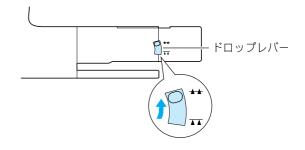


お願い

- ボタンを強くつけたいときは、ボタン付けの 操作を2回繰り返してください。
- ボタン穴の間隔に合わせて、ぬい目の振り幅 を調整してください。
- かい始めの上糸と下糸をはさみで切り取り、 ぬい終わりの上糸を布地の裏に引き出して 2本を結びます。

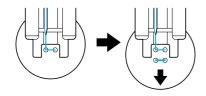


ボタンつけが終わったら、ドロップレバーを 上 ★ に押して送り歯を上げます。



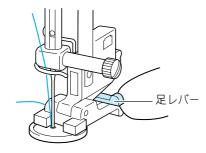
■ 4つ穴ボタンをつけるときは

手前の2つの穴からぬいます。ぬい終わったら、押えレバーを上げて後ろ側のボタン穴に針を合わせてぬいます。

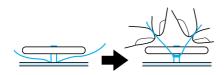


■ ボタン足を付けるときは

🚺 足レバーを手前に押します。



2 ぬい終わったら、長めに切った上糸の両端を ボタンと布地の間に引き出します。上糸をボ タン足に巻きつけて結びます。



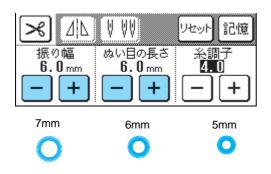
3 ぬい始めとぬい終わりの下糸の両端を布地の裏側で結びます。

アイレット

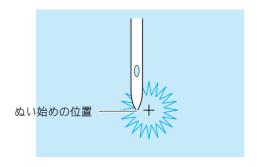
ベルトの穴かがりなどに使います。

| 模様表示 | 名前 | 押え | 主な用途 | ジグ | ジグザグの振り幅* | | い目の長さ* | 2 本針 ** |
|--------------|-------|--------|-----------------------|-----|-------------|-----|-------------|--------------------|
| 快冰火小 | 12189 | JT/L | 工体用处 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | 2 4 ¥ 1 |
| 4 -20 | アイレット | N P | ベルトの穴かがりなどに使用 します。 | 7.0 | 7.0 6.0 5.0 | 7.0 | 7.0 6.0 5.0 | × |

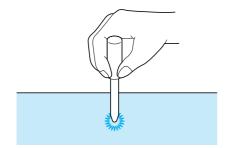
- * —: 調節できません。** ○: 使用できます。×: 使用できません。
- 「振り幅」の一一十または「ぬい目の長さ」の一十を押して、アイレットの大きさを 選びます。



- 3 ぬい始めの位置に針を落とし、押えレバーを 下げてぬい始めます。
 - ぬい終わると自動的に止めぬいをします。
 - 模様を選んだときにあらかじめ自動糸切りを設定 しておくと、ぬい終わりに自動的に糸を切ります。



4 ハトメ穴パンチで穴をあけます。



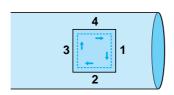
横送り(直線・ジグザグ)

でき上がった袖やズボンなどの筒状の布地にワッペンをつける場合などに使います。

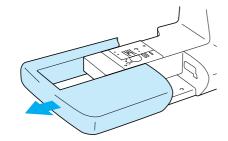


お知らせ

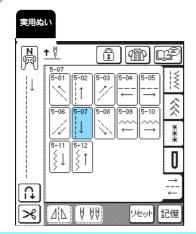
筒状の布地をフリーアームに通し、図のようにぬいます。



補助テーブルを外してフリーアームにします。



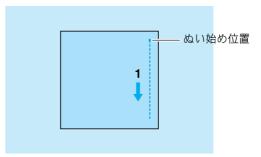
- 🔁 布地をフリーアームに通します。
- <u>3</u> | を選び、<N>押えを取り付けます。



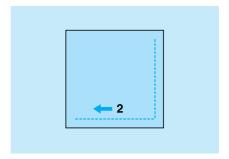


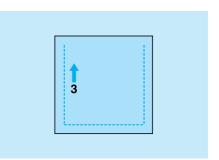
お知らせ

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見 表」を参照してください。 🕢 ぬい始めの位置に針をさし、1 をぬいます。

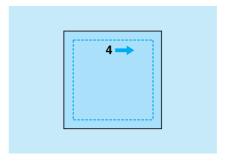


- ____を選び、2 をぬいます。
 - 布が横に動きます。布地がずれないように手を添 えてぬってください。





- <mark>フ</mark> ---- を選び、4 をぬいます。
 - 布が横に動きます。布地がずれないように手を添えてぬってください。





お知らせ

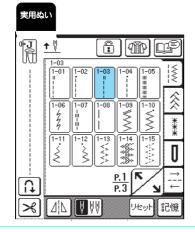
ジグザグも同様にぬいます。

ファスナーつけ

■ つき合わせ

袋物などに使います。

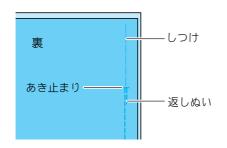
• 必ず直線(中基線)を選んでください。



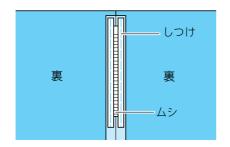
お知らせ

模様の詳細については、巻末の「ぬい方早見 表」を参照してください。

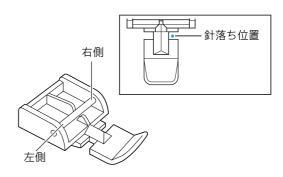
<J>押えを取り付けます。あき止まりまで は直線でぬい、あきの部分はしつけをしま す。



はいしろを割り、ぬい目にファスナーの中心 を合わせてしつけをします。



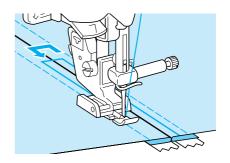
<J>押えを取り外し、<I>押えの右側のピンを押えホルダーに合わせて取り付けます。



▲ 注意

く1>押えを使用するときは、必ず直線 (中基線)を選び、プーリーをゆっくりと 手前に回して針が押えに当たらないことを 確認してください。他の模様を選ぶと、針 が押えに当たり、折れたり曲がったりする おそれがあります。

表面を上にしてぬいます。ぬい終わったら、 しつけを取ります。





🛕 注 意

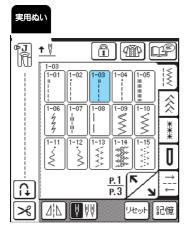
ぬうときには、ファスナーに針が当たらな いように注意してください。針が折れたり 曲がったりするおそれがあります。

■ 脇あき

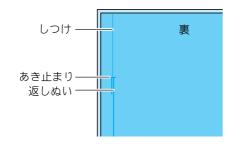
スカートやワンピースの脇あきに使います。

1 (1-03) を選びます。

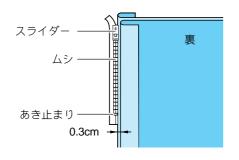
• 必ず直線(中基線)を選んでください。



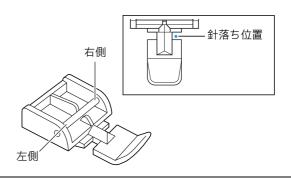
<J>押えを取り付けます。あき止まりまで は直線でぬい、あきの部分はしつけをしま す。



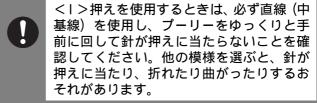
3 ぬいしろを割り、後ろスカートのぬいしろを 0.3cm 出して折り山をファスナーのムシの きわに合わせます。



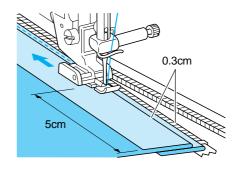
<J>押えを取り外し、<I>押えの右側のピンを押えホルダーに合わせて取り付けます。



🛕 注意



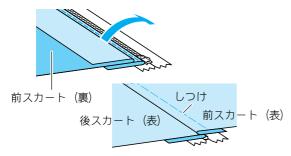
5 0.3 c m の幅の中心をあき止まりからぬいます。5 c m ほど手前までぬったら一旦ミシンを止め、スライダーを下げて端までぬいます。



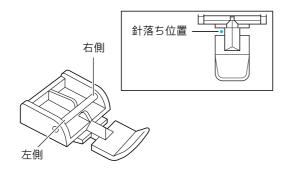


▲ 注意

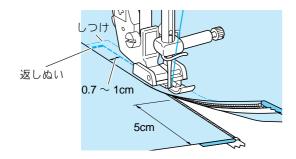
ぬうときには、ファスナーに針が当たらないように注意してください。針が折れたり 曲がったりするおそれがあります。 ファスナーを閉じて表に返し、しつけをします。



7 押えの左側のピンを押えホルダーに合わせ て付け替えます。



B あき止まりまでは返しぬいをし、押えの左端 をムシのきわに当てながらぬいます。5cm ほ ど手前で針を落としたまましつけをほどき、 スライダーを下げて残りの部分をぬいます。





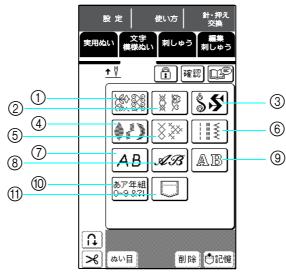
第 4 章 文字・模様ぬい

| 模様の選び方 | 86 |
|---|-----|
| ■ 模様選択画面 大型飾り模様/7mm 飾り模様/大型サテンステッチ/7mm サテンステ | |
| クロスステッチ/実用飾り模様 | 89 |
| アルファベット | 87 |
| ひらがな/カタカナ | 89 |
| 文字・模様をぬってみましょう | 91 |
| きれいにぬうために | 91 |
| 文字・模様のぬい方 | 91 |
| 模様の調整をする | 92 |
| 模様の編集のしかた | 94 |
| ■ キーのはたらき | 94 |
| 模様の大きさを変える | |
| 模様の長さを変える (7mm サテンステッチのみ) | 95 |
| 模様を上下反転する | 95 |
| 模様を左右反転する | 96 |
| 連続ぬい/単独ぬいを切り替える | 96 |
| 模様の糸密度を変える (大型サテンステッチのみ) | 96 |
| 横書き/縦書きを切り替える | 96 |
| 模様の組み合わせ | 97 |
| 模様の組み合わせをする前に | 97 |
| ちがう模様を組み合わせる | |
| 大きさを変えた模様を組み合わせる | 98 |
| 反転模様を組み合わせる | |
| 長さを変えた模様を組み合わせる | |
| ステップ模様を作る (7mm サテンステッチのみ) | 101 |
| ■ その他の組み合わせ例 | 102 |
| 模様の記憶 | 103 |
| 模様を記憶する | 103 |
| ■記憶できないときは | 103 |
| 記憶した模様を呼び出す | 104 |

模様の選び方

■ 模様選択画面

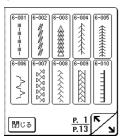
文章 を押すと下の画面が表示されます。



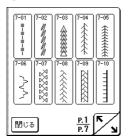
を押すと前または次のページが表示されます。

• ②④⑥ の模様は振り幅が 7mm 以下の模様です。ぬい目の長さ、振り幅が調節できます。

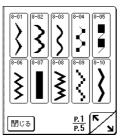




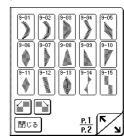




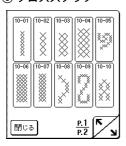
③ 大型サテンステッチ



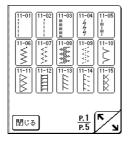
④7mm サテンステッチ



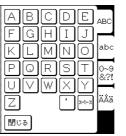
⑤ クロスステッチ



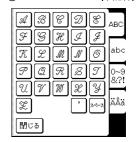
⑥ 実用飾り模様



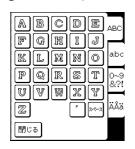
⑦ アルファベット (ゴシック体)



⑧ アルファベット (筆記体)



⑨ アルファベット (アウトライン文字)



⑩ ひらがな/カタカナ



⑪ 記憶した模様の呼び出し





お願い



画面をロック(『・』)すると、『・』と

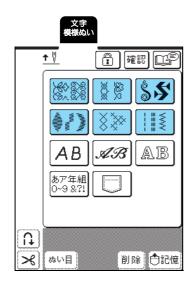


以外のキー操作はできなくなります。

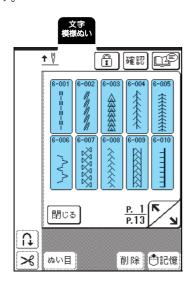
大型飾り模様/7mm 飾り模様/ 大型サテンステッチ/7mm サテ ンステッチ/クロスステッチ/ 実用飾り模様

文字 を押してお好みの模様の種類を選び

ます。

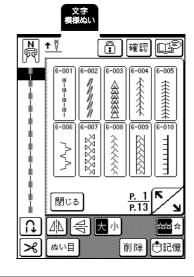


- お好みの模様を選びます。
 - を押すと次のページが表示されます。
 - を押すと前のページが表示されます。
 - 閉じる を押すと模様の種類を選択する画面に戻り ます。



→ 押え記号の下に、選択した模様が表示されます。

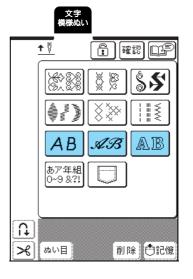
- 模様を組み合わせるときは次の模様を選び ます。
 - 「確認」を押すと選んだ模様の確認ができます。
 - まちがえて模様を選んだときは 削除 を押して模様 を取り消してから新しい模様を選んでください。



アルファベット

アルファベットは3書体内蔵されています。文字の選 び方はどの書体でも同じです。

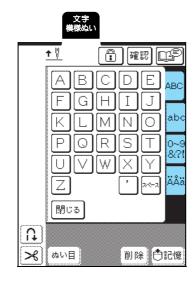
文字 を押してお好みの書体を選びます。



2

面を表示し、文字を選びます。この操作を繰り 返します。

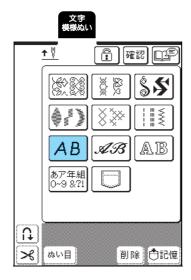
- まちがえて文字を選んだときは、削除を押して文字を取り消してから新しい文字を選んでください。
- 書体を変えるときは、【閉じる】を押してから新しい 模様を選びます。
- 確認を押すと、選んだ文字の確認ができます。



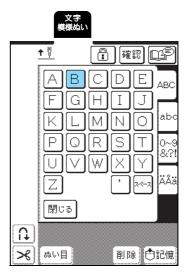
→ 押え記号の下に、選択した文字が表示されます。

例)「Bus」を選ぶには

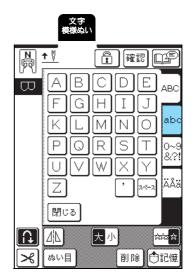
1 AB を押します。



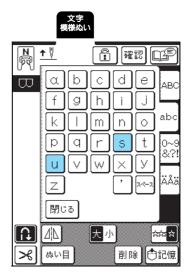
2 □ □を押します。



3 abc を押します。



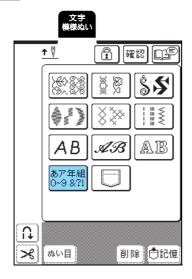
4 u そして s を押します。



- → 「Bus」が表示されます。
- 文字は70文字まで組み合わせることができます。

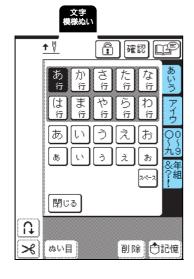
ひらがな/カタカナ

_______________を押して_^{あア年組}の~9 &?!



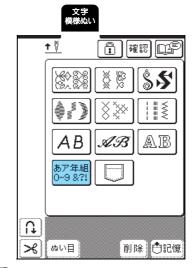
画面を表示し、文字を選びます。この操作を 繰り返します。

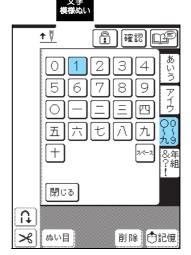
- ひらがな・カタカナは上段のキーで「行」を選び、 下段に表示された文字を選びます。
- まちがえて文字を選んだときは、[削除]を押して文字を取り消してから新しい文字を選んでください。
- 確認を押すと選んだ文字の確認ができます。



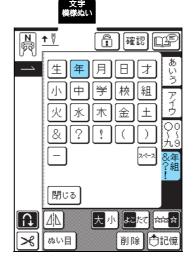
例) 「1年 かとう」を選ぶには

 あア年組 ○~9 &?!
 を押します。

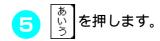


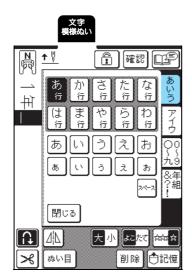


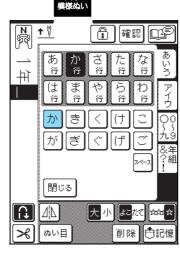
③ 『 を押して、 年』を押します。



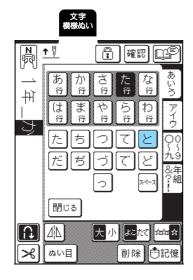
____ ҈ (スペース) を押します。



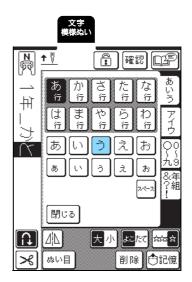




7 た を押して、と を押します。



(3) を押して、(う)を押します。



 \rightarrow 「1年 かとう」が表示されます。



お知らせ

文字は 70 文字まで組み合わせることができます。

文字・模様をぬってみましょう

きれいにぬうために

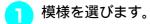
T

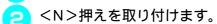
お願い

- きれいに文字模様をぬうために、布地・糸・針は以下の表を参照してください。
- 布地の種類や厚さ、接着芯の種類などにより、模様くずれをすることがありますので、必ず試しぬいを してください。
- サテンステッチをぬうときは、ぬい縮みやぬい詰まりを起こすことがありますので、必ず接着芯を貼ってください。
- ぬうときには布地が傾かないように手を添えてぬってください。

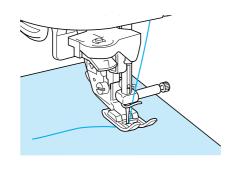
| 布地 | 伸びる布地、薄地、織りのあらい布地は、裏面に別売の接着芯を貼ってください。接着芯を貼りたくないときは、ハトロン紙などの薄い紙を布地の下に敷いてぬってください。 |
|----|---|
| | 布地 接着芯 |
| 糸 | 50 ~ 60 番 |
| 針 | 薄地、普通地、伸びる布地:ブラザー専用ゴールデン針(ニット用金) 厚地:家庭用ミシン針(HA × 1)14番 |
| 押え | <n>押え <n>押え以外を使用すると、きれいに仕上がらないことがあります。</n></n> |

文字・模様のぬい方



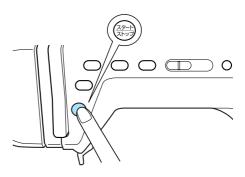


布地を押えの下に置き、上糸を押えの下から 横に出して押えレバーを下げます。





返しぬいスイッチを押して止めぬいをした後、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。



▲注意

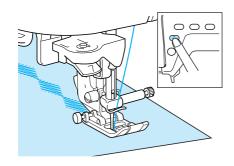
7mm サテンステッチで模様などでぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてください。ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。(P.40「ぬい目の長さを調節する」参照)



お知らせ

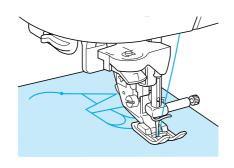
ぬっている途中でむやみに布地を引っ張ったり押さえたりすると、模様がくずれるおそれがあります。また、模様によっては前後に加え、左右にも動きますので、布地が傾かないように手を添えてぬってください。

5 スタート/ストップスイッチを押してミシンを止め、返しぬいスイッチを押して止めぬいをします。



お知らせ

文字ぬいの場合、ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。(1 文字ごと模様のぬい始めとぬい終わりに、止めぬいが自動設定されています。)



• ぬい終わったら、いらない糸 (渡り糸) を切り 取ります。



お知らせ

選択した模様によっては針が上に停止したまま布地を送ります。そのとき、縫製音とは異なった音がしますがトラブルではありません。

模様の調整をする

布地の種類、厚さ、接着芯、ぬうスピードなどによっては、模様がくずれる場合があります。 模様がくずれ

たときは、実際にぬうときと同じ条件で を選んで、次のように調整してください。また、ぬう条件により で模様の調節を行っても模様がくずれる場

合は、個々の模様で調節を行ってください。

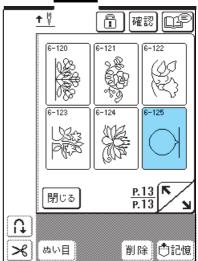


※ を押して P.13 の

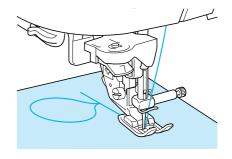


を押します。





🤁 <N>押えを取り付け、模様をぬいます。



3 ぬい上がりを次頁の図の正しい模様と比較 してみます。



製定 を押します。



模様がつまっているとき:

模様調整たての ★ を押します。

押すごとに表示の値が大きくなり、模様が伸びていき ます。



模様が伸びているとき:

模様調整たての一を押します。

押すごとに表示の値が小さくなり、模様がつまってい きます。



模様が左にずれているとき:

模様調整よこの + を押します。

押すごとに表示の値が大きくなり、模様が右にずれて いきます。



模様が右にずれているとき:

模様調整よこの - を押します。

押すごとに表示の値が小さくなり、模様が左にずれて いきます。



- もう一度ぬいます。 模様がくずれている場 合はもう一度調整します。正しい模様がぬ えるようになるまで調整します。
 - お知らせ 設定画面のままぬうことができます。
- 正しい模様がぬえるようになったら、調整を 終わります。「閉じる」を押して、元の画面に戻 ります。

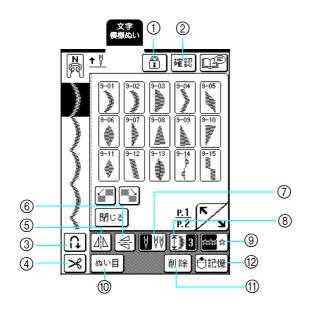


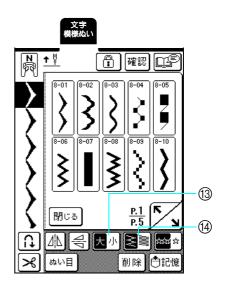
模様の編集のしかた

模様の編集キーを使って模様の大きさを変えたり、模様を反転させたりすることができます。

お知らせ

模様の種類によって、操作できるキーが異なります。





■ キーのはたらき

| No. | 画面表示 | 名称 | はたらき | 参照ページ |
|-----|-------------|-----------|--|-------|
| 1 | [i] | 画面ロックキー | 画面ロックを設定するときに押します。 設定すると、振り幅やぬい目の長さなどの各設定がロック(固定)されます。もう一度押すと、解除します。 | 43 |
| 2 | 確認 | 確認キー | 選んだ模様(文字)を確認するときに押します。 | _ |
| 3 | U | 自動止めぬいキー | 自動止めぬいを設定するときに押します。自動止めぬいをあらかじめ設定しておくと、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬいをします。もう一度押すと、解除します。 | 42 |
| 4 | × | 自動糸切りキー | 自動糸切りを設定するときに押します。自動糸切りをあらかじめ設定しておくと、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬいをして糸を切ります。 もう一度押すと、解除します。 | 43 |
| 5 | | 左右反転キー | 模様を選んでから押すと、模様が左右に反転します。 | 96 |
| 6 | 4 | 上下反転キー | 模様を選んでから押すと、模様が上下に反転します。 | 95 |
| 7 | W VV | 2 本針キー | 2 本針を使用するときに押します。押すごとに、1 本針と 2 本針の設定の切り替えができます。 | 29 |
| 8 | ₹ | 模様の長さキー | 7mm サテンステッチの模様を選んでから押すと、ジグザグの振り幅・ぬい目の長さを変えずに、模様の長さを5段階に変えることができます。 | 95 |
| 9 | indian in | 連続/単独ぬいキー | 連続ぬいと単独ぬいの切り替えをします。 | 96 |
| 10 | ぬい目 | ぬい目キー | 選択した模様のジグザグの振り幅やぬい目の長さ、糸調子を設定するときに押します。通常は自動的に標準の値が設定されています。 | 40 |
| 11) | 削除 | 削除キー | 模様をまちがえて選んだときに押すと、選んだ模様を取り消します。組み合わせ模様の場合は、押すごとに後ろから順に取り消されます。 | 103 |
| 12 | 一記憶 | 記憶キー | 押すと、組み合わせた模様を記憶することができます。 | 103 |

Ĵ 2

模様の長さを変える

る数字をお好みの長さに合わせます。

ぬい目

(7mm サテンステッチのみ)

7mm サテンステッチはジグザグの振り幅やぬい目の長

さを変えずに、模様の長さを5段階に変えることがで

きます。模様を選んでから**◯ 3**を押して、反転してい

模様を選んでから一会を押します。模様が上下反転し ます。

Ţ≱3









| No. | 画面表示 | 名称 | はたらき | 参照ページ |
|-----|---------------|--------|-------------------------------------|-------|
| 13 | 大小 | 大きさキー | 模様を選んでから押すと、模様の大きさが変わります。(大/小) | 95 |
| 14) | | 糸密度キー | 模様を選んでから押すと、模様の糸密度が変わります。 | 96 |
| _ | s ≥tt€ | よこたてキー | ひらがな/カタカナを選んでから押すと、横書き/縦書きが切り替わります。 | 96 |

模様の大きさを変える

模様を選んでから大小を押して、お好みの大きさ に反転表示を合わせます。





- 大きさを変えた後で続けて文字・模様を選ぶと、 大きさを変えるまで同じ大きさで選ばれます。
- 文字や模様を組み合わせた後で、まとめて大 きさを変えることはできません。

実物大

大







小







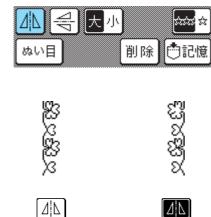
大





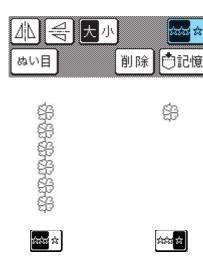
模様を左右反転する

模様を選んでから 🗥 を押します。模様が左右反転します。



連続ぬい/単独ぬいを切り替える

■☆を押します。連続ぬい/単独ぬいが切り替わりま す。

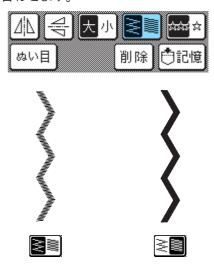


お知らせ

ぬっている途中でを押すと、そのときぬっていた模様を1サイクル分ぬって自動的に止まります。

模様の糸密度を変える (大型サテンステッチのみ)

模様を選んでから を押して、お好みの糸密度に反 転表示を合わせます。



▲注意

糸密度を **○** に変えてぬい目が詰まる場合は、糸密度を **○** に戻してください。ぬい目が詰まった状態で無理にぬい続けると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

かお知らせ

- 糸密度を変えた後で続けて模様を選ぶと、糸密度を変えるまで同じ糸密度で選ばれます。
- 模様を組み合わせた後で、まとめて糸密度を変えることはできません。

横書き/縦書きを切り替える

を押すと、ひらがな/カタカナの、横書き/縦書きが切り替わります。



模様の組み合わせ

文字、サテンステッチ、クロスステッチ、飾り模様など模様を組み合わせると使い方が広がります。 ちがう種類の模様を組み合わせたり、大きさを変えて組み合わせたり、反転模様を組み合わせたり、 いろいろな組み合わせを楽しんでください。

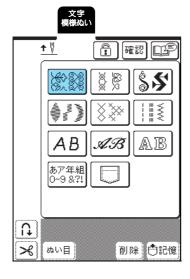
模様の組み合わせをする前に

- 模様は組み合わせをすると自動的に単独ぬいになります。組み合わせた模様を連続ぬいにしたい場合は、 組み合わせが終わった後、゚፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞を押して連続ぬいに設定してください。
- 模様を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えたり、反転させたりすることはできません。大きさを 変えたり、反転させたりしたい場合は、1 模様ごとに設定をして組み合わせてください。

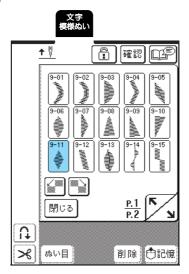
ちがう模様を組み合わせる

例)

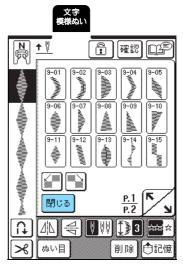








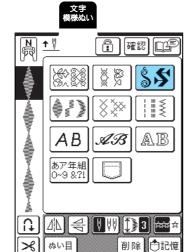
閉じるを押します。



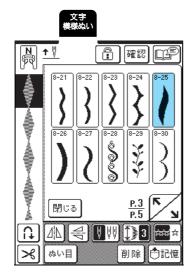
→ 模様の種類を選択する画面に戻ります。



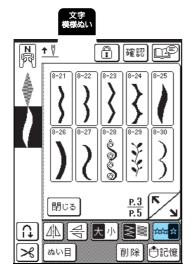








(5) 連続ぬいにしたいときは、☆☆園を押して
□ はいます。



お知らせ

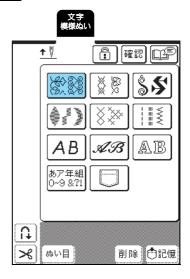
- 模様を取り消したいときは、[削除]を押すと 最後に選んだ模様から1つずつ順番に取り消 されます。
- 組み合わせた模様がすべて表示されないときは、確認を押すと、模様の確認ができます。

大きさを変えた模様を組み合わせる

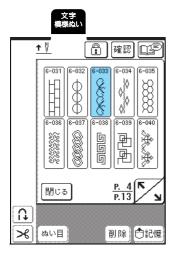
例)



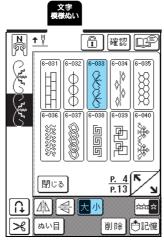
● 「「「「「「」」を押します。



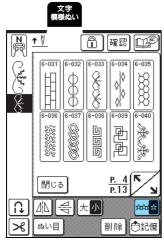




- → 模様が大きく表示されます。
- を選び、大小を押して大小に します。



- → 2つ目の模様が小さく表示されます。
- 連続ぬいにしたいときは、፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟を押して **⋘**☆ にします。



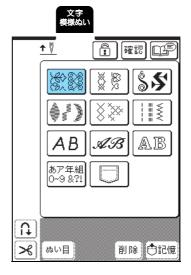
→ 模様が連続表示に変わります。

反転模様を組み合わせる

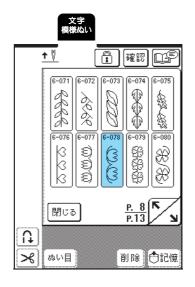
例)



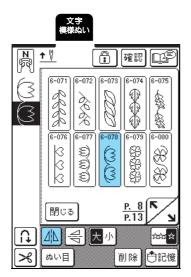
↑ 【炊爨】を押します。



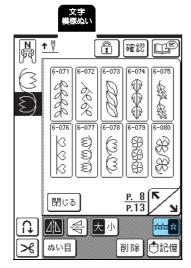
を選びます。



き もう一度 を選び、 △△ を押して △△ にします。



- → 2つ目の模様が左右反転します。
- 4 連続ぬいにしたいときは、☆☆☆を押して
 □ にします。

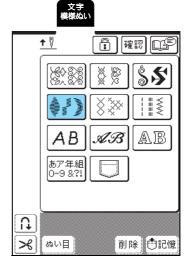


→ 模様が連続表示に変わります。

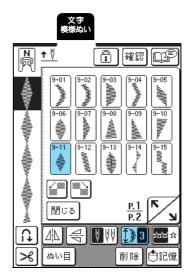
長さを変えた模様を組み合わせる



●♪♪を押します。

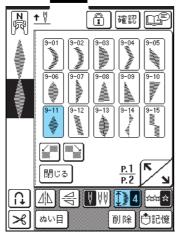


2 **●** を選びます。**3** を1回押して、**4** にします。

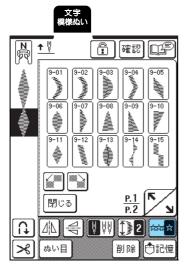


ightarrow 模様が「4」の長さに表示されます。





- → 2つ目の模様が「2」の長さに表示されます。
- 4 連続ぬいにしたいときは、☆☆☆を押して
 ☆☆ にします。



→ 模様が連続表示に変わります。

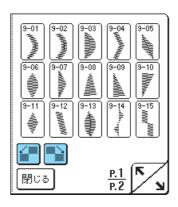
ステップ模様を作る (7mm サテンステッチのみ)

ステップ模様とは模様の位置がステップ状になった模様のことをいいます。

7mm サテンステッチでは、 を使ってステップ模様を作ることができます。

を1回押すと模様の横幅の半分、左に移動します。

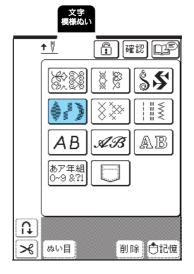
▶ 1回押すと模様の横幅の半分、右に移動します。



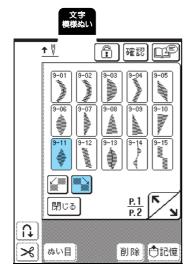
例)



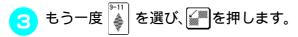
1 を押します。

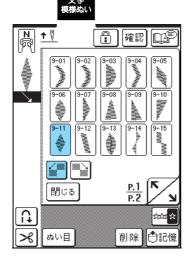




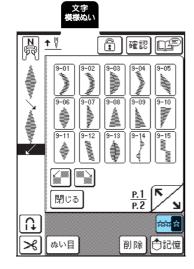


→ 次の模様が右に移動します。

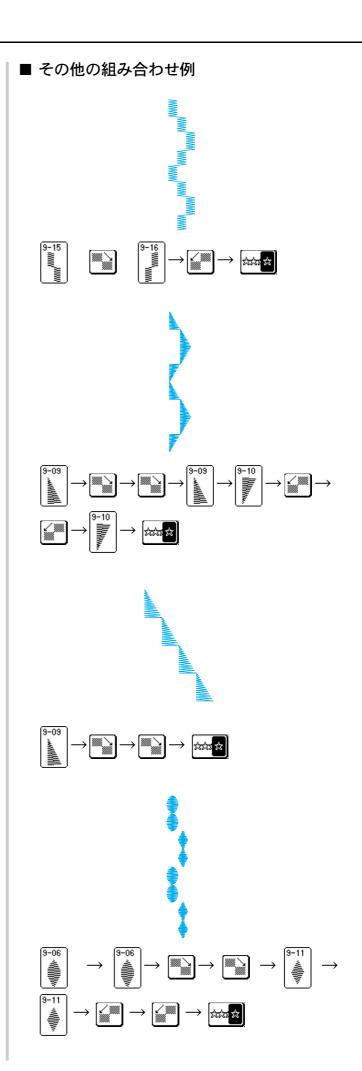




____を押して 🏧☆ にします。



→ 模様が連続表示に変わります。



模様の記憶

模様を記憶する

自分の名前などよく使う名前や言葉、組み合わせ模様を記憶しておくことができます。記憶は 16 組までできます。



お知らせ

- 記憶をするのに数秒かかります。
- 記憶した文字・模様を呼び出したいときは、 P.104 「記憶した模様を呼び出す」を参照し てください。







→「記憶中」のメッセージが表示されます。 完了する と、自動的に元の画面に戻ります。



お願い

「記憶中」のメッセージが表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

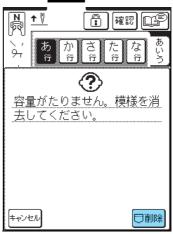
■ 記憶できないときは

●記憶 を押して下の画面が表示されたときは、記憶 個数がいっぱいで記憶できません。すでに記憶されている模様を削除すると、記憶することができます。

↑ □削除を押します。

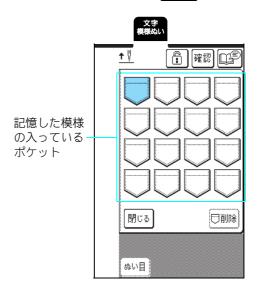
キャンセルを押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



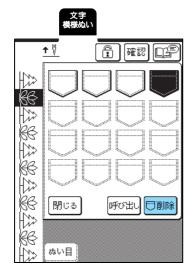


🔁 消去する模様を選びます。

- ・ を押すと、そのポケットの中に記憶されている模様が表示されます。記憶されている模様がすべて表示されないときは、確認を押すと、模様の確認ができます。
- 模様を削除しない場合は 閉じる を押します。



| | 削除する模様を選び、 | 同削除 | を押します。



→ 確認のメッセージが表示されます。

✓ OK を押します。

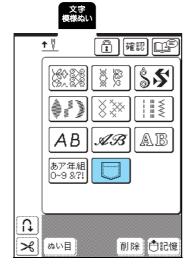
• 消去をやめる場合は、 +ャンセル を押します。



→ 選んだ模様が削除され、自動的に新しい模様が記憶 されます。

記憶した模様を呼び出す

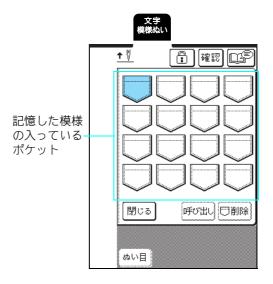
1 を押します。



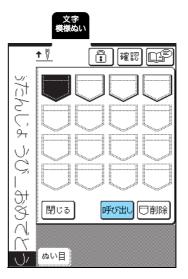
→ ポケット選択画面が表示されます。

🔁 呼び出す模様を選びます。

- ・ を押すと、そのポケットの中に記憶されている模様が表示されます。記憶されている模様がすべて表示されないときは、確認を押すと、模様の確認ができます。
- 模様を呼び出さない場合は 閉じる を押します。



(3) 呼び出しを押します。



→ 選んだ模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。



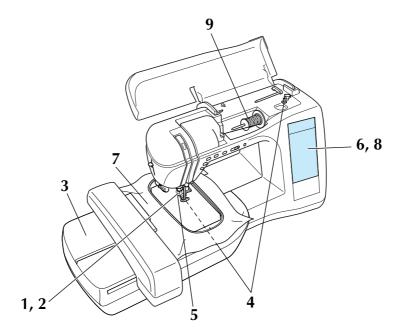
第 **5**章 刺しゅう

| 刺しゅうの準備106 | |
|--|---|
| 刺しゅう押え< W >を取り付ける107 | |
| 刺しゅう機を取り付ける108 | |
| ■ 刺しゅう機の取り外し方109 | |
| 刺しゅう模様の選び方110 | |
| ■ 著作権について110 | |
| ■ 模様選択画面110 | |
| ワンポイント/花模様111 | |
| ひらがな/カタカナ/ アルファベット112 | |
| 枠模様113 | |
| 刺しゅうカード114 | |
| ■ 刺しゅうカード(別売)について114 | |
| 縫製画面の見方115 | |
| ■ キーのはたらき115 | |
| 布地を張る 116 | |
| 布地に芯を貼る116 | |
| 刺しゅう枠に布地を張る117 | |
| ■ 刺しゅう枠の種類と用途117 | |
| ■ 布地の張り方118 | |
| ■ 刺しゅうシートの使い方119 小さい布や布の隅に刺しゅうする119 | |
| ▼ 小さい布地に刺しゅうする場合119 | |
| ■ 布地の隅に刺しゅうする場合119 | |
| ■ リボンテープなどの細い布地に刺しゅうする場合 119 | |
| 刺しゅう枠をセットする120 | |
| ■ 刺しゅう枠の取り外し方120 | _ |
| 刺しゅう模様の編集121 | |
| 刺しゅうの枠表示を変える121 | |
| ぬう位置を移動する121 | |
| 模様を回転する122 | |
| 模様の大きさを変える122 | |
| 模様を左右反転する123 | |
| 糸密度を変える (文字・枠模様のみ)124 | |
| 1 文字ずつ色を変えてぬう124 | |
| 刺しゅう模様の確認125 | |
| ぬう位置を確認する125 | - |
| ぬり位直を確認する125 | |

| 刺しゅうしてみましょう | 127 |
|--------------------|-----|
| きれいに刺しゅうするために | 127 |
| ■ 刺しゅう専用針板カバー | |
| 刺しゅうする | 128 |
| アップリケ模様をぬう | 129 |
| 下糸が少なくなったら | 130 |
| 途中で糸が切れたときは | 131 |
| 始めからぬい直したいときは | 132 |
| 糸調子を整える | 133 |
| ■ 正しい糸調子 | 133 |
| ■ 上糸が強すぎる場合 | |
| ■ 上糸が弱すぎる場合 | |
| 自動糸切り機能を使う | |
| 渡り糸切り機能を使う | |
| 刺しゅうの速度を変える | 134 |
| 刺しゅうの糸色表示を変える | 135 |
| 刺しゅう模様の記憶 | 136 |
| ■ 刺しゅうデータに関する注意 | 136 |
| 刺しゅう模様を記憶する | 137 |
| ■ 記憶できないときは | 137 |
| 刺しゅう模様を呼び出す | |
| パソコンから刺しゅう模様を呼び出す | 139 |
| 応用ぬい | 141 |
| 枠模様を使ってアップリケをする(1) | 141 |
| 枠模様を使ってアップリケをする(2) | 142 |

刺しゅうの準備

刺しゅうの手順は次のとおりです。

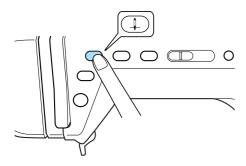


| 手順 | 操作 | 参照ページ |
|----|------------------------|-------|
| 1 | 刺しゅう押え <w>を取り付けます。</w> | 107 |
| 2 | 家庭用ミシン針 11 番を取り付けます。 | 33 |
| 3 | 刺しゅう機を取り付けます。 | 108 |
| 4 | 刺しゅう用下糸を巻いて下糸をセットします。 | 25 |
| 5 | 接着芯を貼った布地を刺しゅう枠に張ります。 | 116 |
| 6 | 電源スイッチを入れ、刺しゅう模様を選びます。 | 110 |
| 7 | 刺しゅう枠を刺しゅう機にセットします。 | 120 |
| 8 | 刺しゅうの大きさと位置を確認します。 | 125 |
| 9 | 模様に合わせて上糸をセットします。 | 27 |

刺しゅう押えくW>を取り付ける

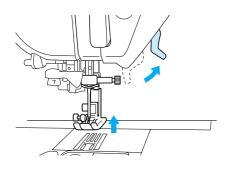
⚠ 注意

- 押えを取り付けるときは、必ず画面の されていない状態で、万一スタート/ス トップスイッチが押されると、ミシンが 作動してケガの原因となります。
- 刺しゅうをするときは刺しゅう押え<W> を使用してください。誤った押えを使用す ると、針が押えに当たり、折れたり曲がっ たりするおそれがあります。
- 針上下スイッチを押して針を上げます。

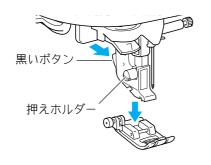


■☆☆ を押します。

- →「針・押え交換モード」画面が表示され、すべての キーと操作スイッチがロックされます。
- 押えレバーを上げます。



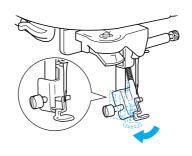
押えホルダーの黒いボタンを押して、押えを 外します。



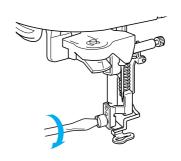
付属のドライバーで押えホルダーのネジを 5 ゆるめて、押えホルダーを外します。



刺しゅう押えくW>を押え棒のネジの部分 に合わせて取り付けます。



- 刺しゅう押え<W>が垂直になるように取り付け てください。
- 右手で押えを持ちながら、付属のドライバー で押えホルダーのネジを確実にしめます。



▲ 注意

- ネジは、付属のドライバーで確実にしめて ください。ネジのしめ方がゆるいと針が押 えに当たり、折れたり曲がったりするおそ れがあります。
- 大学 を押すか、画面上の 針・押え交換終了 8 を押します。
 - → すべてのキーと操作スイッチがロック解除され、元 の画面に戻ります。

刺しゅう機を取り付ける



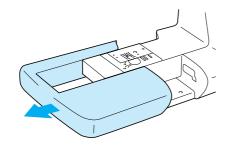
▲ 注意

- 刺しゅう機を本体に取り付けたまま、持ち運ばないでください。刺しゅう機が落下するおそれがあり、ケガの原因となります。
- 刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう枠が 動いているときに、手や物を近づけない でください。ケガの原因となります。



お願い

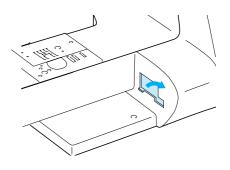
- 刺しゅう機のコネクターには触らないでくだ さい。コネクターピンが破損し、故障の原因 となります。
- 刺しゅう機のキャリッジを持って持ち上げた り、キャリッジに強い力を加えたりしないで ください。故障の原因となります。
- 刺しゅう機は専用箱に入れて保管してください。
- 電源スイッチを切り、補助テーブルを外します。





お願い

必ず電源スイッチを切って、刺しゅう機を取り 付けてください。故障の原因となります。 **| 刺しゅう機差し込み口のふたのつまみを、矢** 印の方向に動かしてふたを開けます。

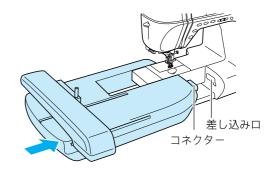




お願い

刺しゅう機を使用しないときは、ふたを閉めてください。

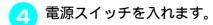
刺しゅう機のコネクターを刺しゅう機差し込み口に合わせ、カチッと音がするまでしっかりと差し込みます。





お願い

- 本体と刺しゅう機の間にすきまがあると、模様くずれの原因となります。必ず奥までしっかりと差し込んでください。
- 刺しゅう機を取り付けるときはキャリッジを押さないでください。故障の原因となります。



→ 画面にメッセージが表示されます。

5

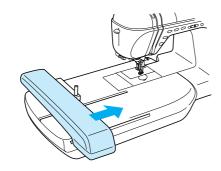
[ok]を押します。



刺しゅうキャリッジが動きます。刺しゅうキャリッジの近くから物を離し、手を近づけないようにしてください。

ок

→ キャリッジが初期設定の位置に移動します。





⚠ 注意

刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう枠が動いているときに、手や物を近づけないでください。ケガの原因となります。



くお願い

正常に初期設定が行われなかった場合、初期画面に戻ることがありますが、故障ではありません。その場合は電源スイッチを入れ直してください。

- 刺しゅう機の取り外し方
- 1 ます。または ます。
 - → キャリッジが収納位置に移動します。



▲注意

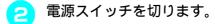
0

必ず刺しゅう枠を外してから ま を押してください。刺しゅう枠を取り付けたまま操作すると、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガをするおそれがあります。



お願い

キャリッジが収納位置に移動していないと、刺 しゅう機を収納箱に収納することができませ ん。

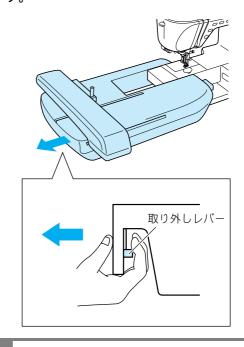




お願い

必ず電源スイッチを切って、刺しゅう機を取り 外してください。故障の原因となります。

3 刺しゅう機の左側裏にある取り外しレバー を押して、刺しゅう機をゆっくりと抜きま す。





刺しゅう機を持ち運ぶときは、取り外しレ バーの部分を持たないでください。





刺しゅう模様の選び方

■ 著作権について

ミシンまたは別売の刺しゅうカードに内蔵されている刺しゅうは、一般家庭用としてのみお楽しみいただけま す。営利用または業務用としての使用は著作権法上固く禁じられておりますのでご注意ください。

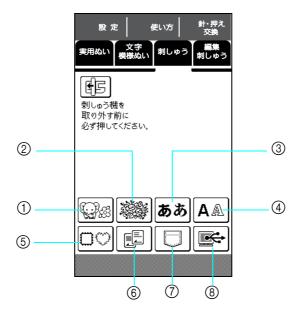
■ 模様選択画面

このミシンには、刺しゅうぬいの文字・模様が内蔵されています。 キャリッジが初期設定の位置に移動すると、模様の種類を選択する画面が表示されます。

別の画面が表示されているときは、刺しゅうを押します。

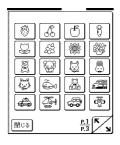


画面に表示されるキャラクターなどの模様は、本取扱説明書には記載されていません。別冊の模様ブック をご参照ください。



を押すと前または次のページが表示されます。

① ワンポイント



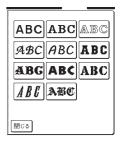
② 花模様



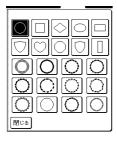
③ ひらがな/カタカナ



④ アルファベット



⑤ 枠模様

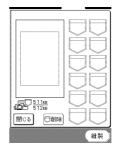


⑥ 刺しゅうカード (別売)



カードによって表示され る画面が異なります。

⑦ ミシンに記憶した模様の 呼び出し



⑧ パソコンからの模様の 呼び出し

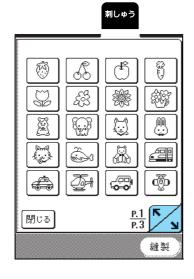


ワンポイント/花模様

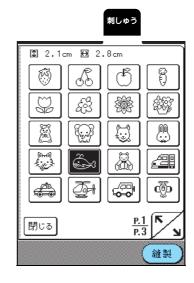
お好みの模様の種類を選びます。

刺しゅう **G** 刺しゅう機を 取の外す前に 必ず押してください。 |ああ|| A 🖺

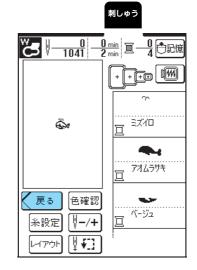
- お好みの模様を選びます。
 - を押すと次のページが表示されます。
 - を押すと前のページが表示されます。



を押します。



- → 縫製画面が表示されます。
- P.115「縫製画面の見方」へ進みます。
 - 模様を選び直したいときは、 戻る を押します。 (確認メッセージが表示された後、模様選択画面に 戻ります。)

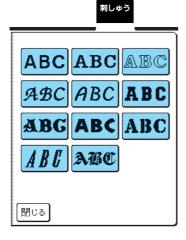


ひらがな/カタカナ/ アルファベット

→ お好みの文字を選びます。



っ お好みの書体を選びます。





- 大きさを変えるときは、大中型を押します。反転表示した大きさに変わります。
- まちがえて文字を選んだときは、削除 を押して取り消します。
- **確認** を押すと、入力したすべての文字を表示することができます。



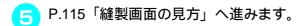
🦳 お知らせ

- 大きさを変えると、次に選ぶ文字は同じ大き さになります。
- 文字を組み合わせた後で、まとめて大きさを 変えることはできません。

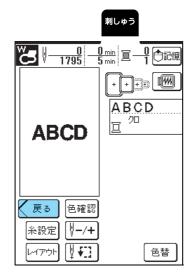




→ 縫製画面が表示されます。

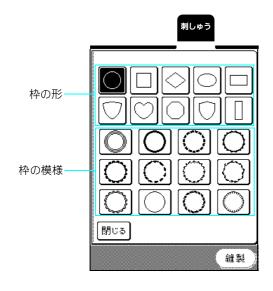


• 文字を選び直したいときは、 戻る を押します。 (確認メッセージが表示された後、模様選択画面に 戻ります。)

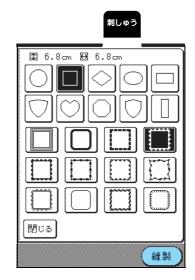


枠模様

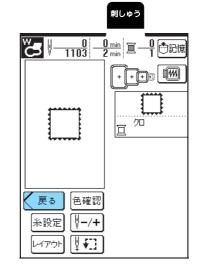
- ◯◯◯を押します。
- 模様選択画面の上段のキーで枠の形を選ん でから、下段のキーで枠の模様を選びます。







- → 縫製画面が表示されます。
- P.115「縫製画面の見方」へ進みます。
 - 模様を選び直したいときは、 戻る を押します。 (確認メッセージが表示された後、模様選択画面に 戻ります。)



刺しゅうカード

■ 刺しゅうカード (別売) について

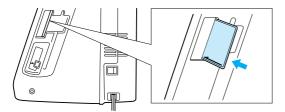
- 当社正規の刺しゅうカード以外のカードを使用すると、ミシンが誤作動するおそれがあります。 必ず当社正規の刺しゅうカードをご使用ください。
- 外国で売られている刺しゅうカードは使用できません。ご了承ください。
- 刺しゅうカードは、必ず画面に が表示されているとき、または電源スイッチが切れているときに抜き差ししてください。
- 刺しゅうカードは収納ケースに入れて保管して ください。



お願い

カードを矢印の方向以外の向きに入れたり、 無理に入れたりしないでください。また、カー ド以外のものは絶対に入れないでください。 故障の原因となります。

1 刺しゅうカードの矢印を表にして、ミシン右側面にあるカード差し込み口にまっすぐいっぱいまで入れます。



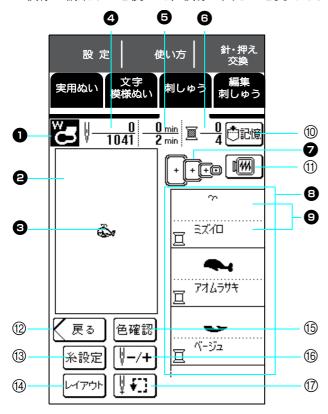
(2) を押します。



- → カードの模様の選択画面が表示されます。
- 3 P.111「ワンポイント/花模様」の手順に 従って模様を選びます。

縫製画面の見方

模様の編集キーを使って、模様の大きさを変えたり模様を回転させたりすることができます。



- 押え記号を示します。刺しゅうをするときは、刺しゅう押え<W>を取り付けます。
- **② LL**枠で刺しゅうできる範囲 (26 cm× 16 cm) を示します。
- 3 選択した模様が表示されます。
- ④ 選択した模様の針数の総数と、ぬい終わった針数を示します。
- **⑤** 選択した模様を刺しゅうするのに必要な時間と、ぬい終わった時間を示します。(糸替えの時間は含みません。)
- ⑥ 選択した模様の色数と、現在刺しゅうしている色順番を示します。
- **⑦**使用できる枠の種類を示します。必ず適切な枠を使用してください。(P.117 参照)
- ② 色替の順番を示します。上から順番に刺しゅうします。
- **9** 下段に表示された糸色で刺しゅうする部分が上段に表示されます。

■ キーのはたらき

| No. | 画面表示 | 名称 | はたらき | 参照ページ |
|-----|---------------|------------|--|-------------------|
| 10 | 一記憶 | 記憶キー | 模様を記憶させることができます。 | 137 ~ 138 |
| 11) | | イメージキー | 模様の刺しゅうイメージと枠の大きさを確認することができます。 | 126 |
| 12 | 戻る | 戻るキー | 模様の種類を選択する画面に戻ります。 | _ |
| 13 | 糸設定 | 糸設定キー | 自動糸切りや渡り糸切りの設定、また糸調子や糸密度の調節ができます。 | 124、 133 ~ 134 |
| 14 | レイアウト | レイアウトキー | 模様のレイアウトを変更することができます。 | 121 ~ 123 |
| 15 | 色確認 | 色確認キー | 色替の順番を確認することができます。 | 128 |
| 16 | ∀ −/+ | ぬい目戻る/進むキー | ぬい目を戻したり進めたりすることができます。 ぬっている途中で糸が切れたときや、始めからぬい直したい場合に使います。 | 131 ~ 132 |
| 17 | ₩ + [] | 位置確認キー | 刺しゅう枠を移動して刺しゅうする位置を確認したり、刺しゅうする前の針位置を変更したりすることができます。 | 125 |



お知らせ

模様の種類によって操作できるキーが異なります。薄く表示されているキーは操作できません。

布地を張る



布地の厚さは3mmより薄いものを使用してください。3mm以上の厚さの布地を使用すると、針が折 れるおそれがあります。

▲ 注意

厚地のパイル織りのタオルには、水溶性の接着芯をタオルの表面に貼ることをお勧めします。タオル 地の毛足がやや低くなって、よりきれいに仕上がります。

お知らせ

このミシンは、刺しゅうする布地の厚さに合わせて、刺しゅう押えくW>の高さが自動的に設定されます。 中綿などが入った厚めの布地に刺しゅうするときは、設定画面で刺しゅう押えの高さを調節するときれい に仕上がります。

® 乗 を押して、P.3「刺しゅうの押え高さ」の ━ と + で、布地の厚さに応じて押えの高さを調節 します。

押えを高くするには、設定値を大きくします。(通常は 1.5 mm に設定されています。)



布地に芯を貼る

刺しゅうをきれいに仕上げるために刺しゅう用接着芯 はかかせません。ぬい縮みや模様くずれをふせぐため に、以下の項目を必ず守ってください。

アイロンがかけられない布地やアイロンのかけにくい 場所に刺しゅうをするときは、接着せずに、布地の下に 接着芯を重ねて刺しゅう枠に張ってください。(タオル など、アイロン接着すると表面のループが伸びるため

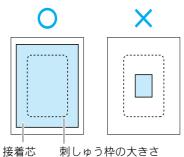
注意



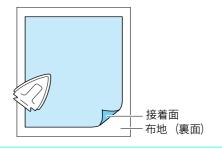
刺しゅうをするときは、必ず刺しゅう用接 着芯を使用してください。特に薄地や伸び る布地の場合、芯を使用しないで刺しゅう をすると、針が折れたり曲がったりするお それがあります。また、模様くずれの原因 にもなります。

刺しゅう用接着芯を準備します。

• 刺しゅう用接着芯は、刺しゅう枠よりも大きくし てください。枠に張るときは、布地のたるみを防 ぐため、芯全体をはさみ付けるようにしてくださ い。



布地の裏側にスチームアイロンをかけて貼 ります。



お知らせ

オーガンジーやローンなど薄手の素材やタオ ル、コーデュロイなど起毛している布地に刺 しゅうをするときは、水で溶ける水溶性シート (部品コード: BM4 X81267-001) を使ってくだ さい。洗濯中にシートが溶け、固くならずきれ いに仕上がります。

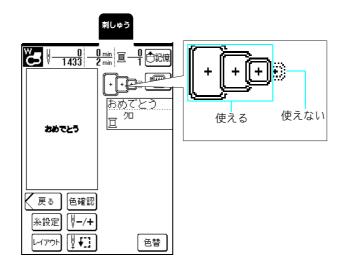
刺しゅう枠に布地を張る

■ 刺しゅう枠の種類と用途

| LL 枠 | M 枠 |
|--|---------------------------|
| | |
| 刺しゅうのできる範囲 26cm × 16cm | 刺しゅうのできる範囲 10cm × 10cm |
| 文字や模様をつないで刺しゅう したり、組み合わせたり、大き な刺しゅうをするときに使いま す。 | 標準サイズの模様をぬうときに 使います。 |

| L 枠(別売) | S枠(別売) |
|---|-------------------------------|
| | |
| 刺しゅうのできる範囲 18cm × 13cm | 刺しゅうのできる範囲 2cm × 6cm |
| タテ 18cm ×ヨコ 13cm 以下の 大きさの刺しゅうをするときに 使います。 | ネーム入れなど小さな刺しゅう をするときに使います。 |

刺しゅう枠は、刺しゅうする模様の大きさに合わせて選びます。画面に表示される枠を使用してください。





A注意

誤った大きさの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガの原因となります。

■ 布地の張り方



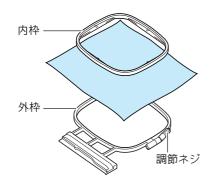
お願い

布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい縮みの原因となります。下記の手順に従って、布地がたるまないよう、しっかりと張ってください。また、布地は平らな場所で張ってください。

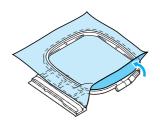
仲調節ネジを引き起こしてネジをゆるめ、内 枠を外します。



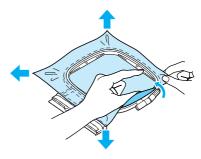
- 🥏 布地を外枠の上にのせ、内枠ではさみます。
 - 必ず内枠の \triangle 印と外枠の ∇ 印を合わせてください。



3 調節ネジを軽くしめ、布地の端を引っ張りながらたるみをなくします。



さらに布地を引っ張りながら調節ネジを しっかりとしめ、布地のたるみをなくします。



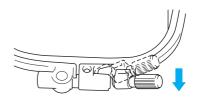
外枠と内枠の高さが同じになるように、しっかり はめてください。





お知らせ

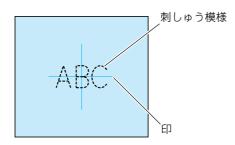
- 布地を張った後、布地を軽くたたくと太鼓のような音がするくらいが目安です。
- 布地の4辺と4角を引っ張りながら、もう一 度調節ネジをしっかりとしめるとよいでしょ う。
- 調節ネジを元の位置に戻します。



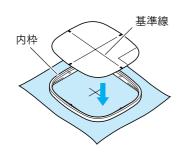
■ 刺しゅうシートの使い方

刺しゅうしたい位置が決まっているときは、刺しゅうシートを使って枠にはめます。

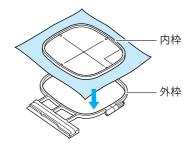
布地の刺しゅうする位置に印を付けます。



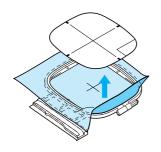
内枠の上に刺しゅうシートをのせ、シートの基準線と布地の印を合わせます。



3 刺しゅうする布地がたるまないようにしっかりと張ります。(P.118参照)



🕢 刺しゅうシートを取り出します。



小さい布や布の隅に刺しゅうする

刺しゅう用の芯を補助にして刺しゅうします。芯は刺しゅうが終わってからていねいに取り除きます。

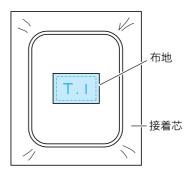


お知らせ

ブラザー専用の接着芯をご使用になることを お勧めします。

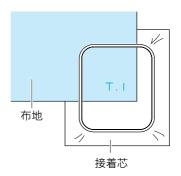
■ 小さい布地に刺しゅうする場合

布用スプレーのりを使って布地を接着芯に貼ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、しつけをします。



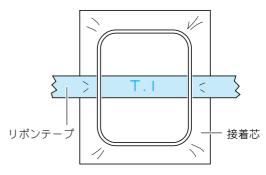
■ 布地の隅に刺しゅうする場合

布用スプレーのりを使って布地を接着芯に貼って から、刺しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを 使いたくない場合は、しつけをします。



■ リボンテープなどの細い布地に刺しゅうする場合

布用スプレーのりを使ってテープを接着芯に貼ってから、刺しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、テープの両端を接着芯といっしょに刺しゅう枠に張ります。



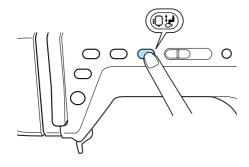
刺しゅう枠をセットする

Ö

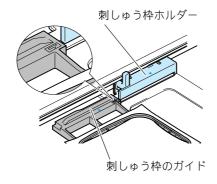
お願い

刺しゅう枠をセットする前に下糸をセットしてください。

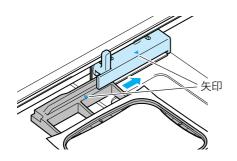
↑ 枠交換スイッチを押します。



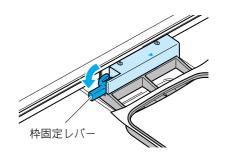
- → 押えが自動で上がります。
- 刺しゅう枠のガイドを刺しゅう枠ホルダーの右側面に合わせます。



3 刺しゅう枠の △ がホルダーの ▽ の位置まで来るように、刺しゅう枠をスライドさせます。



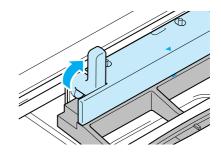
4 枠固定レバーを枠に平行になるまで下げて、 刺しゅう枠を刺しゅう枠ホルダーに固定し ます。



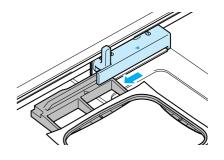
0

▲ 注意

- 刺しゅう枠を刺しゅう枠ホルダーに正しく セットしないと、刺しゅう枠が押えに当た り、ケガの原因となります。
- 5 刺しゅう枠のセットが終わったら、もう一度 枠交換スイッチを押します。
 - → 押えが自動で下がります。
- 刺しゅう枠の取り外し方
- 枠交換スイッチを押します。
 - → 押えが自動で上がります。
- 枠固定レバーを上げます。



🔁 刺しゅう枠を手前に引いて取り外します。



刺しゅう模様の編集

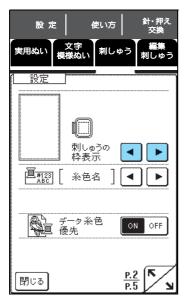
0

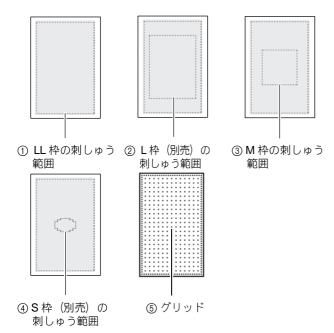
▲注意

模様の大きさを変えたときは、使用できる枠の表示を確認して使用してください。表示される枠以外の刺しゅう枠を使用すると、枠が押えに当たり、ケガの原因となります。

刺しゅうの枠表示を変える

- 1 № を押します。
- P.2「刺しゅうの枠表示」の **▼** ▶ を押して、枠表示を選びます。
 - 刺しゅうの枠表示は5通りあります。

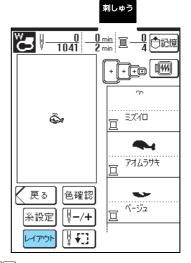




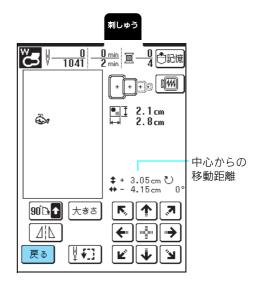
③ 選び終わったら、【閉じる】を押します。

ぬう位置を移動する

1 レイアウトを押します。

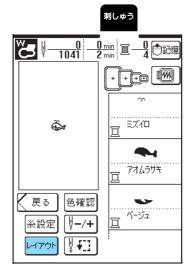


- € で移動します。
 - 【◆ 】を押すと、矢印の方向に移動します。【◆ 】
 - 「"□□ を押すと、中心に戻ります。
- (3) 戻る を押します。

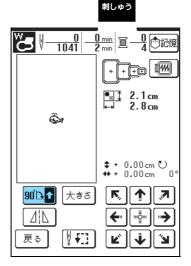


模様を回転する

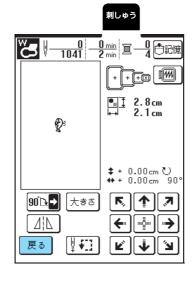
1 「レイアウト」を押します。



- - 押すごとに 90 度ずつ回転します。

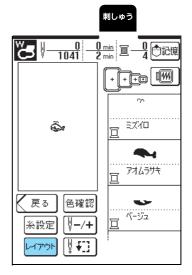


(3) 戻る を押します。

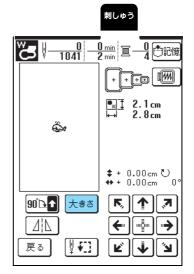


模様の大きさを変える

1 レイアゥト を押します。

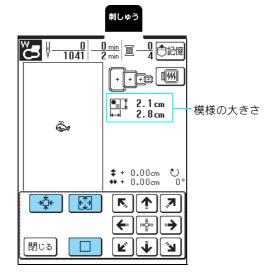


2 大きさを押します。



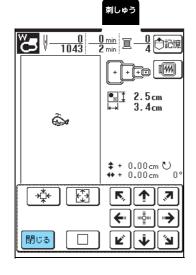
大きさを変えます。

- ・ 検を押すと、模様が小さくなります。
- を押すと、模様が大きくなります。
- を押すと、模様が元の大きさに戻ります。



お知らせ

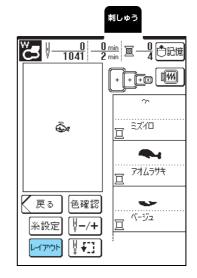
- 文字や模様によって、拡大できる大きさが異なります。
- 文字や模様によっては90度回転させると、さらに拡大できます。
- ☑ 閉じる を押します。



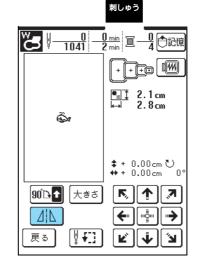
5 戻るを押します。

模様を左右反転する

1 レイアウトを押します。



を押します。



→ 表示が
1 に変わります。



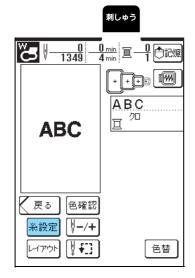




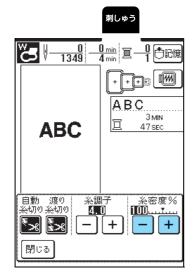
糸密度を変える (文字・枠模様のみ)

0

糸設定を押します。



- 😕 糸密度を変えます。
 - 密度をあらくしたい場合は、 を押します。
 - 密度を細かくしたい場合は、 ★ を押します。
 - 押すごとに5%ずつ変わります。(80%~120%)











あらい (ぬい目の間隔が広い) 標準

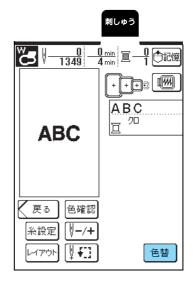
細かい (ぬい目の間隔が狭い)

- 3 閉じるを押します。
- 4 戻るを押します。

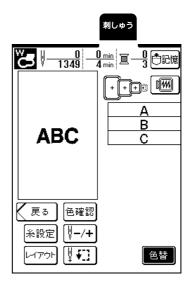
1文字ずつ色を変えてぬう

ひらがな/カタカナまたはアルファベットを選んだとき、1文字ずつ違う色でぬうことができます。色替を設定すると、1文字ぬうごとにミシンが止まるので、糸の色を変えることができます。

色替を押します。



- → 表示が **色替** に変わります。
- 2 1 文字ぬい終わったら糸の色を替えて、次の文字をぬいます。

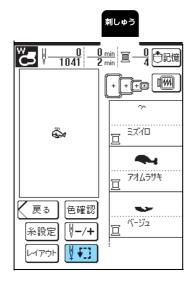


刺しゅう模様の確認

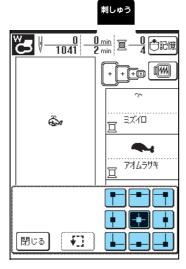
ぬう位置を確認する

刺しゅう枠が動いて刺しゅう範囲を示します。刺しゅ う枠の動きを見てぬう位置を確認してください。

[♥**チニ] |**を押します。



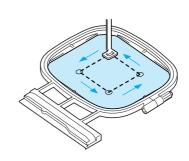
● ● で、確認したい位置のキーを押し ます。



→ 刺しゅう枠が動いて選んだ位置を示します。

お知らせ

刺しゅう範囲全体を見たいときは 🚛 を押 します。刺しゅう枠が動いて、刺しゅうの範囲 全体を示します。

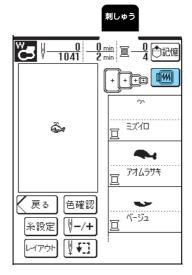


▲ 注意

- 刺しゅう枠が動いている最中は、針を絶対 に下げないでください。針が折れたり曲 がったりするおそれがあります。
- 閉じるを押します。 3

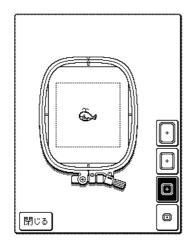


刺しゅうイメージを確認する





薄く表示されている刺しゅう枠は選ぶことはできません。



お知らせ

この画面でスタート/ストップスイッチを押して刺しゅうすることができます。

3 閉じるを押します。

刺しゅうしてみましょう

きれいに刺しゅうするために

刺しゅうをきれいに仕上げるためには、いくつかのポイントがあります。接着芯の貼り方(P.116 参照)や布地の刺しゅう枠への張り方 (P.117 参照) は、大きなポイントになります。その他にもいくつかポイントがありますので以下の説明をよく読んだ後、刺しゅうをしてください。

| 糸 | 上糸 | ブラザー専用 刺しゅう糸 (ウルトラポス) または ブラザー専用 カントリー刺しゅう糸 |
|---|----|--|
| | 下糸 | 下糸ブラザー専用 刺しゅう下糸 |



お知らせ

上記以外の糸をご使用になると、刺しゅうがきれいに仕上がらないことがあります。

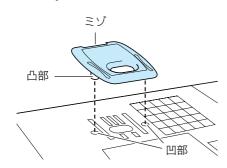


お願い

- 刺しゅう枠が動く範囲に物を置かないようにしてください。刺しゅう枠が当たり、模様くずれの原因となります。
- 大きな布地(特にジャンパーなどの重い衣類)に刺しゅうするときは、テーブルから布地が垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がった状態で刺しゅうをすると、刺しゅう機の動きが悪くなり、模様くずれの原因となります。

■ 刺しゅう専用針板カバー

布の種類や接着芯、刺しゅう糸の種類によって、上糸が浮く場合があります。このような場合は、付属の刺しゅう専用針板カバーを針板に取り付けてください。取り外すときは、ミゾに爪を当て、跳ね上げてください。





▲ 注意

刺しゅう専用針板カバーは奥までしっかり 押し込んで取り付けてください。取り付け 方が悪いと針折れの原因となります。



お願い

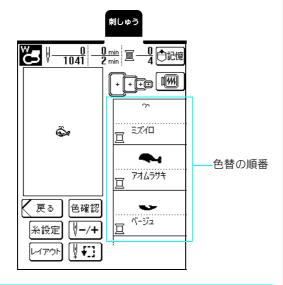
刺しゅう専用針板カバーは、刺しゅうの目的以外は使用しないでください。

刺しゅうする

例)



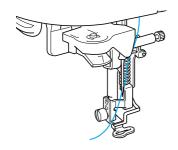
をぬう場合



つ お知らせ

糸色が多くて色替の順番に表示されない場合は、色確認を押すとスクロールして確認することができます。

1 色目の糸を通します。(P.27「上糸を通す」 参照)

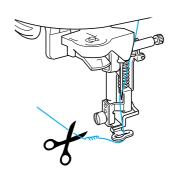


🛕 注意

糸を引っ張りすぎると針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

押えを下げ、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。5~6針ぬったら、もう一度スタート/ストップスイッチを押してミシンを止めます。

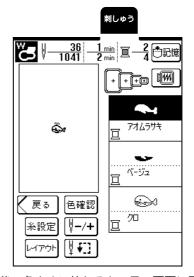
3 ぬい目のきわで余分な糸を切ります。押えの下にぬい目が隠れているときは、押えを上げてから余分な糸を切ってください。



お願い

ご使用の糸や布地によっては、ぬい始めの糸が 布地の表面に長く残ることがあります。その場 合は刺しゅうが終わってから余分な糸を切っ てください。

- 4 再びスタート/ストップスイッチを押して スタートします。
 - → 最初の部分をぬい終わると、自動的に糸を切って止まり、押えが自動的に上がります。 次にぬう色が色替の順番表示の一番上に移動します。
- 5 糸通しモードスイッチが緑色になっている ことを確認して上糸をはずし、2色目の糸を 通します。
- 6 残りの色も同じ手順でぬいます。



→ 最後の色をぬい終わると、元の画面に戻ります。

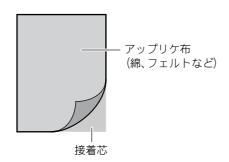
|お知らせ

刺しゅうのときはあらかじめ糸切り機能が設定されているため、余分な渡り糸(模様の部分をつなぐ糸)を自動的に切ります。設定を解除した場合は、模様を刺しゅうした後に余分な渡り糸をはさみで切ります。糸切り機能については P.133 を参照してください。

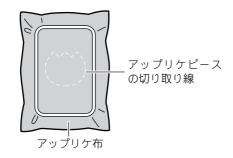
アップリケ模様をぬう

刺しゅうの中にはアップリケを用いた模様があります。色替表示の部分に「アップリケピース」、「アップリケノイチ」、「アップリケ」と表示された場合は、以下の手順に従ってください。

フップリケをする布地の裏側に接着芯を貼 ります。



のアップリケ布を刺しゅう枠に張り、スタート/ストップスイッチを押します。



 \rightarrow アップリケピースの切り取り線をぬって止まります。



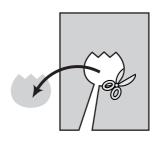
ぬい方は P.128「刺しゅうする」と同じです。

3 ぬい終わったら、刺しゅう枠からアップリケ 布を外し、ぬい目の上をていねいに切り取り ます。

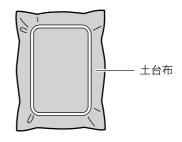


お願い

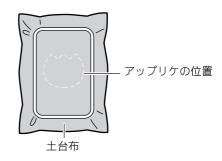
このとき、ぬい目よりも内側を切るとアップリケをするときに布地に糸がかからなくなるので、ぬい目の上をていねいに切ってください。この作業をていねいに行わないと、きれいに仕上がりません。また、糸はきれいに取り除いてください。



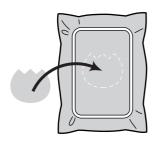
4 アップリケの土台布を刺しゅう枠に張ります。



- スタート/ストップスイッチを押して、アップリケの位置をぬいます。
 - 次のアップリケをぬう糸と同じ色を使います。



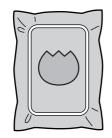
→ アップリケの位置をぬって止まります。



Ϋ́

お願い

- 可溶性の布を使い、アップリケピースを土台 布に貼り付ける場合は、土台布を刺しゅう枠 から外さずにアイロンをかけてください。
- アップリケピースを貼り付けたら、スタート /ストップスイッチを押します。



→ アップリケができます。



お知らせ

模様によっては、「アップリケ」が表示されないものがあります。「アップリケ」ぬいは色糸で表示されるので、その色糸でぬいます。

B 色替の順番に従って、刺しゅう糸を交換しながら残りを刺しゅうします。





お願い

- 押えや針、針板にのりが付くことがあります。 アップリケ模様の刺しゅうが終ったら、のり を拭き取ってください。
- きれいに仕上げるために、糸替ごとに余分な糸は切り取ってください。

下糸が少なくなったら

ぬっている途中で下糸が少なくなると、ミシンが止まります。メッセージが表示されたら、以下の手順に従って下糸を交換してください。残りわずかで完成する場合は「閉じる」を押して、10目までそのままぬえます。 10目ぬい終るとミシンが止まります。

閉じるを押します。

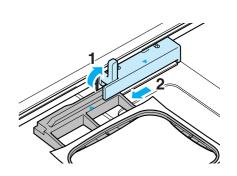


- 🤁 糸切りスイッチを押して糸を切ります。
- 枠交換スイッチを押します。
 - → 押えが自動で上がります。
- 4 枠固定レバーのロックを解除して、刺しゅう 枠を外します。



お願い

張った布地に無理な力をかけるとたるんでしまうので注意してください。





お願い

刺しゅう枠を外したり、セットしたりする際には、キャリッジや刺しゅう押えに当たらないように注意してください。模様くずれの原因となります。

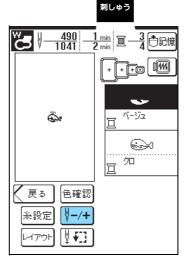
- 5 下糸を巻いたボビンと交換し、刺しゅう枠を セットします。
- 6 もう一度枠交換スイッチを押します。
 → 押えが自動で下がります。
- 刺しゅうを中止した位置に戻るには、次のページの から の手順に従ってください。

お知らせ

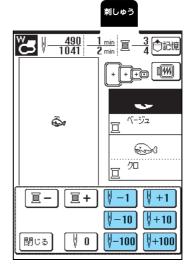
中止した位置より $2 \sim 3$ 針多めにぬい目を戻すと、きれいに仕上がります。

途中で糸が切れたときは

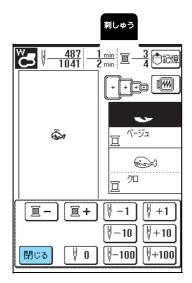
- スタート/ストップスイッチを押して、ミシンを止めます。
- 上糸が切れた場合は、上糸をかけ直します。 下糸が切れた場合は、前ページの ↑ から ⑤ の手順に従って下糸をセットし直します。
- __________を押します。



- 4 ♥-1、♥-10または♥-100を押して、糸が切れたところより2~3針手前にぬい目を戻します。



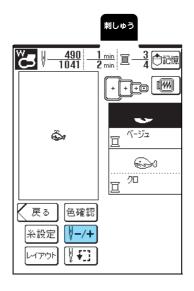




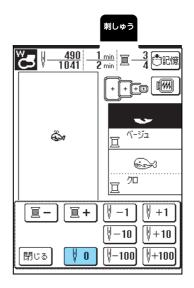
6 スタート/ストップスイッチを押して刺して刺しゅうを続けます。

始めからぬい直したいときは

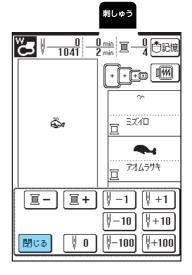
________を押します。



2 ┃┃0 を押します。



- → 刺しゅう枠が動いて、模様のぬい始めの位置に針が 戻ります。
- ③ 閉じる を押します。



スタート/ストップスイッチを押します。

糸調子を整える

刺しゅうのときの糸調子は、上糸が布地の裏側に少し 見えるくらいに調整されています。布地や糸の種類に よっては、糸調子を調節してください。

■ 正しい糸調子

布地の裏側に、少し上糸が見えるくらいに調節し ます。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目 がきたなくなり、布地にしわがよったり、糸が切れ たりします。





以下の説明に従って、状況に合わせて糸調子を調節 してください。



お願い

糸調子を極端に弱く設定すると、途中でミシンが 停止することがありますが、故障ではありません。 糸調子を少し強めにしてぬい直してください。



- 糸調子を変えた場合でも、電源スイッチを 切ったり模様を選び直したりすると、糸調子 は標準の設定値に戻ります。
- 記憶させた模様を呼び出した場合は、糸調子 も記憶させたときの数値になります。

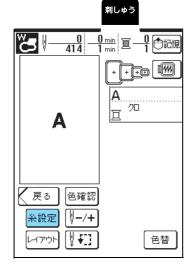
■ 上糸が強すぎる場合

表側に下糸が出ます。



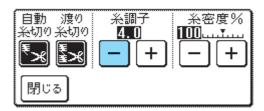


糸設定を押します。



糸調子の - を押します。

• 押すごとに表示の数値が小さくなり、上糸が弱く なります。



閉じるを押します。

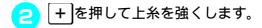
■ 上糸が弱すぎる場合

上糸がたるみます。表側の刺しゅう糸がたるんで、 糸の締まりがゆるくなったり、表側に糸のループが できたりします。

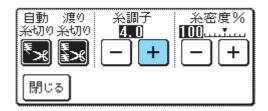




|糸設定||を押します。



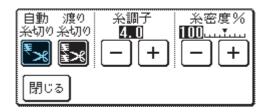
• 押すごとに表示の数値が大きくなり、上糸が強く なります。



閉じるを押します。

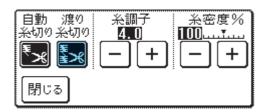
自動糸切り機能を使う

ぬい終わりのところで自動的に糸を切ります。刺しゅ うのときは、この機能があらかじめ設定されています。 設定を解除するには、糸設定を押してから きょ を押し ます。キーの表示が きょ に変わります。



渡り糸切り機能を使う

余分な渡り糸を自動的に切ります。刺しゅうのときは、この機能があらかじめ設定されています。設定を解除するには、糸設定を押してから を押します。キーの表示が に変わります。





お知らせ

ひらがな/カタカナやアルファベットの文字 模様は、 になっていても渡り糸切り機能は 使えません。また、このミシンに内蔵されてい る模様以外のデータの場合も、渡り糸切り機能 が使えないことがあります。



お願い

ご使用の糸や布地によっては、ぬい始めの糸が 布地の表面に長く残ることがあります。その場 合は刺しゅうが終わってから余分な糸を切っ てください。

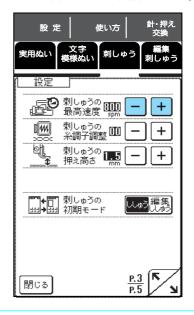
刺しゅうの速度を変える



№ 定 を押します。



- P.3「刺しゅうの最高速度」の<u></u> + を押 します。
 - 刺しゅうの最高速度は3段階あります。





お知らせ

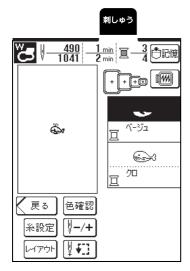
- SPM は 1 分間あたりの針数を示します。
- 薄い布地、厚い布地、重い布地に刺しゅうするときは、ぬう速度を遅くします。
- 刺しゅうをしている途中でも速度を変えることができます。
- 最高速度は、設定を変えるまで変わりません。 電源を切っても設定は保存されます。
- メタリックなどの特殊な糸を使用するときは、速度を600SPMに設定してください。



閉じるを押します。

刺しゅうの糸色表示を変える

色替の順番に表示される糸色を以下から選ぶことができます。



糸色名

耳 ^{ミズ/ロ}

プラザー刺しゅう糸番号

豆 017

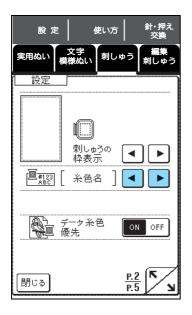
カントリー糸番号

150 ゴ カントリー

時間

1 мін Д 30 sec

- _____を押します。



3 閉じるを押します。

刺しゅう模様の記憶

■ 刺しゅうデータに関する注意

このミシンで作成・記憶したデータ以外の刺しゅうデータを扱うときは、以下の点に注意してください。



▲ 注意

当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用する際は、糸密度が細かすぎる場合や3回以上の重ねぬいをする場合があり、糸切れや針折れが発生するおそれがあります。そのような場合は、当社正規のデータ作成装置(刺しゅうPROなど)で、刺しゅうデータを修正して使用してください。

使用可能な刺しゅうデータの種類

- このミシンで扱える刺しゅうデータは .pen と .pes ファイルのみです。 .pen ファイルはコピー防止機能付き の刺しゅうデータ、.pes ファイルは当社正規のデータ作成装置(刺しゅう PRO など)で作成された刺しゅう データです。
- 当社正規のデータ作成装置またはミシンで作成された模様以外のデータを扱うと、ミシンが誤作動するおそれがあります。
- .pen ファイルについては、当社インターネットの刺しゅうデータダウンロードサイト「ハートステッチズ」 (http://www.heartstitches.com) で今後掲載される情報をご参照ください。

使用可能なパソコンの種類と OS

- パソコンの種類 USB 搭載 IBM PC
- OS

Microsoft Windows Me/2000/XP

Windows 98 の場合、ドライバが必要です。ブラザーのホームページ (http://www.brother.co.jp) からダウンロードできます。

パソコンで作成・保存するときの注意

- 刺しゅうデータのファイル名に、特殊記号等を用いると識別できずに模様が表示されないことがあります。その場合は、ファイル名を変更してください。
- 縦 26cm ×横 16cm より大きな刺しゅうデータを選ぶと、エラーメッセージが表示され、90 度回転するか、 ミシンが尋ねてきます。
 - 90 度回転しても縦 26cm ×横 16cm より大きな刺しゅうデータは扱うことができません。(デザインは全て、デザイン領域縦 26cm ×横 16cm 内にしてください。)
- 針数、色数の制限を越えて記憶した .pes ファイルは使用できません。当社正規のデータ作成装置で、制限内の模様に修正してご使用ください。
- リムーバブルディスクにはフォルダを作成しないでください。フォルダを作成し、フォルダ内に刺しゅうデータを記憶した場合、ミシンで模様データを表示することはできません。



お知らせ

本取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし、本文中には®および $^{\text{TM}}$ 等のマークは明記しておりません。

刺しゅう模様を記憶する

自分の名前など、よく使う文字の組み合わせや、大きさや傾き、位置を変えた模様などをミシンに記憶することができます。

T

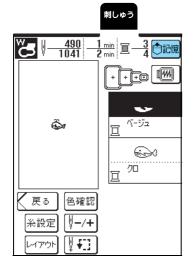
お願い

「記憶中」のメッセージが表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。



お知らせ

- 記憶するのに数秒かかります。
- 記憶した模様を呼び出すときは、P.138 を参 照してください。
- ●記憶 を押します。



→「記憶中」のメッセージが表示されます。 完了する と、自動的に元の画面に戻ります。

■ 記憶できないときは

下のメッセージが表示されたときは、記憶する模様 の使用メモリ量がミシンの残りのメモリ容量を越 えています。すでに記憶されている模様を消去し て、新しい模様を記憶してください。

↑ □削除を押します。

キャンセルを押すと、記憶せずに元の画面に戻ります。



→ ポケット選択画面が表示されます。

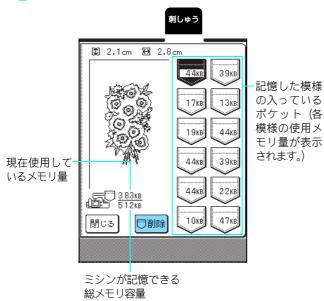
🧽 消去する模様を選びます。

- を押すと、そのポケットの中に記憶されている模様が表示されます。
- 削除しない場合は 閉じる を押します。



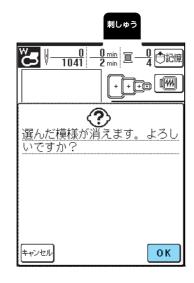


□削除を押します。



OK を押します。

• 消去しない場合は キャンセル を押します。



→「記憶中」のメッセージが表示されます。 完了する と、自動的に元の画面に戻ります。



「記憶中」のメッセージが表示されているとき は、絶対に電源スイッチを切らないでくださ い。記憶しようとしている模様が消えるおそれ があります。



お知らせ

- 模様を消去して、不足していたメモリ容量が 確保されると、自動的に新しい模様が記憶さ れます。メモリ容量が足りないときは、もう 一度記憶されている模様を消去してくださ い。記憶されると、自動的に元の画面に戻り ます。
- 記憶するのに数秒かかります。
- 記憶した模様を呼び出すときは、以下を参照 してください。

刺しゅう模様を呼び出す

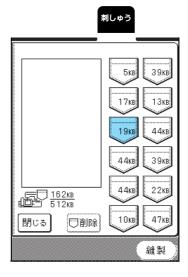




→ ポケット選択画面が表示されます。

呼び出す模様を選びます。

- | を押すと、そのポケットの中に記憶されて いる模様が表示されます。
- 呼び出さない場合は 閉じる を押します。

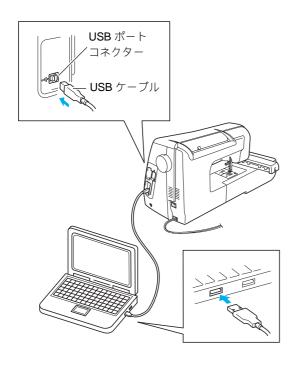




→ 縫製画面が表示されます。

パソコンから刺しゅう模様を呼 び出す

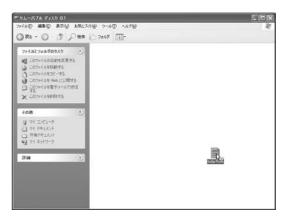
- ミシンとパソコンの USB ポートコネクター に USB ケーブルを差し込みます。
 - ミシンおよびパソコンの電源が入った状態で USB ケーブルを接続することができます。



パソコンで「マイコンピュータ」を開き、「リムーバブルディスク」を選びます。



3 模様データを「リムーバブルディスク」にコ ピーします。



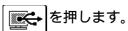
→「リムーバブルディスク」内の模様データがミシン に書き込まれます。



お願い

- データ書き込み中は USB ケーブルを外さないでください。
- 「リムーバブルディスク」にフォルダを作成しないでください。フォルダは表示されませんので、フォルダ内の模様データは呼び出すことができません。
- 縫製中は「リムーバブルディスク」にデータを書き込んだり、「リムーバブルディスク」のデータを削除したりしないでください。



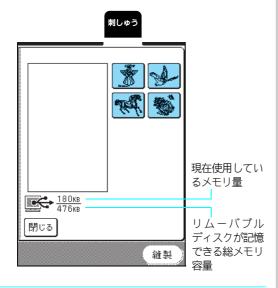




→ 選択画面が表示されます。

呼び出す模様を選びます。

• 呼び出さない場合は 閉じる を押します。



お知らせ リムーバブルディスクに記憶された模様数が 13 個以上の場合は模様を表示することができ ません。

> その場合は、「12 模様までしかあつかえません。 模様数をへらしてください。」というエラー メッセージが表示されますので、パソコン上で リムーバブルディスクの模様を削除して 12 個 以下にしてください。

> その後エラーメッセージを閉じ、もう一度 4 を押してから模様を呼び出し

てください。





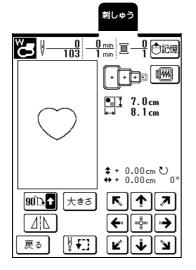
→ 縫製画面が表示されます。

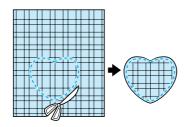
応用ぬい

枠模様を使ってアップリケをす る (1)

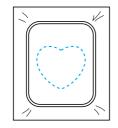
大きさ・形が同じ直線ぬいとサテンぬいの枠模様を 使ってアップリケをします。

直線ぬいの枠模様を選び、アップリケ布に刺 しゅうをします。ぬい目の外側をていねいに 切り取ります。

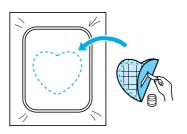




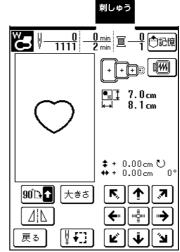
土台布にも同じように刺しゅうをします。

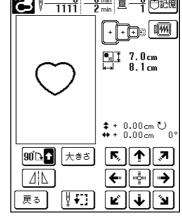


で切り取ったアップリケ布の裏側に、薄 くのりまたは布用スプレーのりを付け、土台 布のぬい目に合わせて貼り付けます。



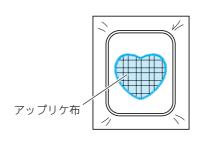
同じ形のサテンぬいの枠模様を選び、3に 刺しゅうします。







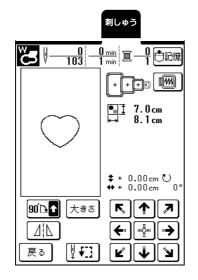
直線ぬいの枠模様を選んだときに大きさやぬ う位置を変えた場合は、サテンぬいの枠模様も 同じ大きさ、同じ位置になるように変えてくだ さい。



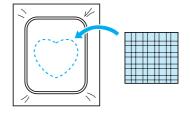
枠模様を使ってアップリケをす る(2)

もう1つのアップリケの方法です。この方法では布地は張り替える必要がありません。大きさ・形が同じ直線ぬいとサテンぬいの枠模様を使ってアップリケをします。

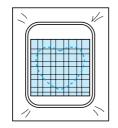
直線ぬいの枠模様を選び、土台布に刺しゅうします。



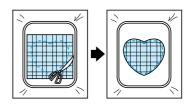
② ① の刺しゅうの上にアップリケ布を置きます。このとき、ぬい目がアップリケ布からは みでないようにしてください。



3 アップリケ布の上からもう一度同じ枠模様 を刺しゅうします。



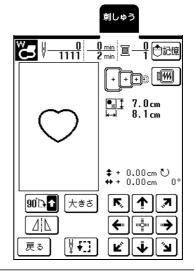
4 刺しゅう機から刺しゅう枠を外し、ぬい目の 外側を切り取ります。



火 お願い

布地は刺しゅう枠にはめたまま切ってください。また、張った布地に無理な力をかけると たるんでしまうので注意してください。

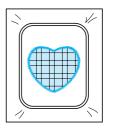
同じ形のサテンぬいの枠模様を選びます。



火 お願い

模様の大きさや位置を変えないでください。

6 4 の刺しゅう枠をセットし、刺しゅうします。





第 **6** 章 編集刺しゅう

| 編集刺しゅうでできること | 144 |
|---|--|
| 刺しゅう模様の選び方 | 144 |
| ワンポイント/花模様/枠模様 ひらがな/カタカナ/ アルファベット 編集のしかた | 145 |
| ■キーのはたらき… ぬう位置を移動する… 模様を回転する… 模様の大きさを変える… 模様を削除する… 文字の配列を変える… 文字の間隔を変える… 縦書き/横書きを切り替える… 1 文字ずつ色を変えてぬう 編集が終わったら | 148 149 149 150 151 151 |
| 模様の組み合わせ | 153 |
| 組み合わせ模様をつくる組み合わせ模様を刺しゅうする | 155 |

編集刺しゅうでできること

編集刺しゅうでは、模様を拡大・縮小したり、1度ずつ回転したり、文字の間隔や配列を変えたりする ことができます。また、縦 26 cm×横 16 cm の縫製範囲内で、文字や模様を組み合わせ、自由にレイア ウトすることができます。編集刺しゅうでいろいろな模様や文字を組み合わせ、オリジナルのワッペン や刺しゅうをお楽しみください。

組み合わせ

ワンポイントと枠模様、内蔵の文字と別売の刺しゅうカードの模様な ど、いろいろな模様の組み合わせが簡単にできます。

移動

縦 26 cm×横 16 cm の範囲で、液晶画面を見ながら思い通りの位置に模 様を移動することができます。

回転

模様や文字を1度ずつ回転することができます。

模様を縦横に拡大縮小することができます。

• 模様によっては、拡大縮小できないものがあります。

左右反転

模様を左右に反転することができます。

• 模様によっては、左右反転できないものがあります。

文字の間隔変更

文字の間隔を詰めたり、広げたりすることができます。

文字の配列変更

文字を曲線状に並べたり、斜めに並べたり、文字の配列を変えることが できます。

縦書きや横書きにすることができます。



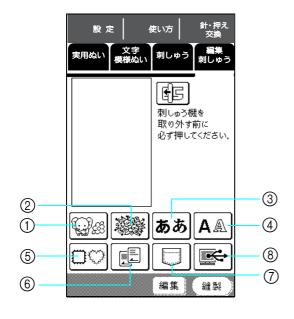


刺しゅう模様の選び方

刺しゅう機を取り付け、刺しゅうの準備をします。(P.106 参照)



(表現) を押すと下の画面が表示されます。

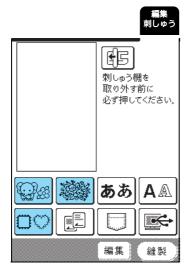


お知らせ

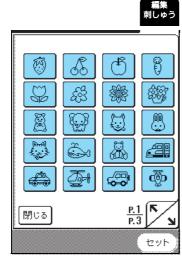
- 画面に表示されるキャラクター模様は、本取 扱説明書には記載されていません。別冊の模 様ブックをご参照ください。
- 模様選択画面の詳細については、P.110 を参 照してください。
- ① ワンポイント
- ② 花模様
- ③ ひらがな/カタカナ
- ④ アルファベット
- ⑤ 枠模様
- ⑥ 刺しゅうカード (別売)
- ⑦ 記憶した模様の呼び出し
- ⑧ パソコンからの模様の呼び出し

ワンポイント/花模様/枠模様

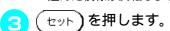
模様の種類を選びます。

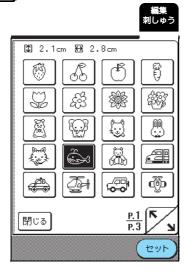


- 🥏 お好みの模様を選びます。
 - 模様の選び方は P.111 と P.113 を参照してください。



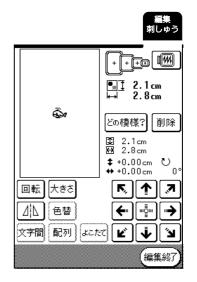
→ 選んだ模様が反転します。





→ 選んだ模様が画面に表示されます。

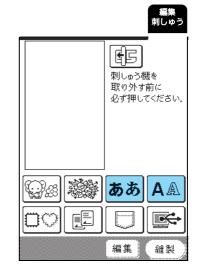
🔼 P.147「編集のしかた」へ進みます。



ひらがな/カタカナ/ アルファベット

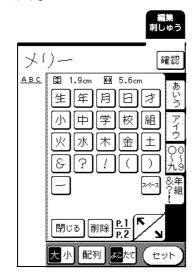
編集刺しゅうでは、ひらがな/カタカナ、またはアルファベットを入力するときに文字の配列を選ぶことができます。

文字の種類を選びます。

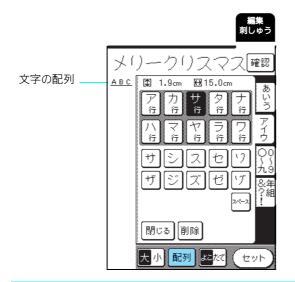




- 😕 お好みの書体を選び、文字を入力します。
 - 文字の選び方は P.112 を参照してください。
 - **確認** を押すと入力した文字を確認することができます。



配列 を押して、お好みの文字の配列に変えます。



お知らせ

画面の左上に文字の配列が表示されます。

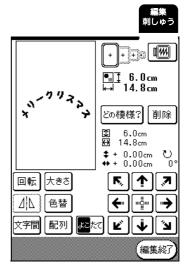
2 配列を選びます。



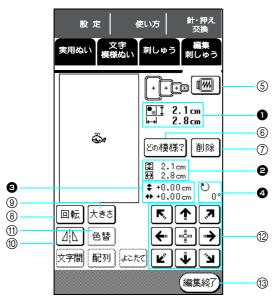
- → 文字の配列の表示が変わります。
- 閉じる を押して、元の画面に戻ります。
- (セット)を押します。

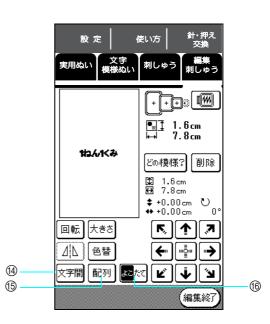


- → 編集画面が表示されます。
- P.147「編集のしかた」へ進みます。



編集のしかた





- 全体の模様の大きさを示します。
- ❷ 編集している模様の大きさを示します。
- 3 ぬう位置を移動したときの、中心からの移動距離を示します。
- ❷ 模様の回転角度を示します。

■ キーのはたらき

| No. | 画面表示 | 名称 | はたらき | 参照ページ |
|-----|--------|---------------------|---|-------|
| 5 | | イメージキー | 押すと、刺しゅうのイメージを確認することができます。 | 126 |
| 6 | どの模様? | 模様選択キー | 複数の模様を組み合わせている場合、編集する模様を選ぶことができます。 | 149 |
| 7 | 削除 | 削除キー | 押すと、編集している模様(濃く表示されている模様)を削除します。 | 149 |
| 8 | 回転 | 回転キー | 模様を回転することができます。編集刺しゅうでは、1 度ずつ回転することができます。 | 148 |
| 9 | 大きさ | 大きさキー | 押すと、模様の大きさを変えることができます。 | 149 |
| 10 | | 左右反転キー | 押すと、模様を左右に反転することができます。 | 123 |
| 11) | 色替 | 色替キー | 押すと、文字の色を1文字ずつ替えることができます。模様を単色で刺 しゅうするときは、 ^{色替} にします。 | 151 |
| 12 | | 矢印キー (+ センターキー) | 押すと、矢印の方向に模様のぬう位置を移動することができます。 | 148 |
| 13 | 編集終了 | 編集終了キー | 押すと、次のステップに進みます。 | 152 |
| 14) | 文字間 | 文字間隔キー | 押すと、文字の間隔を変えることができます。 | 151 |
| 15 | 配列 | 配列キー | 押すと、文字の配列を変えることができます。 | 150 |
| 16 | JE TEC | よこたてキー | 押すと、横書き/縦書きを切り替えることができます。 | 151 |



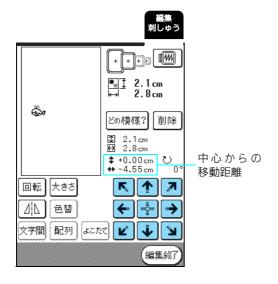
お願い

模様を選んだときに薄く表示されているキーは操作できません。

ぬう位置を移動する

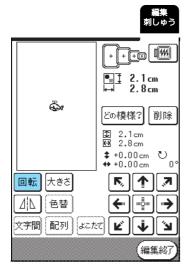
移動する方向の矢印キーを押します。

░░░を押すと、中心に戻ります。



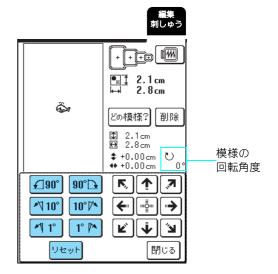
模様を回転する

1 回転 を押します。

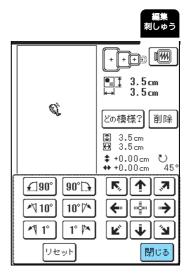


🥏 回転する角度を選びます。

- **貞 90°** を押すと、押すごとに反時計回りに 90 度ずつ回転します。
- **90°** を押すと、押すごとに時計回りに **90** 度ず つ回転します。
- 【**10° を押すと、押すごとに反時計回りに 10 度ずつ回転します。
- **10°** を押すと、押すごとに時計回りに 10 度ず つ回転します。
- **1** を押すと、押すごとに反時計回りに1度ずつ回転します。
- **1° №** を押すと、押すごとに時計回りに**1**度ず つ回転します。
- リセット を押すと、元の角度に戻ります。

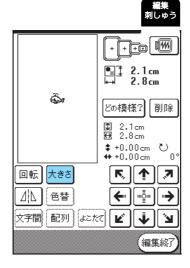


ც 閉じる を押します。



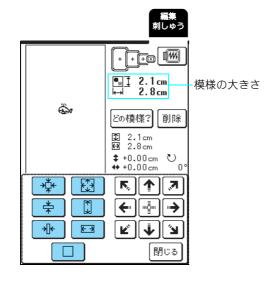
模様の大きさを変える

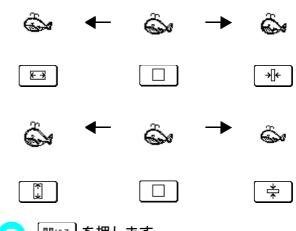
1 大きさを押します。



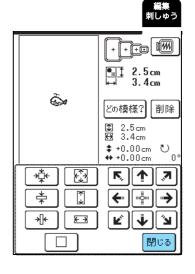
<mark>ラ</mark> 大きさを変える方向を選びます。

- ★ を押すと、全体が小さくなります。
- | 日本 | を押すと、全体が大きくなります。
- * 本 を押すと、縦方向に小さくなります。
- で押すと、縦方向に大きくなります。
- **₩** を押すと、横方向に小さくなります。
- を押すと、元の大きさに戻ります。



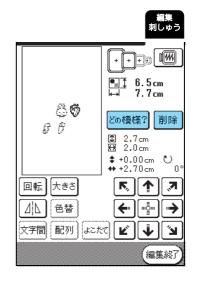


😮 🕅 閉じる を押します。



模様を削除する

どの模様? を押して削除する模様を選び、削除を押します。



文字の配列を変える

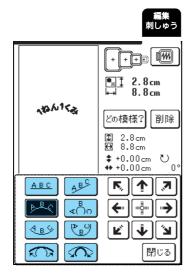
1 配列を押します。



- 😕 お好みの配列を選びます。
 - 曲線の配列を選んだあと を押すと、曲線がゆるくなります。
 - 曲線の配列を選んだあと を押すと、曲線が急になります。

お知らせ

ひらがな/カタカナで縦書き ばる のときは、配列を変えることはできません。(P.151 参照)

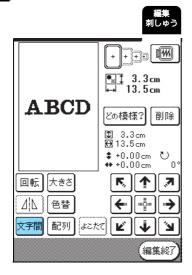


→ 選択した配列が表示されます。

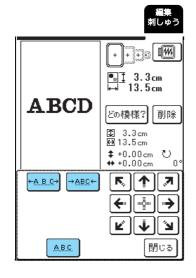
- - ["••] を押すと、中心に戻ります。
- 4 閉じるを押します。

文字の間隔を変える

|文字間||を押します。



- __ ←೩೬♪ または→೩೬← を押します。
 - ←A_B_C→ を押すごとに、文字の間隔が広くなります。
 - ◆ABC←を押すごとに、文字の間隔がせまくなります。
 - ABC を押すと、元の間隔に戻ります。



A B C D \leftrightarrow ABCD

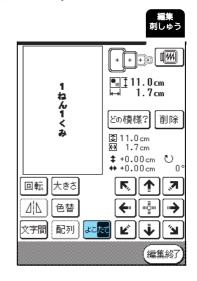
<u>←A B C</u>→

→<u>ABC</u>←

- 【↑】【↑】【◆ ↓)【 ↓ 〕
 - 「「」」を押すと、中心に戻ります。
- ☑ 閉じる を押します。

縦書き/横書きを切り替える

を押すと、ひらがな/カタカナの、縦書き/横書きが切り替わります。

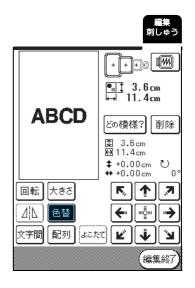


お知らせ

- 縦書きのときは、文字の配列を変えることは できません。 (P.150)
- アルファベットを縦書きに切り替えることはできません。

1 文字ずつ色を変えてぬう

○替を押して 色替 にします。1 文字刺しゅうするごとにミシンが止まり、糸色を替えることができます。





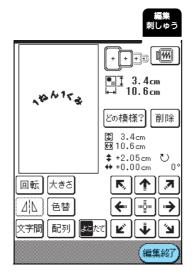
お知らせ

縫製画面でも色替を設定することができます。 詳細は P.124 をご参照ください。

編集が終わったら



(編集終了)を押します。



- (2) (雑製)を押して、編集した模様を刺しゅう します。
 - 編集 を押すと、編集画面に戻ることができます。





お知らせ

模様を組み合わせる場合は、P.153 を参照してください。

模様の組み合わせ

文字と模様を組み合わせて刺しゅうしてみましょう。

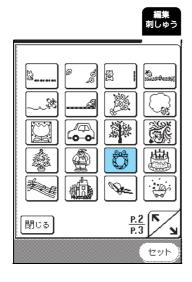
組み合わせ模様をつくる



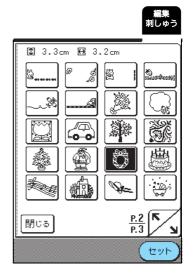




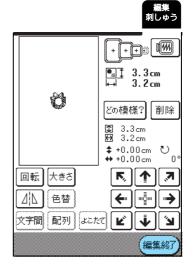
を選びます。 P. 2 の







を押します。 (編集終了)





ああを押します。

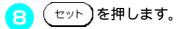


う あアを選びます。



- 🤫 「メリークリスマス」を入力します。
 - •「メ」を入力したら 大小 を押して文字の大きさを「小」に変えてから、残りの文字を入力します。





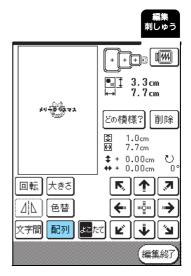


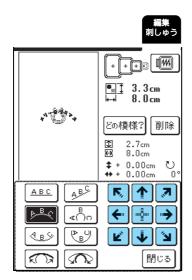
⑤ 配列 を押して、文字の配列を変えます。



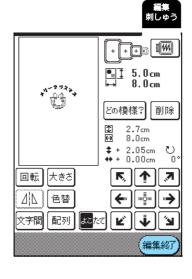
お知らせ

詳細は P.150 を参照してください。



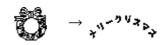


- ∭ 閉じる を押します。
- 12 (編集終了)を押します。



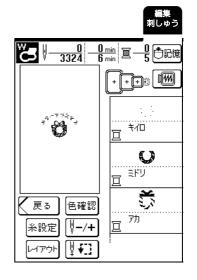
組み合わせ模様を刺しゅうする

組み合わせ模様は、模様を選んだ順番に刺しゅうされます。この例では、以下のような順番で刺しゅうされます。詳細は P.128 「刺しゅうする」を参照してください。





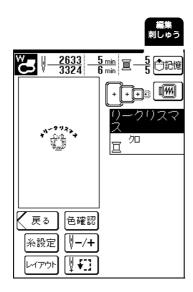
<mark>2</mark> 画面右の順番に従って を刺しゅうします。







、パ^{゚ク}レネ。 を刺しゅうします。



→「メリークリスマス」をぬい終わると、縫製画面に 戻ります。

編集刺しゅう模様の記憶

第5章の刺しゅう模様と同様に、編集刺しゅうで作成・編集した模様をミシンに記憶したり、後で呼び出したりすることができます。また、他のデータ作成装置で作成・編集した刺しゅう模様をパソコンから呼び出すこともできます。

刺しゅう模様の記憶と呼び出しの方法は、P.136「刺しゅう模様の記憶」の手順に従ってください。



第 7_章 付録

| お手入れのしかた | 158 |
|---|------------|
| 画面の汚れの掃除 本体表面の汚れの掃除 かまの掃除 画面の調整 | 158 158 |
| 画面が見にくいタッチパネルが反応しない 簡単なミシンの調整 | 160 |
| エラーメッセージ | 165 |
| ■ブザー 仕様 | |
| アフターサービスについて | 170 |
| アップグレードの方法 | 171 |

お手入れのしかた



▲ 注意

必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガまたは感電の原因となります。

画面の汚れの掃除

液晶画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布地等で軽くふきとってください。有機溶剤や洗剤は使用しないでください。

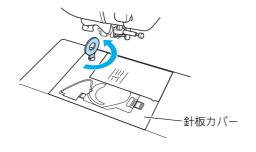
本体表面の汚れの掃除

本体表面の汚れを取るときは、中性洗剤を薄めて布地に浸し、固くしぼってふきとってください。汚れを取った後は、乾いた布でふきとってください。

かまの掃除

ほこりがたまると縫製不良になったり、下糸検出が効かない場合があります。 いつもきれいにしておきましょう。

- 1 針上下スイッチを押して針を上げます。
- 押えレバーを下げます。
- 😨 電源スイッチを切ります。
- 4 針と押えホルダーを外します。 (P.32 ~ P.33 参照)
- 補助テーブルまたは刺しゅう機を取り付けている場合は外します。
- 付属の針板ドライバーを使って、針板カバーのネジをゆるめて外します。



🥏 針板カバーを手前に引いて外します。



○ 内かまを取り出します。

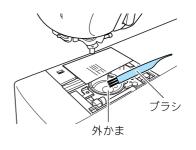


写 付属のブラシや掃除機で、外かまとその周辺 の糸くずやほこりを取り除きます。

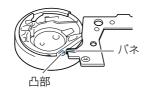


く お願い

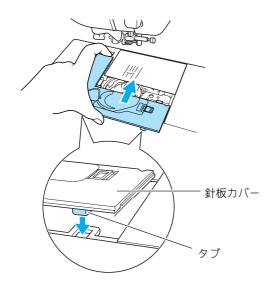
外かまには油をささないでください。



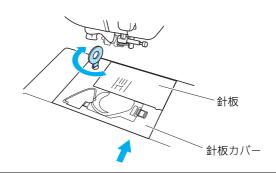




針板カバーのタブを差し込み、スライドさせて元の位置に戻します。



- 12 付属の針板ドライバーを使ってネジをしめます。
 - 針板カバーを針板に押し付けながらネジをしめて ください。



▲注意



- 傷がついた内かまは使用しないでください。万一使用すると、上糸がからみ、針折れや縫製不良の原因となります。
- 内かまは最寄りの販売店でお買い求めください。
 - 内かまは正しい位置に取り付けてくださ い。針折れの原因となります。



立



画面の調整

画面が見にくい

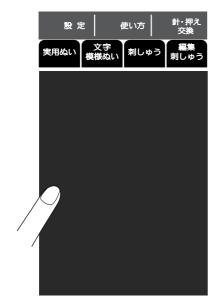
電源スイッチを入れたときに画面が見にくい場合は、 以下の手順に従ってください。

電源スイッチを切り、画面(どの部分でもよい)を指で押しながら電源スイッチを入れます。

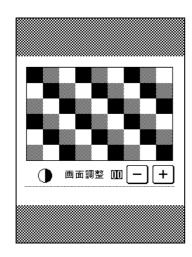
お知らせ

画面が表示されるまでずっと画面を押し続けてください。

スタート/ストップスイッチは点灯しません。



- →「画面調整」画面が表示されます。
- [─] [+]を押して画面の濃さを調整します。

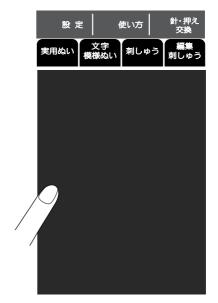


3 調整が終わったら、電源スイッチを入れ直し ます。

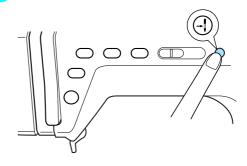
タッチパネルが反応しない

液晶画面のキーを押しても反応しない(キー入力ができない、またはキーがずれている)場合、以下の手順に従ってください。

電源スイッチを切り、画面(どの部分でもよい)を指で押しながら電源スイッチを入れます。



- →「画面調整」画面が表示されます。
- 2 糸通しモードスイッチを押します。



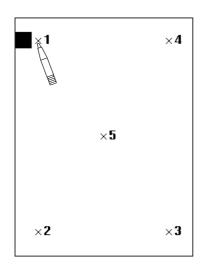
→ タッチパネル調整画面が表示されます。

- 付属のタッチペンを使って、画面に表示され ている×印の中心を 1 から 5 まで順番に軽 く押します。
 - 1, 2, 3, 4, 5 の順で押し、5 の×印を押したときにブ ザーが1回鳴ったら入力終了です。 5の×印を押したときにブザーが2回鳴ったときは 入力エラーです。もう一度、1から順に押し直して ください。



お願い

必ず付属のタッチペンを使用して調整してく ださい。シャープペンシル、ドライバーなどの 先のとがったものや硬いもので押さないでく ださい。また、画面に無理な力をかけないでく ださい。故障の原因となります。



タッチパネルの調整が終わったら、電源ス イッチを入れ直します。



↓ お願い

調整をしてもキー入力ができない場合、または 調整ができない場合は、お買い上げの販売店ま たは「ミシン 119番」にご連絡ください。



簡単なミシンの調整

修理を依頼される前に次の項目を点検し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店または「ミシ ン119番」にご相談ください。



お知らせ このミシンには、ぬっていて困ったときのために簡単なトラブルチェック機能が付いています。

健助方 を押し、 トラブルチェック を押すと、トラブルの項目が表示されます。項目を選び、原因と対処法

を確認してください

| 症状 | 原因 | 対処 | 参照ページ |
|----------|---|---|-------|
| 上糸が切れる | 上糸の通し方がまちがっている(糸こまが正しくセットされていない、糸こま押えの大きさが合っていない、針棒糸かけから糸が外れているなど)。 | | 27 |
| | 糸にこぶや結び目がある。 | 糸のこぶや結び目を取り除きます。 | _ |
| | 針に比べて糸が太すぎる。 | 布地と糸と針の組み合わせ表を見て、適切な 組み合わせにします。 | 34 |
| | 上糸調子が強すぎる。 | 糸調子を調節します。 | 41 |
| | 糸がからまっている。 | かまなどにからんだ糸をはさみなどで切っ て取り除きます。 | _ |
| | 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 | 新しい針に交換します。 | 33 |
| | 針の取り付け方がまちがっている。 | 針を正しく取り付けます。 | 33 |
| | 針板の穴の周辺にキズがある。 | 針板を交換するか、お買い上げの販売店にご 相談ください。 | _ |
| | 押えの穴の周辺にキズがある。 | 押えを交換するか、お買い上げの販売店にご相談ください。 | _ |
| | 内かまにキズがある。 | 内かまを交換するか、お買い上げの販売店にご相談ください。 | _ |
| 下糸が切れる | 下糸セットのしかたがまちがっている。 | 下糸を正しくセットします。 | 25 |
| | ボビンにキズがあり、回転がなめらかでな い。 | ボビンを交換する。 | _ |
| | 糸がからまっている。 | かまなどにからんだ糸をはさみなどで切っ て取り除きます。 | _ |
| ぬい目が飛ぶ | 上糸の通し方がまちがっている。 | 糸を通す順序を調べて通し直します。 | 27 |
| | 布地に合った糸・針を使っていない。 | 布地と糸と針の組み合わせ表を見て、適切な 組み合わせにします。 | 34 |
| | 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 | 新しい針に交換します。 | 33 |
| | 針の取り付け方がまちがっている。 | 針を正しく取り付けます。 | 33 |
| | 品質の悪い針を使っている。 | 正しい針に交換します。 | 33 |
| | 針板の下にゴミがたまっている。 | ブラシなどでゴミを取り除きます。 | 158 |
| 布地にしわがよる | 上糸の通し方、または下糸のセットのしかた がまちがっている。 | 上糸を通す順番を調べて通し直します。また は、下糸を正しくセットします。 | 25、27 |
| | 糸こまが正しく付いていない。 | 糸こまの付け方を調べて付け直します。 | 27 |
| | 布地に合った糸・針を使っていない。 | 布地と糸と針の組み合わせ表を見て、適切な 組み合わせにします。 | 34 |
| | 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 | 新しい針に交換します。 | 33 |
| | 薄地に対してぬい目があらすぎる。 | ぬい目を細かくします。 | 40 |
| | 糸調子が合っていない。 | 糸調子を調節します。 | 41 |
| | 模様に合った押えを使用していない。 | 指定の押えを取り付けます。 | 172 |
| ぬい音が高い | 送り歯にゴミがたまっている。 | ゴミを取り除きます。 | 158 |
| | かまの部分に糸くずが巻きこまれている。 | かまの掃除をします。 | 158 |
| | 上糸の通し方がまちがっている。 | 糸を通す順序を調べて通し直します。 | 27 |
| | 内かまにキズがある。 | 内かまを交換するか、お買い上げの販売店にご相談ください。 | _ |

| 症状 | 原因 | 対処 | 参照ページ |
|-----------------|-------------------------------------|---|-------|
| 糸通しができない | 針が正しい位置にない。 | 針上下スイッチで針を上げます。 | 10 |
| | 糸通し装置のフックが針穴に入らない。 | 針上下スイッチで針を上げます。 | 10 |
| | 針の取り付け方がまちがっている。 | 針を正しく取り付けます。 | 33 |
| | 上糸の通し方がまちがっている。 | 糸を通す順序を調べて通し直します。 | 27 |
| | 下糸セットのしかたがまちがっている。 | 下糸を正しくセットします。 | 25 |
| | 布地に合った糸・針を使っていない。 | 布地と糸と針の組み合わせ表を見て、適切な 組み合わせにします。 | 34 |
| | 押えホルダーが正しく取り付けられていない。 | 押えホルダーを正しく取り付けます。 | 32 |
| | 糸調子が合っていない。 | 糸調子を調節します。 | 41 |
| て字模様がくずれる | 模様に合った押えを使用していない。 | 指定の押えを取り付けます。 | 172 |
| | 模様が正しく調整されていない。 | 模様の調整をし直します。 | 92 |
| | 薄い布地や伸びる布地なのに芯を貼っていない。 | 布地に接着芯を貼ります。 | 116 |
| | 糸調子が合っていない。 | 糸調子を調節します。 | 41 |
| 引しゅう模様がくずれ る | 糸がからまっている。 | かまなどにからんだ糸をはさみなどで切っ て取り除きます。 | _ |
| | 刺しゅう枠に布地がきちんと張られていない。(布地の張り方がゆるいなど) | 布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい 縮みの原因となります。刺しゅう枠に布地を 正しく張ります。 | 118 |
| | 接着芯を貼っていない。 | 特に伸びる布地、薄い布地、目の粗い布地、 ぬい縮みしやすい布地には、必ず刺しゅう用 接着芯を貼ります。 | 116 |
| | キャリッジや刺しゅう枠が周辺に置いてある物に当たっている。 | キャリッジや刺しゅう枠が物にぶつかると 模様くずれの原因となります。刺しゅう枠が 動く範囲には物を置かないようにします。 | _ |
| | | 刺しゅう枠からはみ出た布地がアームの反対側になるようにして枠を張り替え、模様を 180 度回転して刺しゅうをします。 | 118 |
| | 重い衣類に刺しゅうして、刺しゅう機の動きが悪くなった。 | アームベットと水平になるように電話帳などを置いたり、重い側を軽く持ち上げるようにしてぬいます。 | _ |
| | テーブルから刺しゅうする布地が垂れ下 がっている。 - | 布地が垂れ下がった状態で刺しゅうをすると、刺しゅう機の動きが悪くなります。テーブルから布地が垂れ下がらないようにします。 | 127 |
| | 布地がひっかかっている、またははさみ込まれている。 | ミシンを止めて布地を正しい位置に直します。 | _ |
| | 枠を外したり、セットするときに枠を刺しゅ | ぬっている途中で刺しゅう押えに物がぶつかったり、刺しゅう機が動いたりすると模様くずれの原因となります。ぬっている途中で刺しゅう枠を外したり、セットしたりするときには注意してください。 | 130 |
| †が折れる | 針の取り付け方がまちがっている。 | 針を正しく取り付けます。 | 33 |
| | 針の止めネジがゆるんでいる。 | 止めネジをしっかりしめます。 | 34 |
| | 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 | 新しい針に交換します。 | 33 |
| | 布地に合った糸・針を使っていない。 | 布地と糸と針の組み合わせ表を見て、適切な 組み合わせにします。 | 34 |
| | 模様に合った押えを使用していない。 | 指定の押えを取り付けます。 | 172 |
| | 上糸調子が特に強すぎる。 | 糸調子を調節します。 | 41 |
| | 布地を不当に引っ張っている。 | 布地を引っ張らないようにします。 | _ |
| | 糸こまが正しく付いていない。 | 糸こまの付け方を調べて付け直します。 | 27 |
| | 針板の穴の周辺にキズがある。 | 針板を交換するか、お買い上げの販売店にご 相談ください。 | _ |
| | 押えの穴の周辺にキズがある。 | 押えを交換するか、お買い上げの販売店にご相談ください。 | _ |
| | 内かまにキズがある。 | 内かまを交換するか、お買い上げの販売店にご相談ください。 | _ |
| | 品質の悪い針を使っている。 | 正しい針に交換します。 | 33 |

| 症状 | 原因 | 対処 | 参照ページ |
|------------|---|---|-------------------|
| 布地を送らない | 送り歯が下がっている。 | ドロップレバーで送り歯を上げます。 | 78 |
| | ぬい目が細かすぎる。 | ぬい目の長さを長くします。 | 40 |
| | 模様に合った押えを使用していない。 | 指定の押えを取り付けます。 | 172 |
| | 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 | 新しい針に交換します。 | 33 |
| | 糸がからまっている。 | かまなどにからんだ糸をはさみなどで切っ て取り除きます。 | _ |
| ミシンが動かない | 模様が選ばれていない。 | 模様を選びます。 | 46、86、110、 144 |
| | スタート/ストップスイッチを押していな い。 | スタート/ストップスイッチを押します。 | 37 |
| | 電源スイッチが入っていない。 | 電源スイッチを入れます。 | 14 |
| | 押えが下がっていない。 | 押えを下げます。 | 36 |
| | フットコントローラーを接続したままス タート/ストップスイッチを押している。 | フットコントローラーを外すか、フットコン トローラーで操作します。 | 37 |
| | フットコントローラーで刺しゅうをしよう としている。 | フットコントローラーを外して、スタート/ ストップスイッチで操作します。 | 10 |
| 刺しゅう機が動かない | 模様が選ばれていない。 | 模様を選びます。 | 46、86、110、 144 |
| | 電源スイッチが入っていない。 | 電源スイッチを入れます。 | 14 |
| | 刺しゅう機が正しくセットされていない。 | 刺しゅう機を正しくセットします。 | 108 |
| | 刺しゅう枠を付けた状態で初期設定を行った。 | 正しく初期設定を行います。 | 109 |
| 液晶画面が見にくい | 液晶のコントラストが合っていない。 | 画面の調整をします。 | 19、160 |

Ö

お願い

- このミシンには、糸切れ確認装置が付いています。上糸が通されていない状態でスタート/ストップスイッチを押しても、ミシンは正常に作動しません。また、選択した模様によっては、針が上で停止したまま布を送ります。そのとき縫製音と異なった音が発生しますが、トラブルではありませんのでご了承ください。
- 運転中に停電が発生した場合
 - 電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。
 - 再度電源スイッチを入れる場合は、運転の手順に従って正しく行ってください。

エラーメッセージ

ミシンが正しくセットされていない状態でスタート/ストップスイッチや返しぬいスイッチを押したときや、誤った操作をしたときは、ミシンが止まりブザーとエラーメッセージでお知らせします。エラー メッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

(表示中のメッセージは 閉じる を押すか、正しい操作をすると消えます。)



フットコントローラーを取り 付けた状態でスタート/ス トップを押したときに表示さ れます。



スピードコントロールレバー がジグザグの振り幅調節レ バーに設定されている状態で スタート/ ストップスイッチ を押したときに表示されます。



71個以上の模様を組み合わせよ うとしたときに表示されます。



2本針が設定されている状態で 糸通しレバーを使おうとしたと きに表示されます。



ボタン穴かがりレバーを上げ てください。

閉じる

ボタン穴かがりの模様を選び、 ボタン穴かがりレバーが上 がった状態で、スタート/ス トップスイッチまたは返しぬ いスイッチを押したときに表 示されます。



2本針が設定されている状態 で、2本針が使用できない模様 を選んだときに表示されます。



ボタン穴かがり以外の模様を 選び、ボタン穴かがりレバーが 下がった状態で、スタート/ス トップスイッチまたは返しぬ いスイッチを押したときに表 示されます。



実用ぬいで 記憶 を押したと きに表示されます。





糸がらみなどで、モーターが ロックしたときに表示されま す。



針が下がった状態で画面上の キーを押したときに表示され ます。



押えレバーが上がった状態で、 スタート/ストップスイッチ または返しぬいスイッチ、糸切 りスイッチを押したときに表 示されます。



下糸巻き中に、糸がらみなどで モーターがロックしたときに 表示されます。



上糸が切れたときなど、上糸が正しく通っていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは返しぬいスイッチを押したときに表示されます。



下糸が少なくなったときに表示されます。



▲注意

必ず糸をかけ直してください。糸をかけ直さずにスタート/ストップスイッチを押すと、針折れや糸調子不良、故障の原因となります。



模様を選んだ後に、^{実用ぬい}または



たときに表示されます。



模様が選択されていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは返しぬいスイッチ、

を押したときに表示されます。

刺しゅう機がついていないの でぬえません。電源スイッチ を切ってから刺しゅう機を取 り付けてください。 刺しゅう機が取り付けられていない状態でスタート/ストップスイッチを押したときに表示されます。





記憶容量がいっぱいで記憶で きないときに表示されます。



↩

刺しゅう機が付いているとき に、このスイッチは使用でき

このミシンで使用できないカー ドを差し込んで┃ を押し たときに表示されます。



ません。

閉じる

閉じる

刺しゅう機が取り付けられた 状態で返しぬいスイッチを押 したときに表示されます。



 \odot

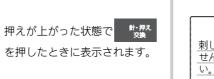
押えが自動で下がります。よ ろしいですか?

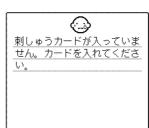
キャンセル

ок

誤作動が起きたときに表示さ

れます。





刺しゅうカードが差し込まれて を押した いない状態で ときに表示されます。



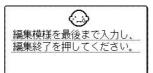
糸通しができない状態で、糸通 しレバーを下げたときに表示 されます。



編集刺しゅうで、データ容量の 制限を越える模様を読み込ん だり、たくさんの模様を編集し たりしたときに表示されます。



糸通しモードスイッチが緑色 に点灯した状態で、スタート/ ストップスイッチまたは糸切 リスイッチを押したときに表 示されます。



編集刺しゅうで、操作が途中の 状態でスタート/ストップス イッチを押したときに表示さ れます。



刺しゅう機が取り付けられた 状態で電源スイッチを入れた とき、針が下がっている場合に 表示されます。



刺しゅうで、S 枠または M 枠、 L枠がセットされた状態で、L 枠 の縫製範囲よりも大きいサイ ズの模様を選んだときに表示 されます。

文字の配列ができません。

閉じる

文字数が多くて曲線の配列ができないときに表示されます。



刺しゅうで、刺しゅう枠がセットされた状態で初期設定をしようとしたときに表示されます。



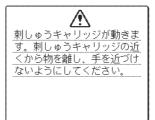
刺しゅうで、刺しゅう枠から はみ出るまで文字を組み合わせ たときに表示されます。文字を 90度回転するとさらに組み合わ せることができます。



刺しゅうで、刺しゅう枠から はみ出るまで、文字を組み合わ せたときに表示されます。

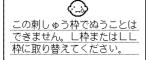


刺しゅうで、S 枠がセットされた状態で、S 枠の縫製範囲よりも大きいサイズの模様を選んだときに表示されます。



ОΚ

刺しゅう機の初期設定をするときに表示されます。



刺しゅうで、S 枠または M 枠が セットされた状態で、M 枠の縫 製範囲よりも大きいサイズの 模様を選んだときに表示され ます。



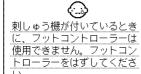
刺しゅうで、刺しゅう枠がセットされていない状態でスタート/ストップスイッチを押したときに表示されます。



編集刺しゅうで、模様を呼び出 しているときに表示されます。



このミシン以外の模様として ダウンロードした模様を呼び 出そうとしたときに表示され ます。



刺しゅう機が取り付けられた 状態でフットコントローラー を押したときに表示されます。



刺しゅうで、押えが上がった状 態でスタート/ストップス イッチを押したときに表示さ れます。





選んだ模様のデータがこわれ ている可能性のあるときに表 示されます。

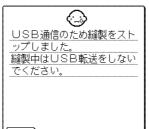


リムーバブルディスクに記憶 された模様数が 13 個以上のと きに表示されます。





刺しゅう枠を交換して刺しゅ うを開始するときに表示され る確認メッセージです。



縫製中に、接続しているパソコ ンのリムーバブルディスクに データを書き込んだり、リムー バブルディスクのデータを削除 したりすると、ミシンが止まり、 メッセージが表示されます。 USB 通信が終了した後、スター ト/ストップスイッチを押す と、続けて縫製することができ ます。



この模様はデータ容量の制限 を越えているため使えません。

針数・色数の制限を越えて記憶 した模様を呼び出そうとした ときに表示されます。



閉じる

誤った操作をすると、ミシンのブザーが2回または 4回鳴ります。

お知らせ

№ 定 を押すとブザーの ON/OFF を切り替え ることができます。詳しくは P.18 を参照して ください。

仕様

| | 項目 | 仕様 |
|-------|-----------|--|
| ミシン本体 | 本体寸法 | 51.1 cm(幅) × 30.5 cm(高さ) × 25.8 cm(奥行) |
| | ケースセット寸法 | 58.2 cm(幅) × 31.9 cm(高さ) × 28.4 cm(奥行) |
| | 製品質量 | 11.2 kg(ケース付き:13.5 kg) |
| | ぬい速度 | 毎分 70 ~ 850 針 |
| | 使用ミシン針 | 家庭用ミシン針(HA × 130) |
| | ランプ消費電力 | 12 V/5 W |
| 刺しゅう機 | 本体寸法 | 45.8 cm(幅) × 13.1 cm(高さ) × 42.3 cm(奥行) |
| | ミシンセット時寸法 | 72.4 cm(幅) × 30.5 cm(高さ) × 42.3 cm(奥行) |
| | 製品質量 | 3.5 kg |

アフターサービスについて

■ 保証書について

保証書は必ずお買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめのうえ、販売店から受けとっていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。(保証書は外箱についています。)

■ 修理を依頼されるときは

修理を依頼される前にまず、もう一度本書の P.162「簡単なミシンの調整」に従って点検していただき、直らないときにはお買い上げの販売店、または「ミシン 119 番」フリーダイヤル 0120-340-233、最寄りのブラザー販売店にお申し付けください。

また、無料修理保証期間は、お買い上げ日より 3 年です。それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または「ミシン 119 番」フリーダイヤル 0120-340-233、最寄りのブラザー販売店にご相談ください。

アップグレードの方法

パソコンを使ってミシンにインストールされているソフトウェアをアップグレードすることができま す。以下の手順に従って操作してください。尚、アップグレード情報に関しては、お近くの販売店もし くは「ミシン 119 番」 フリーダイヤル 0120-340-233 にお問い合わせいただくか、 ブラザーのホームペー ジ (http://www.brother.co.jp) で今後掲載される情報をご参照ください。



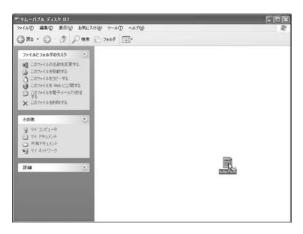
お知らせ

ソフトウェアのアップグレード中は、キーを押してもブザーが鳴りません。

- 糸通しモードスイッチを押しながら電源ス イッチを入れます。
 - → 下の画面が表示されます。

アップグレードファイルをミ シンに保存してから取り込み キーを押してください。 取り込み

- USB ケーブルでミシンとパソコンを接続し ます。
 - \rightarrow 「Uムーバブルディスク」が「 \overline{V} てイコンピュータ」に 表示されます。
- アップグレードファイルを「リムーバブル ディスク」にコピーします。



→「PC と通信中です。USB ケーブルを抜かないで下さ い。」のメッセージが表示されます。

- ① の画面に戻ったら、取り込み を押します。
 - →「アップグレードファイルを書き込んでいます。電 源を切らないで下さい。」のメッセージが表示され ます。
- 次の画面が表示されたら、アップグレードは 5 終了です。
 - アップグレードファイルが2つある場合は、2つ目 のファイルを取り込みます。 3 から 5 の手順を 繰り返してください。

アップグレードファイルをミ シンに保存してから取り込み キーを押してください。

取り込み

アップグレードが完了しまし



お願い

エラーが発生すると、エラーメッセージが表示 されます。このときは、電源スイッチを切り、 もう一度 1 からやり直してください。

USBケーブルを外し、ミシンの電源スイッチ を入れ直します。

ぬい方早見表



お願い 2 本針を使用するとき(P.27 参照)は、必ず<J>押えを取り付けてください。

| 14 1 1 14 | <i></i> | Jm ≥ | 2-4- TIVA | ジグ | ザグの振り幅* |)幅* ぬい目の長さ* | | o |
|------------------------------|-----------|----------|---|-----|-----------|-------------|------------|---------------|
| ぬい方 | 名前 | 押え | 主な用途 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | 2 本針 ** |
| 1-01 - - | 直線(左基線) | #J | 地ぬい、ギャザー、ピンタック など洋裁に広く使用します。返 しぬいスイッチを押すと返し ぬいをします。 | 0.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 0.2 - 5.0 | 0 |
| 1-02 | 直線(左基線) | #J | 地ぬい、ギャザー、ピンタック など洋裁に広く使用します。返 しぬいスイッチを押すと止め ぬいをします。 | 0.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 0.2 - 5.0 | 0 |
| 1-03 - - - | 直線(中基線) | #J | ファスナーつけ、地ぬい、ギャザー、ピンタックなど洋裁に広く使用します。返しぬいスイッチを押すと返しぬいをします。 | 3.5 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 0.2 - 5.0 | 0 |
| 1-04 | 直線(中基線) | #J | 地ぬい、ギャザー、ピンタック など洋裁に広く使用します。返 しぬいスイッチを押すと止め ぬいをします。 | 3.5 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 0.2 - 5.0 | 0 |
| 1-05 | 3 重ぬい | #J | 丈夫なぬい目なので、袖つけや 股下をぬうときに便利です。ま た、伸びる布地をぬうときや飾 りぬいとしても使用します。 | 0.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 1.5 - 4.0 | 0 |
| 1-06 ½ ½ 7 | 伸縮ぬい | #J | 伸縮性のあるぬい目なので、伸びる布地をぬうときに使用します。また、飾りぬいとしても 使用します。 | 1.0 | 1.0 - 3.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 1-07 | 飾りぬい | X | 飾りぬいに使用します。 | 0.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 1-08 | しつけぬい | #J | 仮り止めに使用します。 | 0.0 | 0.0 - 7.0 | 20.0 | 5.0 - 30.0 | × |
| [1-09] | ジグザグ(中基線) | Ţ | たちめかがりやアップリケなどに使用します。返しぬいスイッチを押すと返しぬいをします。振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。 | 3.5 | 0.0 - 7.0 | 1.4 | 0.0 - 4.0 | 0 |
| 1-10 W | ジグザグ(中基線) | Ţ | たちめかがりやアップリケなどに使用します。返しぬいスイッチを押すと止めぬいをします。振り幅を調節すると中心を基線にして振り幅が変わります。 | 3.5 | 0.0 - 7.0 | 1.4 | 0.0 - 4.0 | 0 |
| 1-11 \$ | ジグザグ(右基線) | #J | 右の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると右を基 線にして振り幅が変わります。 | 3.5 | 2.5 - 5.0 | 1.4 | 0.3 - 4.0 | 0 |
| 1-12 | ジグザグ(左基線) | J | 左の針位置からぬい始まります。振り幅を調節すると左を基 線にして振り幅が変わります。 | 3.5 | 2.5 - 5.0 | 1.4 | 0.3 - 4.0 | 0 |
| 1-13 | 2点ジグザグ | #J | 普通地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 1.0 | 0.2 - 4.0 | 0 |

^{* —:}調節できません。** ○:使用できます。×:使用できません。

| | | | | ジグ | げグの振り幅* | ぬし | ハ目の長さ* | |
|------------------------------------|-------------------|----|--|-----|-----------|-----|-----------|---------|
| ぬい方 | 名前 | 押え | 主な用途 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | 2 本針 ** |
| 1-14 930 930 930 930 | 2点ジグザグ | #J | 普通地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 1.0 | 0.2 - 4.0 | 0 |
| 1-15 *:* *:* *:* *:* | 3 点ジグザグ | ij | 普通地、厚地、伸びる布地のたちめかがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 1.0 | 0.2 - 4.0 | 0 |
| 1-16 | たちめかがり | | 薄地、普通地のたちめかがりに 使用します。 | 3.5 | 2.5 - 5.0 | 2.0 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-17 | たちめかがり | | 厚地のたちめかがりに使用します。 | 5.0 | 2.5 - 5.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-18 | たちめかがり | | 厚地のたちめかがりや飾りぬ いに使用します。 | 5.0 | 3.5 - 5.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-19 | たちめかがり | Ţ | 伸びる布地のたちめかがりに 使用します。 | 5.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 0.5 - 4.0 | 0 |
| 1-20 [-: | たちめかがり | Ţ | 厚地、伸びる布地のたちめかが りに使用します。 | 5.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 0.5 - 4.0 | 0 |
| 1-21 | たちめかがり | Ţ | 伸びる布地のたちめかがりや 飾りぬいに使用します。 | 4.0 | 0.0 - 7.0 | 4.0 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 1-22 E E | たちめかがり | ij | 伸びる布地のたちめかがりに 使用します。 | 5.0 | 0.0 - 7.0 | 4.0 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-23 | たちめかがり | ij | 伸びる布地のたちめかがりに 使用します。 | 6.0 | 1.0 - 7.0 | 3.0 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 1-24 | たちめかがり | Ţ | 伸びる布地のたちめかがりに 使用します。 | 6.0 | 1.0 - 7.0 | 1.8 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 1-25 s | サイドカッター | S | サイドカッター押えを取り付けてぬいます。布地を切りながら、直線をぬいます。 | 0.0 | 0.0 - 2.5 | 2.5 | 0.2 - 5.0 | × |
| 1-26 S S | サイドカッター | S | サイドカッター押えを取り付けてぬいます。布地を切りながら、ジグザグステッチをぬいます。 | 3.5 | 3.5 - 5.0 | 1.4 | 0.0 - 4.0 | × |
| 1-27 >s | サイドカッター | S | サイドカッター押えを取り付けてぬいます。薄地、普通地の たちめかがりに使用します。 | 3.5 | 3.5 - 5.0 | 2.0 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-28 >s | サイドカッター | S | サイドカッター押えを取り付けてぬいます。厚地のたちめかがりに使用します。 | 5.0 | 3.5 - 5.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-29 H H S | サイドカッター | S | サイドカッター押えを取り付けてぬいます。普通地、厚地の たちめかがりに使用します。 | 5.0 | 3.5 - 5.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-30 ; ; ; ; ; ; | ピーシング直線 (右基 線) | #J | ピーシング用の直線です。押えの右端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が 7.0 mm でぬえるように針位置が設定されています。 | 5.0 | 0.0 - 7.0 | 1.6 | 0.2 - 5.0 | × |
| 1-31 i | ピーシング直線 (左基 線) | #J | ピーシング用の直線です。押えの左端に布地を合わせてぬうと、ぬいしろの幅が 7.0 mm でぬえるように針位置が設定されています。 | 2.0 | 0.0 - 7.0 | 1.6 | 0.2 - 5.0 | × |

^{* — :} 調節できません。** \bigcirc : 使用できます。 \times : 使用できません。

| 4.1.4 | J-7-34- | Jm ≃ | 2-4-m/A | ジグ | ザグの振り幅* | ぬい目の長さ* | | 0 |
|--|----------|--------|---|-----|-----------|---------|-----------|---------------|
| ぬい方 | 名前 | 押え | 主な用途 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | 2 本針 ** |
| 1-32 | 手ぬい風直線 | #J | 上糸にナイロン透明糸、下糸に キルトに合った色の糸を使っ てぬうと手ぬい風のキルト直 線がぬえます。ぬうときは上糸 の調子を強くしてぬいます。 | 0.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-33 × > Q | ジグザグ | T. | アップリケキルトやフリー モーションキルト、サテンぬい などに使用します。 | 3.5 | 0.0 - 7.0 | 1.4 | 0.0 - 4.0 | × |
| 1-34 | アップリケ | #J | アップリケやバインディング をするときに使用します。 | 1.5 | 0.5 - 5.0 | 1.2 | 1.0 - 4.0 | × |
| 1-35 237 237 238 238 238 248 | キルティング模様 | ij | キルトで背景をうめるときに 使用します。 | 7.0 | 1.0 - 7.0 | 1.6 | 1.0 - 4.0 | × |
| 2-01 | まつりぬい | R | 普通地のまつりぬいに使用します。 | 0.0 | +3.03.0 | 2.0 | 1.0 - 3.5 | × |
| 2-02 | まつりぬい | R | 伸びる布地のまつりぬいに使 用します。 | 0.0 | +3.03.0 | 2.0 | 1.0 - 3.5 | × |
| 2-03 | アップリケ | #J | アップリケに使用します | 3.5 | 2.5 - 7.0 | 2.5 | 1.6 - 4.0 | 0 |
| 2-04 | シェルタック | Ţ | シェルタックは貝殻を直線状にならべたような円弧状のひだを作るもので、ふち取りなどに用いるほか、ブラウス、ワンピースなどの胸元や袖に飾りぬいとして使用します。 | 4.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 0.2 - 4.0 | 0 |
| 2-05 | サテンスカラップ | N M | スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波形の模様をいいます。ブラウスやハンカチなどのふち飾りに使用します。 | 5.0 | 2.5 - 7.0 | 0.5 | 0.1 - 1.0 | 0 |
| 2-06 | スカラップ | N R | スカラップは半月状の丸いカーブの連続した波形の模様をいいます。ブラウスやハンカチなどのふち飾りに使用します。 | 7.0 | 0.0 - 7.0 | 1.4 | 1.0 - 4.0 | × |
| 2-07 | つきあわせ | Ţ | パッチワークや飾りぬいに使 用します。 | 4.0 | 0.0 - 7.0 | 1.2 | 0.2 - 4.0 | 0 |
| 2-08 | つきあわせ | #J | パッチワークや飾りぬいに使用します。トリコット地などたちめかがり兼用の地ぬいにも使用できます。 | 5.0 | 2.5 - 7.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 2-09 /-> V: | つきあわせ | ÷Ţ | パッチワークや飾りぬいに使 用します。 | 5.0 | 0.0 - 7.0 | 1.2 | 0.2 - 4.0 | 0 |
| 2-10 | スモッキング | ÷Į | スモッキングや飾りぬいに使 用します。 | 5.0 | 0.0 - 7.0 | 1.6 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 2-11 | ファゴティング | ij | ファゴティングは布地と布地 の間を離して糸でかがる方法 をいい、ブラウスや子供服など に使用します。また、飾りぬい としても使用します。 | 5.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | 0 |

^{* — :} 調節できません。** \bigcirc : 使用できます。 \times : 使用できません。

| 4 | 47.34 | Jm 2 | -> tr mr≬ | ジグ | げグの振り幅* | ぬし | ハ目の長さ* | 0 1 41 ** |
|-------------------------------|---------|---------|--|-----|-----------|-----|-----------|----------------------|
| ぬい方 | 名前 | 押え | 主な用途 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | 2 本針 ** |
| 2-12 | ファゴティング | FJ | ファゴティングは布地と布地 の間を離して糸でかがる方法 をいい、ブラウスや子供服など に使用します。また、飾りぬい としても使用します。 | 5.0 | 2.5 - 7.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 2-13 | ゴムひもつけ | 47 | 伸びる布地にゴムひもをつけるときに使用します。 | 4.0 | 0.0 - 7.0 | 1.0 | 0.2 - 4.0 | 0 |
| 2-14 | 飾りぬい | 47 | 飾りぬいに使用します。 | 4.0 | 0.0 - 7.0 | 3.0 | 2.0 - 4.0 | × |
| 2-15 | 飾りぬい | 47 | 飾りぬいに使用します。 | 4.0 | 0.0 - 7.0 | 2.5 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 2-16 | 飾りぬい | 47 | 飾りぬいに使用します。 | 5.5 | 0.0 - 7.0 | 1.6 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 2-17 \$ | 飾りぬい | N PR | 飾りぬいやゴムひもつけに使 用します。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 1.0 | 0.2 - 4.0 | 0 |
| 2-18 NNNNN | 飾りぬい | N M | 飾りぬいやアップリケに使用 します。 | 6.0 | 1.0 - 7.0 | 1.0 | 0.2 - 4.0 | 0 |
| 2-19 SX SX SX | 飾りぬい | N PR | 飾りぬいに使用します。 | 7.0 | 1.0 - 7.0 | 1.6 | 1.0 - 4.0 | × |
| 3-01 | 飾りぬい | N M | 左基線の3重ぬいで、すそ飾り などに使用します。 | 1.0 | 1.0 - 7.0 | 2.5 | 1.5 - 4.0 | 0 |
| 3-02 | 飾りぬい | N P | 中基線の3重ぬいで、すそ飾りなどに使用します。 | 3.5 | 1.0 - 7.0 | 2.5 | 1.5 - 4.0 | 0 |
| 3-03 | 飾りぬい | N PR | ふち飾りなどに使用します。 | 6.0 | 1.5 - 7.0 | 3.0 | 1.0 - 4.0 | 0 |
| 3-04 E | 飾りぬい | N PR | レースつけやふち飾りなどに 使用します。 | 3.5 | 1.5 - 7.0 | 2.5 | 1.6 - 4.0 | × |
| 3-05 | 飾りぬい | N P | ふち飾りなどに使用します。 | 3.0 | 1.5 - 7.0 | 3.5 | 1.6 - 4.0 | × |
| 3-06 * * | 飾りぬい | N PR | ふち飾りなどに使用します。 | 6.0 | 1.5 - 7.0 | 3.0 | 1.5 - 4.0 | × |
| 3-07 | 飾りぬい | N PR | ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適 しています。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 3.5 | 1.6 - 4.0 | × |
| 3-08 | 飾りぬい | N PR | ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適 しています。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 3.5 | 1.5 - 4.0 | × |
| 3-09 ** | 飾りぬい | N FR | ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適 しています。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 3.5 | 1.6 - 4.0 | 0 |
| 3-10 | 飾りぬい | N PR | ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適 しています。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 4.0 | 1.5 - 4.0 | 0 |
| 3-11 | 飾りぬい | N PR | ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適 しています。 | 4.0 | 1.5 - 7.0 | 2.5 | 1.5 - 4.0 | 0 |

^{* —:}調節できません。**○:使用できます。×:使用できません。

| | 634 | im > | | ジグ | ザグの振り幅* | ぬい目の長さ* | | の振り幅* ぬい目の長さ* | | 0 +01 ** |
|-------------------|------------|----------|--|-----|-----------|---------|-----------|---------------|--|----------|
| ぬい方 | 名前 | 押え | 主な用途 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | 2 本針 ** | | |
| 3-12 X | 飾りぬい | × | ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適 しています。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 2.5 | 1.5 - 4.0 | 0 | | |
| 3-13 ** | 飾りぬい | × | ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適 しています。 | 6.0 | 1.5 - 7.0 | 3.5 | 1.5 - 4.0 | 0 | | |
| 3-14 X X | 飾りぬい | X | ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適 しています。 | 6.0 | 1.5 - 7.0 | 1.6 | 1.0 - 4.0 | 0 | | |
| 3-15 | 飾りぬい | N FR | ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適 しています。 | 6.0 | 1.5 - 7.0 | 3.0 | 1.5 - 4.0 | × | | |
| 3-16 | 飾りぬい | X | ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適 しています。 | 6.0 | 1.5 - 7.0 | 4.0 | 1.5 - 4.0 | 0 | | |
| 3-17 | 飾りぬい | N M | ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適 しています。 | 4.0 | 1.5 - 7.0 | 2.5 | 1.6 - 4.0 | × | | |
| 3-18 | 飾りぬい | N FR | ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に適 しています。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 2.0 | 1.5 - 4.0 | 0 | | |
| 3-19 | 飾りぬい | N FR | つき合わせや飾りぬいに使用 します。 | 6.0 | 1.5 - 7.0 | 2.0 | 1.5 - 4.0 | 0 | | |
| 3-20 | 飾りぬい | N FR | ふち飾りやぬった後にリボン を通して飾りとして使用しま す。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 3.0 | 1.5 - 4.0 | 0 | | |
| 3-21 | 飾りぬい | N FR | 飾りぬいやスモッキングに使 用します。 | 6.0 | 1.5 - 7.0 | 1.6 | 1.0 - 4.0 | × | | |
| 3-22 | 飾りぬい | N FR | 飾りぬいやスモッキングに使 用します。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 1.6 | 1.0 - 4.0 | × | | |
| 3-23 | 飾りぬい | N FR | 飾りぬいやスモッキングに使 用します。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 1.6 | 1.0 - 4.0 | × | | |
| 3-24 | 飾りぬい | N FR | ふち飾りなどに使用します。 | 5.0 | 1.5 - 7.0 | 1.6 | 1.0 - 4.0 | × | | |
| 3-25 | 飾りぬい | N M | ふち飾りやぬった後にリボン を通して飾りとして使用しま す。 | 7.0 | 5.0 - 7.0 | 1.6 | 1.0 - 2.5 | × | | |
| 4-01 | ボタン穴かがり | | ねむり穴、横穴用。薄地から普通地のボタン穴かがりに使用します。ブラウス、シャツなどに使用します。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × | | |
| 4-02 | ボタン穴かがり | ā | 横穴用。厚地の布や厚みのある ボタンを使うときに使用しま す。 | 5.5 | 3.5 - 5.5 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × | | |
| 4-03 | ボタン穴かがり | | 横穴用。ウエストベルトなど力 がかかるところに使用します。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × | | |
| 4-04 | ボタン穴かがり | | 横穴用。厚地のボタン穴かがり に使用します。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × | | |
| 4-05 | ボタン穴かがり | | ねむり穴。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × | | |

^{* — :} 調節できません。** \bigcirc : 使用できます。 \times : 使用できません。

| | | 1 | | ジグ | ザグの振り幅* | ぬい目の長さ* | | |
|---------------------|---------|---------|---|-----|-------------|---------|-------------|---------|
| ぬい方 | 名前 | 押え | 主な用途 | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | 2 本針 ** |
| 4-06 | ボタン穴かがり | ā | ねむり穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。 ジャケットやブラウスに使用します。 します。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × |
| 4-07 | ボタン穴かがり | ā | 両止めボタン穴かがり。麻、木 綿など、ある程度腰のある素材 に適しています。ホームウエア やブラウスなど手軽にぬえる ものに多く利用されます。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × |
| 4-08 | ボタン穴かがり | ā | 両止めボタン穴かがり。厚地の 布や厚みのあるボタンを使う ときに使用します。 | 5.5 | 3.5 - 5.5 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × |
| 4-09 | ボタン穴かがり | ā | 横穴用。厚地のボタン穴かがり に使用します。 | 5.0 | 3.0 - 5.0 | 0.4 | 0.2 - 1.0 | × |
| 4-10 | ボタン穴かがり | ā | 伸びる布地や編み地のボタン 穴かがりに使用します。 芯ひもを入れてぬいます。 | 6.0 | 3.0 - 6.0 | 1.0 | 0.5 - 2.0 | × |
| 4-11 | ポタン穴かがり | ā | 伸びる布地のボタン穴かがり に使用します。 芯ひもを入れてぬいます。 | 6.0 | 3.0 - 6.0 | 1.5 | 1.0 - 3.0 | × |
| 4-12 | ボタン穴かがり | ā | 玉ふち穴かがり(バウンドボタ ンホール)を作るときに使用し ます。 | 5.0 | 0.0 - 6.0 | 2.0 | 0.2 - 4.0 | × |
| 4-13 | ボタン穴かがり | ā | はとめ穴。厚地や毛の長いもの のボタン穴かがりに使用しま す。ブレザー、スーツ、コート などに使用します。 | 7.0 | 3.0 - 7.0 | 0.5 | 0.3 - 1.0 | × |
| 4-14 8 | ボタン穴かがり | | はとめ穴。普通地から厚地のボタン穴かがりに使用します。 ジーンズ、ズボンなどに使用します。 | 7.0 | 3.0 - 7.0 | 0.5 | 0.3 - 1.0 | × |
| 4-15 | ボタン穴かがり | | はとめ穴。厚地や毛の長いもの の横穴ボタン穴かがりに使用 します。厚手のコートなどに使 用します。 | 7.0 | 3.0 - 7.0 | 0.5 | 0.3 - 1.0 | × |
| 4-16 | ダーニング | | 普通地のつくろいぬいに使用 します。 | 7.0 | 2.5 - 7.0 | 2.0 | 0.4 - 2.5 | × |
| 4-17 | ダーニング | | 厚地のつくろいぬいに使用します。 | 7.0 | 2.5 - 7.0 | 2.0 | 0.4 - 2.5 | × |
| 4-18 III IIII | かんどめ | ā | ぬい目がほどけやすい箇所や ポケットロなどのあき止まり 部分の力の加わる部分を補強 したい場合に用います。 | 2.0 | 1.0 - 3.0 | 0.4 | 0.3 - 1.0 | × |
| 4-19 <u>-</u> | ボタンつけ | M. | ボタンつけに使用します。 | 3.5 | 2.5 - 4.5 | _ | - | × |
| 4-20 • | アイレット | N PR | ベルトの穴かがりなどに使用 します。 | 7.0 | 7.0 6.0 5.0 | 7.0 | 7.0 6.0 5.0 | × |
| 5-01 | 横送り直線 | N PR | でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。 | _ | - | _ | - | × |
| 5-02 | 横送り直線 | N PR | でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。 | _ | _ | _ | - | × |
| 5-03 | 横送り直線 | N PR | でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。 | _ | _ | _ | _ | × |

^{* —:}調節できません。** ○:使用できます。×:使用できません。

| ぬい方 | 名前 | 押え | 主な用途 | ジグザグの振り幅* | | ぬい目の長さ* | | 0 01 ++ |
|---------------------|---------|---------|--|-----------|----|---------|----|-----------|
| | | | | 自動 | 手動 | 自動 | 手動 | _ 2 本針 ** |
| 5-04 | 横送り直線 | N PR | でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。 | _ | _ | _ | _ | × |
| 5-05 | 横送り直線 | N PR | でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。 | _ | _ | _ | _ | × |
| 5-06 | 横送り直線 | N PR | でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。 | _ | _ | _ | _ | × |
| 5-07 ↓ ↓ | 横送り直線 | N PR | でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。 | _ | _ | _ | _ | × |
| 5-08 | 横送り直線 | N PR | でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。 | _ | _ | _ | _ | × |
| 5-09 ~~~ | 横送りジグザグ | N | でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。 | _ | _ | _ | _ | × |
| 5-10 ^^^ | 横送りジグザグ | N PR | でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。 | _ | _ | _ | _ | × |
| 5-11 \$ \diamond | 横送りジグザグ | N PR | でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。 | _ | _ | _ | _ | × |
| 5-12 \$ ↑ | 横送りジグザグ | N PR | でき上がった服の袖やズボン のすそにワッペンをつけると きに使用します。 | _ | _ | _ | _ | × |

^{* —:}調節できません。** ○:使用できます。×:使用できません。

索引

| | _ |
|--|-------------------------|
| 2 本針キー | 1 |
| U | |
| USB ポートコネクター | 9 |
| 8 | |
| | |
| アップグレード17 | |
| アップリケ54, 60, 63, 141, 14 | |
| アドバイスキー2 アフターサービス17 | |
| アルファベット | |
| 刺しゅう11 | 2 |
| 編集刺しゅう | |
| 人士· (宋体)(4)(1) | , |
| | _ |
| 位置確認キー | |
| 布地と針と糸の組み合わせ3 | |
| 条案内 | |
| 糸案内板 | |
| 糸色表示 | |
| 糸切りスイッチ10,3 | |
| 糸こま押え | |
| 糸設定キー124, 133, 13 | |
| 糸たて棒 | |
| 糸調子 | |
| 糸通しレバー | |
| 糸密度 | |
| イメージキー12 | |
| 色替キー | |
| 世権総十一12 | 8 |
| <u> </u> | |
| 上糸通し2 | |
| 2本針 2 上ふた 2 | |
| | 0 |
| え | |
| | _ |
| エラーメッセージ16 | 5 |
| エラーメッセージ16 | 5 |
| a | _ |
| お 大きさキー95, 122, 14 | .9 |
| a | 9 |
| 大きさキー | 9 8 9 2 |
| 大きさキー | 9 8 9 2 5 |
| 大きさキー | 9 8 9 2 5 2 |
| 大きさキー | 9892529 |
| 大きさキー | 9 8 9 2 5 2 9 8 |
| 大きさキー 95,122,14 送り歯 9,7 押え 5換 3 押え記号 15,11 押えホルダー 9,3 押えレバー 8,3 お手入れ 15 | 9 8 9 2 5 2 9 8 |
| 大きさキー | 9 8 9 2 5 2 9 8 2 |
| 大きさキー 95,122,14 送り歯 9,7 押え 9,7 押え記号 15,11 押えホルダー 9,3 押えレバー 8,3 お手入れ 15 折り伏せぬい 5 | 9 8 9 2 5 2 9 8 2 |
| 大きさキー 95,122,14 送り歯 9,7 押え | 989252982 |
| 大きさキー 95,122,14 送り歯 9,7 押え | 989252982 |
| 大きさキー 95,122,14 送り歯 9,7 押え 9,7 押え 3 押え記号 15,11 押えホルダー 9,3 押えレバー 8,3 オラスレバー 8,3 が 15 が 15 か 15 か 15 か 16 か 17 回転キー 122,14 返しぬいスイッチ 10,3 換気口 7 | 989252982 |
| 大きさキー 95,122,14 送り歯 9,7 押え 9,7 押え 75換 33 押え記号 15,11 押えホルダー 9,3 押えレバー 8,3 お手入れ 15 が 15 が 122,14 返しぬい 55 が 122,14 | 989252982 |
| 大きさキー 95,122,14 送り歯 9,7 押え 9,7 押え 3 押え記号 15,11 押えホルダー 9,3 押えレバー 8,3 オラスレバー 8,3 が 15 が 15 か 15 か 15 か 16 か 17 回転キー 122,14 返しぬいスイッチ 10,3 換気口 7 | 989252982 8988650 |
| 大きさキー 95,122,14 送り歯 9,7 押え 3 押え記号 15,11 押えホルダー 9,3 押えレバー 8,3 お手入れ 15 折り伏せぬい 5 か 回転キー 122,14 返しぬいスイッチ 10,3 換気ロ 7 画面 8,1 調整 76 | 989252982 8988650 |
| 大きさキー 95,122,14 送り歯 9,7 押え 3 押え記号 15,11 押えホルダー 9,3 押えレバー 8,3 お手入れ 15 折り伏せぬい 5 か 回転キー 122,14 返しぬいスイッチ 10,3 換気口 7 画面 8,1 調整 7 画面 8,1 調整 16 ロックする 4 | 989252982 8988650 |
| 大きさキー | 989252982 89886503 |
| 大きさキー 95,122,14 送り歯 9,7 押え 9,7 押え 7交換 3 押え記号 15,11 押えホルダー 9,3 押えレバー 8,3 お手入れ 15 が 15 が 15 回転キー 122,14 返しぬい 38,42,4 返しぬいスイッチ 10,3 換気口 7 画面 8,1 調整 16 ロックする 4 モーのはたらき 刺しゅう 11 実用ぬい 11 | 989252982 89886503 56 |
| 大きさキー 95,122,14 送り歯 9,7 押え | 989252982 89886503 567 |
| 大きさキー 95,122,14 送り歯 9,7 押え 9,7 押え 7交換 3 押え記号 15,11 押えホルダー 9,3 押えレバー 8,3 お手入れ 15 が 15 が 15 回転キー 122,14 返しぬい 38,42,4 返しぬいスイッチ 10,3 換気口 7 画面 8,1 調整 16 ロックする 4 モーのはたらき 刺しゅう 11 実用ぬい 11 | 989252982 89886503 5674 |

| 実用ぬい 文字・模様ぬい | |
|----------------------------------|-------------|
| キャリッジ キルト | 9 |
| <i>τν</i> Γ | 59 |
| 組み合わせ | |
| | |
| 文字・模様ぬい クレイジーキルト | |
| <u>=</u> | |
| ゴムひもつけ | |
| č | |
| サイドカッター押え | |
| 削除キー サテンぬい | |
| 左右反転キー | 47, 96, 123 |
| <u> </u> | 23, 24 |
| | |
| シェルタック 刺しゅう | |
| 糸色表示 キーのはたらき | |
| 自動糸切り | 133 |
| 小さい布地にぬう ぬい方 | |
| ぬう速度 | 134 |
| 布地の隅にぬう 始めからぬい直す | |
| 模様を選ぶ | 110 |
| リボンテープにぬう 渡り糸切り | |
| <i>加</i> しゅう押え <w></w> | |
| 刺しゅうカード | |
| 刺しゅうカード差し込みロ 刺しゅう機 | 8, 114 |
| 料しゆ フ機 | |
| 刺しゅうシート | 119 |
| 刺しゅう専用針板カバー | |
| 刺しゅうの押え高さ 刺しゅうの枠表示 | 116 |
| 刺しゅう模様 | 121 |
| 選ぶ | |
| 記憶 | |
| 削除 | 149 |
| ぬい方 ぬう位置を確認する | |
| 編集 | 147 |
| 模様選択画面 呼び出す | |
| ^{存し} 山, 枠模様を使ったアップリケ | 141, 142 |
| 刺しゅう枠 刺しゅうシートの使い方 | 110 |
| 利しゅうシートの使い力 | |
| セット・取り外し 布地を張る | |
| ↑ 地で張る 下糸 | 110 |
| 交換 | |
| セットする 引き出す | |
| 巻< | |
| 下糸巻き案内 下糸巻き装置 | |
| しつけ | |
| 仕様 | |
| ジグザグ | |
| 振り幅 実用ぬい | |
| アドバイスキー | |
| キーのはたらき 記憶 | |
| ぬい方 | 36 |
| ぬい方キー 模様選択画面 | |
| 模様を選ぶ | 47 |
| 自動糸切りキー 自動止めぬい | |
| 自動止めぬい | 42 |

| 上下反転キー | 95 | ℧ | |
|--|------------|--|---------------|
| च | | ひらがな/カタカナ | |
| • | | 刺しゅう | 112 |
| スカラップ | | 編集刺しゅう | |
| スタート/ストップスイッチ | | 文字・模様ぬい | 89 |
| ステップ模様 | | ピーシング | 60 |
| スピードコントロールレバー | | ピンタック | 53 |
| スモッキング | 65 | > | |
| at the second se | | <u>۵</u> ۱ | |
| <u>u</u> | | ファゴティング | 66 |
| 接着芯 | 116 | ファスナーつけ | |
| 設定 | | 付属品 | |
| 糸調子 | 41 133 | フットコントローラー | |
| 画面濃度 | | フットコントローラージャック | |
| ジグザグの振り幅 | | 振り幅 | |
| 自動糸切り | -, | ブザー | |
| 自動止めぬい | | プーリー | |
| ぬい目の長さ 渡り糸切り | | <i>y</i> | |
| 設定キー | | | |
| | | | |
| ₹ | | ヘアルーム | 67 |
| 操作スイッチ | 9.10 | 編集 | 404 |
| F F A T T T T T T T T T | -, - | 刺しゅう 編集刺しゅう | |
| 1中7示 | 130 | 文字・模様ぬい | |
| た | | 編集刺しゅう | |
| | | キーのはたらき | 147 |
| たちめかがり | 54, 56, 57 | 機能説明 | 144 |
| タッチペン | 11, 161 | 組み合わせ | |
| ホルダー | 8 | 編集終了キー | |
| ダーツ | | 別売品 | 12 |
| ダーニング | 74 | (E | |
| t | | 104 | |
| 9 | | 保証書 | |
| 直線ぬい | 49 | 補助糸たて棒 | 8, 22, 30 |
| _ | | 補助テーブル | 8, 10, 108 |
| <u> </u> | | ほつれ止め | |
| | | ボタン穴かがり | 70 |
| 使い方キー | | ボタン穴かがりレバー | |
| つき合わせ | 65 | ボタンつけ | |
| 7 | | ボビン | 22, 25, 26 |
| | | ボビンホルダー | 23 |
| 点線ジグザグ | 56 | and the second s | |
| てんびん確認窓 | 8, 28 | | |
| デイジーステッチ | 67 | | |
| 電源スイッチ | 8, 14 | まつりぬい | 62 |
| T. | | • | |
| <u>8</u> | | | |
| | 38 /12 | 文字・模様ぬい | |
| ドロップレバー | 0 70 | 選ぶ | |
| ドロンワーク | | キーのはたらき | |
| ТП / / / / / / / / / / / / / / / / / / / | 00, 09 | 記憶 | |
| & | | 調整 | |
| | | ぬい方 | |
| ぬい方キー | 48 | 編集 | |
| ぬい目の長さ | 40 | 模様選択画面 | |
| ぬい目戻る/進むキー | 131 | 呼び出す | |
| 布地 | | 文字間隔キー | |
| 厚い布地をぬう | 39 | 模様選択キー | |
| 薄い布地をぬう | | 模様の長さキー | 95 |
| 布地と針と糸の組み合わせ | | ** | |
| 伸びる布地をぬう | 13 | - | |
| は | | 矢印キー | 121, 148, 155 |
| | | £ | |
| ハードケース | | • | |
| 配列キー | 150 | 横送り | 81 |
| 針 2 本針 | 00 | よこたてキー | |
| 2 本計 交換 | | 呼び出す | |
| 文瑛 | | 刺しゅう模様 | 138. 139 |
| 布地と針と糸の組み合わせ | | パソコンから | 139 |
| 針位置の変え方 | 50 | ミシンから | |
| 針・押え交換キー | | 文字•模様ぬい | 104 |
| 針板 | · · | h | |
| 針板カバー | 9, 158 | 1 d | |
| 針板ふた | | 連続/単独ぬいキー | 96 |
| 針位置 | 50 | | |
| 針上下スイッチ | 10 | ⊅ | |
| 針の止めネジ | | サナセフィー | |
| 針棒糸かけ | | 枠交換スイッチ | 10, 120 |
| ハンドル | | | |
| パッチワーク | 55 | | |

アフターサービス

- ●ご購入の際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- ●無料修理保証期間は、お買い上げ日より3年間です。詳しくは保証書をご覧ください。 それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または下記の「ミシン119番」、お 客様相談室にご相談ください。
- ●当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ●アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の「ミシン119番」、お客様相談室へお問い合わせください。

お客様相談室(ミシン119番)0120-340-233

本製品についての、使い方やアフターサービスについてご不明の場合は お買い上げの「販売店」または「お客様相談室(ミシン119番)」までお問い合わせ ください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

お客様相談室(ミシン119番): Tel:0120-340-233

Fax:052-824-3031

受付時間:月曜日~金曜日 9:00~17:30

休 業 日: 土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

- ●お客様相談室は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- ●機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」を ご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。

ミシン背面の定格ハリマーク(銀色シール)の下記部分をご確認ください。



- ●ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「ミシン119番」、 お客様相談室にご連絡ください。
- ●上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

ホームページ

- ●ブラザーのホームページでは、家庭用ミシンに関する様々な情報を掲載しております。 http://www.brother.co.ip/
- ●ブラザーソリューションセンターでは、家庭用ミシンに関するサポート情報を掲載しております。 http://solutions.brother.co.jp/sewing_support/index.html

ブラザー工業株式会社 RABBE

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561